

子羊の婚宴

そして終わりの時の現象

この最後の世代に向けたメッセージ

スーザン・デイヴィスへの口述

神の心より

Copyright © 2012 Susan Davis

著作権保有

ISBN-13: 978-1477478332

ISBN-10: 1477478337

ご注意とお願い 読者の方々には、当資料の写しを印刷物としても、電子的にでも、いかなる手法にても配布、配信されることを奨励いたします。当資料は全体であれ部分的であれ、貴方のウェブサイトや他のいかなる場所においても掲示いただけます。ただし、複写し配布、配信することが可能であることを他のの方々にもお分かりいただけるように、本注意事項を盛り込んでいただくことをお願いいたします。

© 2012 by Susan Davis (スーザン・デイヴィス)

日本語訳 Translated by www.Christian-Translation.com

聖書 新改訳©1970, 1978, 2003新日本聖書刊行会

著者からひとこと

本書は利益発生のためにではなく、この特定の媒体を通して、より多くの人に伝えることを目的に作成されました。決してこれらの主の預言の言葉を用いて資金を集めるためのものではありません。本書の表示価格は印刷費用のみをまかなうために定められたもので、著者への印税は無きに等しいものです。（印刷価格の変動により一冊につき数セントの印税が生じる場合もあります。これはすべて無料で譲渡する本の購入のために用いられます。）これらのメッセージは至急を要する大変重要なものであるため、私たちは、人々がこれらのメッセージを受け取るにあたって本書の価格が障害となることがないようにと願っています。

これらの預言について

スーザンは預言の賜物を以って働いています。コリント人への手紙 第一 第 14 章 1 節には「愛を追い求めなさい。また、御霊の賜物、特に預言することを熱心に求めなさい。」と書かれています。現在、私たちは新しい契約のもとに生きており、新約における神の指示に従うことになっています。中には預言のような霊的賜物は廃止されたと信じている人々もいますが、それは人間の考えであって神のお考えではありません。神はその契約を変えてはおられません。私たちはまだ、新約とも呼ばれる新しい契約の時代に生きています。どうか、あなたが第一に専心するのは主イエス・キリストと聖書、特に新約聖書に書かれてある主の言葉に対してであることを理解してください。

常ながら、すべての預言は聖書に基づいて試される必要があります。しかし、預言が聖書に一致するものであるなら、私たちにはそれに従うことが期待されるのです。現在、神は預言を使って新しい教義を導入することはありません。預言は、神がすでに聖書の中で私たちに与えられていることを補強するために用いられます。神はまた私たちに影響を与える未来の出来事について、個人的な警告を与えるためにも預言を用いられます。

旧約におけるのと同様に、神は現在私たちが置かれている新約の時代にも預言者を用いられます。使徒の働きは新約聖書の中にある書ですが、そこにはユダとシラス（使徒の働き 第 15 章 32 節）やアガボ（使徒の働き 第 21 章 10 節）というような何人かの預言者の名が挙げられており、他の預言者たちも存在しました。預言者の働きについては、新約の時代においてコリント人への手紙 第 12 章 28 節、14 章 1 節、29 節、32 節、37 節、およびエペソ人への手紙 第 2 章 20 節、3 章 5 節、4 章 11 節でも言及されています。

イエスは神のために地上で働く預言者を選ばれます。とりわけ、イエスは神の望みを神の子どもたちに伝えるために預言や預言者を用

いられます。聖書自体が聖霊の靈感によって預言的に書かれたものなのです。

中には、預言の言葉には、聖書に付け加えたり聖書から取り除いたりする危険があると言う人たちがいますが、聖書は預言を聖霊の賜物として語っています。聖書に付け加えられたり聖書から取り除かれたりするのには、聖霊によって言葉を授かる人々が受け取った付加的な預言の言葉によるのではなく、例えば、他の異教の信念から新しく非聖書的な概念を加えるために神の概念を変えることによって起こります。しかし、聖書における預言者の主な働きは、常に、人々を神のみことば、つまり聖書に立ち返らせることでした。

テサロニケ人への手紙 第一 第5章19節から21節に書かれているように、「御霊を消してはなりません。預言をないがしろにしてはいけません。しかし、すべてのことを見分けて、ほんとうに良いものを堅く守りなさい。」メッセージを識別する方法は、その内容を聖書が語っていることと比べることです。

以下の預言は全て、私（書籍作成者マイク・ペラルタ）が個人的にこれらのメッセージを調べましたが、すべて聖書の語るところと一致しています。ですが、あなたがたご自身も聖書に照らし合わせてこれらのメッセージを調べなければなりません。そしてそれらが聖書に一致するものであれば、神は貴方がそれらのメッセージを心に留め、神の指示に従うことを期待されています。

訳注：救世主の名について

私たちの救世主は一般にイエス・キリストとして知られていますが本書ではヤフシュア・ハ・マシアック (Yahushua Ha Mashiach) という呼称が用いられています。

ヤフシュアというのがメシアの実名であることは、こちらのウェブページで説明されていますのでご参照ください。

<http://www.elijah.com/nameson.htm> 以下は同ページを日本語訳したものです。

メシアの本当の名はヤフシュア

***** ヘブライ語には[J]音がないため、ジョシュア(Joshua)=ヨシュア(Yoshua)あるいはヤフシュア(Yahushua)であることに留意してください。[J]音を伴った「J」は500年ほど前まで英語には入って来ませんでした。実際、1611年版欽定訳聖書の原文には「J」の文字は見つかりません。(証拠)

この学びの目的は、メシアの名前が「イエス(Jesus)」であったことは決してなく、「イエス(Jesus)」という名前が実際は人間の考案であることを示すことです。

欽定訳聖書には、その訳において興味深い問題が一つ見られます。

Acts 使徒の働き 7:44(KJV 欽定訳聖書) Our fathers had the tabernacle of witness in the wilderness, as he had appointed, speaking unto Moses, that he should make it according to the fashion that he had seen. **45** Which also our fathers that came after brought in with **Jesus** into the possession of the Gentiles, whom God drave out before the face of our fathers, unto the days of David;

この聖句は救世主よりもむしろヌンの子ヨシュアを指しているのでは？その通りです。下記に別の例があります。

Hebr ヘブル人への手紙 **4:7** (KJV 欽定訳聖書) **Again, he limiteth a certain day, saying in David, To day, after so long a time; as it is said, To day if ye will hear his voice, harden not your hearts. 8 For if Jesus had given them rest, then would he not afterward have spoken of another day.**

ここでも、文脈からこの聖句がメシアではなくヌンの子ヨシュアを指していることが明らかです。他の訳本はすべてここに「ヨシュア」を入れています。ではなぜ、「イエス」と訳されるのでしょうか。その答えは、メシアの元来のヘブライ語の名前がギリシャ語・ラテン語で変造されたことにあります。本来、メシアの名前は **יהושע** で、ヤフシュアと発音されました。これがメシアの本来の名前です。異邦人たちはメシアの名前をギリシャ語に字訳しようとして、**Ἰησοῦν** すなわち「**Iesous**」を考え付きました。しかし元来は、この言葉はヘブライ語で **יהושע** でした。**Iesous** がラテン語に字訳されたとき、それは「**Iesus**」となり、さらに英語に引き継がれ、「**J**」という文字が発展すると、現代の「**Jesus** (イエス)」となりました。

ですから、欽定訳聖書がそれら二つの聖句で「イエス」としている理由は、メシアの名前が実際はヌンの子ヨシュアと同じであるため、正しくは「ヤフシュア」と発音されます。現代の「**Jesus** (イエス)」という形が、その名において弟子たちが祈り、洗礼を授け伝道したことで大変な批判を受けていた元来の名前とは少しも似ていないことは、かなりはっきりとしています。これは事実です。ご自分で調べて確かめてみてください。

世俗参考資料

Encyclopedia Americana (アメリカ大百科事典) :

"Jesus Christ--- ...Although Matthew (1:21) interprets the name originally Joshua, that is, 'Yahweh is Salvation,' and finds it specially appropriate for Jesus of Nazareth, it was a common one at that time." (Vol.16, p. 41)

「Jesus Christ (イエス・キリスト) ---...マタイの福音書 (第1章21節) はその名を本来ヨシュア、つまり「ヤハウェは救い」と解釈し、ナザレのイエスに特に適切であると見なしたが、それは当時は一般的なものであった」 (第16巻 41頁)

Encyclopedia Britannica (15th ed.) (ブリタニカ百科事典 第15版)

"Jesus Christ----...The same is true of the name Jesus. In the Septuagint it is the customary Greek form for the common Hebrew name Joshua;" (Vol. 10 p.149)

「イエス・キリスト----...同じことがイエスという名についてもいえる。七十人訳聖書ではそれは一般的なヘブライ語名ヨシュアの通常のギリシャ語形である。」 (第10巻149頁)

宗教学者

Barnes' notes: (Note on Matt. 1:21)

(バーンズの注釈 : マタイの福音書第1章21節の注釈)

"His name is Jesus: The name Jesus is the same as Saviour. It is derived from the verb signifying to save. In Hebrew it is the same as Joshua. In two places [Acts 7:45 and Hebrews 4:8] in the New Testament it is used where it means Joshua, the leader of the Jews into Canaan, and in our translation the name Joshua should have been retained."

「彼の名はイエスである : イエスという名は救世主と同じであり、救うことを意味する動詞を語源とする。ヘブライ語ではヨシュアと同じ。新約聖書では2箇所 [使徒の働き (第7章45節) とヘブル人への手紙 (第4章8節)] においてカナンに入るユダヤ人の先導者

であったヨシュアを意味するところで使われており、我々の訳本においてはヨシュアという名が保持されるべきであった。」

**Word studies in the New Testament (新約聖書単語研究) ,
Marvin R. Vincent (マービン R. ビンセント) 著---**

"Jesus. The Greek form of a Hebrew name, which had been borne by two illustrious individuals in former periods of the Jewish History --- Joshua, the successor of Moses, and Jeshua, the high priest, who with Zerubbabel took so active a part in the re-establishment of the civil and religious polity of the Jews in their return from Babylon. Its original and full form is Jehoshua, becoming by contraction Joshua or Jeshua."

「イエス。ヘブライ語名のギリシャ語形。前期ユダヤ史における二名の有名な人物の名 --- モーセの後継者であるヨシュアと、バビロンからの帰還に際して、ゼルバベルと共にユダヤ人の市民政策と宗教政策の再構築に大変活躍した大祭司ヨシュア。元来の正式な形は Jehoshua (イエホーシュア)。短縮されて Joshua (ヨシュア) または Jeshua (イエシュア) となる。」

**The Acts of the Apostles (使徒の働き) , Jackson and Lake
Jackson (ジャクソン) ・Lake (レイク) 共著**

"Jesus--- This is the regular Greek translation of the Hebrew Joshua."

「イエス--- これはヘブライ語のヨシュアの標準ギリシャ語訳である。」

Smith's Bible Dictionary (スミスの聖書辞典) :

"Jesus Christ ---- The name Jesus means Savior, and was a common name, derived from the ancient Hebrew Jehoshua."

「イエス・キリスト --- イエスという名は救い主を意味し、古代ヘブライ語 Jehoshua (イエホーシュア) から派生した一般的な名前であった。」

A dictionary of the Bible, James Hastings

(聖書の辞書 , ジェームズ・ヘイスティングズ著)

"Jesus -- The Greek form of the name Joshua or Jeshua. Jeshua ---- Yahweh is Salvation or Yahweh is opulence."

「イエス--- ヨシュア(Joshua)あるいはイエシュア(Jeshua)という名前のギリシャ語形---- ヤハウエは救い、あるいはヤハウエは豊か。」

Alford's Greek New Testament, An Exegetical and Critical Commentary (アルフォードのギリシャ語新約聖書、釈義的批評的注解書) :

"Jesus -- The same name as Joshua, the former deliverer of Israel."

「イエス-- 先のイスラエルの救助者ヨシュアと同名。」

Encyclopedic Dictionary of Religion (宗教の百科事典) :

"Jesus (The Name) --- Matthew's gospel explains it as symbolic of His mission, 'For he will save His people from their sins.' This agrees with the popular meaning as 'Yahweh saves...' " p.1886

「イエス (その名) --- マタイの福音書は彼の使命に象徴的であるとして説明する。『この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださいる方です。』これは『ヤハウエは救う…』とのよく知られた意味と一致する。」 1886 頁

Catholic Encyclopedia (カトリック百科事典) :

"The Sacred Name ---- The word Jesus is the Latin form of the Greek "Iesous" which in turn is the transliteration of the Hebrew Jeshua, or Joshua, or again Jehoshua, meaning 'Jehovah is Salvation' " Vol. 8, p. 374

「神聖な名 ---- イエス(Jesus)という語はギリシャ語「Iesous」のラテン語形であるが、これはヘブライ語イエシュア(Jeshua)またはヨシュア(Joshua)あるいはイエホーシュア(Jeshoshua)の字訳であり『エホバは救い』を意味する。」 第8巻374頁

Interpreter's Bible: (Note on Matt. 1:21)

(解釈者の聖書 :マタイの福音書第1章21節の注解)

"Jesus: for He shall save: The play on words (Yeshua, Jesus; yoshia, shall save) is possible in Hebrew but not in Aramaic. The name Joshua means "Yahweh is salvation"

「Jesus: for He shall save (イエス…この方こそ…救ってくださる方です) : 掛け言葉 (イエシュア(Yeshua)、イエス(Jesus) ; ヨシヤ(yoshia)、救う(shall save)) はヘブライ語では可能ですが、アラム語では不可能です。ヨシュア(Joshua)という名前は『ヤハウエは救い』を意味します。」

Matthew Henry's Commentary (マシュー・ヘンリ注解書)

(on Matthew 1:21 マタイの福音書第1章21節について)

"Jesus is the same name with Joshua, the termination only being changed, for the sake of conforming it to the greek."

「イエスはヨシュアと同名であり、ギリシャ語に適合させるために語尾だけが変化されたもの。」

結論

そういうわけで、「イエス(Jesus)」はメシアが地上を歩かれたときの彼の名ではなかったと結論付けることができます。それがこの学びの目的です。なぜ私たちがメシアの本来の名前を使うべきかに関する情報は[こちらをクリックしてください](#)。

目次

主による序言

証し

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 謙遜..... | 18 |
| 2. 自分自身や他者を信頼してはならない..... | 28 |
| 3. 謙遜の訓練..... | 36 |
| 4. 神に信頼する..... | 39 |
| 5. 赦し..... | 42 |
| 6. この世に生きなさい、だがこの世に属してはならない..... | 47 |
| 7. 携挙と子羊の婚宴..... | 49 |
| 8. 携挙に備えなさい..... | 55 |
| 9. 迷える教会について..... | 65 |
| 10. この世への欲望..... | 69 |
| 11. この世は難局を迎えようとしている..... | 73 |
| 12. わたしの間近な来臨..... | 76 |
| 13. わたしの子どもたちよ、時は速まっている..... | 81 |
| 14. この世はわたしの敵となった..... | 86 |
| 15. 指導者たちはわたしに従わない..... | 89 |

| | |
|---|-----|
| 16. わたしの再臨の時は近づいている..... | 92 |
| 17. 反キリストについて..... | 95 |
| 18. わたしの間近な降臨のための時が近づいている..... | 101 |
| 19. 準備をなささい..... | 105 |
| 20. もう少しで時間切れになる..... | 109 |
| 21. わたしの心から離れるなら、あなたはわたしに対立して いる..... | 114 |
| 22. 悪が世を破壊しに来ようとしている..... | 119 |
| 23. 時計がまさに真夜中を打とうとしている..... | 123 |
| 24. 互いに争うのはやめなさい..... | 128 |
| 25. あなたに悔い改めていない罪があるならわたしはあなた を連れて行かない..... | 132 |
| 26. わたしに注目していなさい..... | 135 |
| 27. もしもわたしと共に出て来たいならば、あなたは用意さ れなければならない..... | 139 |
| 28. あなたの永遠がかかっている..... | 142 |
| 29. 今は歩かないでわたしのもとに走って来なければならない い..... | 146 |
| 30. わたしの花嫁はあらゆる面で美しい..... | 152 |

31. わたしを崇め、わたしに悔い改める者たちは非常に少ない.....157
32. わたしはわたしの花嫁を安全へと取り去ろうとしている.....161
33. わたしは第一位以外は望まない.....165
34. 患難が訪れようとしている—大患難 ….....169
35. 死にかけている世界を追いかけることには絶対に何の利益もない.....172
36. 自分では用意ができていると思っている多くの者たちは自らを騙している.....175
37. あなたには貴重な時間が少ししか残っていない.....179
38. わたしの本当の信者たちは見張っている—彼らは油断していない.....182
39. 私の証し この文書と私の断食に関して.....186

主による序言

わたしの子どもたちよ、これを語っているのはあなたがたの主です。わたしは間もなく来ます。わたしが来るのは近く、戸口にまで来ています。わたしは来るのです！あなたがたは備えなければなりません。

この日誌はわたしの娘スーザンによる 40 日間の断食の間に完成されました。彼女はわたしの要請によってこの断食を行いました。わたしは彼女が自分に死ぬために、彼女を隔離された場所に連れて行きました。この間、わたしはわたしの子どもたちに届けたい多くの言葉を彼女に授けました。そこで、彼女はわたしの導きに従って、わたしの言葉を書いたのです。これらすべての手紙には、あなたが読んで熟考する必要がある重要な情報が含まれています。わたしが来るのは近づいているからです。

これを語っているのはあなたの主であり救い主であるヤフシュア（イエス・キリスト）です。

*聖句はすべて新改訳聖書第 3 版（聖書 新改訳©1970, 1978, 2003 新日本聖書刊行会）より引用されています

これらの言葉は父なる神と神の子ヤフシュア・ハ・マシアック（イエス・キリスト、油注がれた者イエス、救い主イエス）によって 40 日間の断食中にスーザンに口述され、2012 年 1 月 27 日から 2012 年 3 月 6 日の間に記録されたものです。

証し

Eメールをくださり、また神のみことばを分かち合ってください、大変ありがとうございました。とても恵まれました。私は、私が多くのことを理解して神の道を歩めるように導いてくださるよう、聖霊に祈りました。私のためにもお祈りをお願いします。重ねてお礼を申し上げ、御ミニストリーに神の祝福がありますことをお祈りいたします。 - 読者 1

心から敬愛するスーザン姉。ヤフシユア様、これらの書簡をありがとうございます。また、それらが書き記されるようにと、あなたがあなたの娘、花嫁にし遂げるよう求められたことのゆえに感謝します！私は翌日から始めて、毎回 10 ページぐらいずつ読んでいます。祝福されています。 - 読者 2

スーザンさん、リンクを教えてください、ありがとうございました。私は本当に祝福を受け、私の霊が主ヤフシユアに対して非常に飢え乾いているのを感じています。 - 読者 3

敬愛するスーザン姉、私は貴方が断食中に与えられた神のメッセージ、書簡をもうすぐ読み終わろうとしています。これは本当に神のみことばですね… この 100 ページの資料は読み始めたら止められません。神の真実と知恵、そして私たちへの嘆願には驚くばかりです… 様々な民族を励まし、警告を与えることができる神は、ただ本当に謙遜で愛情深い方です。そのために神に感謝します。私と分かち合ってくださいことで、貴方に祝福がありますように。 - 読者 4

私の敬愛する姉妹、スーザン様。これを私に送ってくださってありがとうございます！ 掲示して、もう半分読みました。読むうちに主の前にひざまずかされました。何百万もの人がそうすることを祈っています。神に対するあなたの従順と誠実さを神が祝福してくださいように。 私たちの救い主に永遠の愛をこめて！ - 読者 5

スーザンさん、これは極めて聖別された主からの預言です。私は1979年、まだキリスト信者になり立てであったころから預言を耳にしてきました。過去33年間にわたって、大変に油注がれた預言をいくつか聞いたり読んだりしてきましたが、この書は私がこれまでの人生で聞いたり読んだりした中で最も油注がれたものです。 - マイク・ペラルタ(Mike Peralta) (書籍作成者)

第1章

謙遜

謙遜とはへりくだって従順することです。それは不平を言わずに喜んで他の人々に仕えることであり、他者から受けた危害を笑顔で許し、進んで見過ごすことです。それは他者に仕え、神を喜ばせようとする願望のことです。どんなときにも希望にあふれる期待を込めて神に仕え、従順しようとする願望であり、常に神と他者に仕える備えができていく意欲的な心のことです。謙遜とはまた、喜んで後部座席につくことでもあり、それは最後の席、最も離れた位置を占めること、表面に出ないこと、顧みられないことをいとわないことです。

ルカの福音書（第14章7節～11節）招かれた人々が上座を選んでいる様子に気づいておられたイエスは、彼らにたとえを話された。

「婚礼の披露宴に招かれたときには、上座にすわってはいけません。あなたより身分の高い人が、招かれているかもしれないし、あなたやその人を招いた人が来て、『この人に席を譲ってください』とあなたに言うなら、そのときあなたは恥をかいて、末席に着かなければならないでしょう。招かれるようなことがあって、行ったなら、末席に着きなさい。そうしたら、あなたを招いた人が来て、『どうぞもっと上席にお進みください』と言うでしょう。そのときは、満座の中で面目を施すことになります。なぜなら、だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるからです。」

マタイの福音書（第19章30節）ただ、先の者があとになり、あとの者が先になることが多いのです。

それは、とても身を低くしているために忘れられている人のことで、そういう人たちは背景に溶け込みます。彼らは表舞台に立つことを望みません。彼らは隠されていて、つつましく、高ぶらず、神に従順したいと望みます。娘よ、これが謙遜であり、これがわたしの花嫁です。

彼女はこれらのものすべてです。娘よ、今あなたの誤りが分かりますか？ 続けましょう… へりくだるとはどういうことですか？ それは舞台裏で働き、注目されることを望まないことです。神に完全に従順することです。すべてのことにおいて神に従おうと努めることです。

謙遜とは、他の人々にどのように思われているかを心配しないことです。名誉を受けることなく、他者のために行うことです。人ではなく、神からの好意を望むことです。ますます神に好まれ、神に喜ばれることです。

それはつつましく高ぶりません。

それは神にあって成長することです。

それは「キリストに似る」ことです。謙遜は神にとって最も美しいものです。へりくだって神を恐れる人は、神の目には輝いています。

謙遜は神に喜ばれたいと願い、神の道を歩みたいと願うことです。身を低くして、自分のことをよく思わないこと、自分を他者より優れていると思わないこと、自分を他者より劣っていると考えること、周囲の人々を裁かないことです。裁くのはただわたし一人です。それは、卑下しなくてはいけないという意味ではありません。それは、たとえ誰かがつまずいてもその人たちの気持ちを尊重し、心の中でその人たちを見下さないこと、あなたも聖なる神の前では罪人に過ぎないのですから、彼らに憐れみをかけることです。

人が謙遜になるなら、次のことが起こります。その人たちは素晴らしい証しを生み出します。彼らはわたしの王国で、わたしの目に輝いて見えます。彼らには神の耳が与えられます。わたしの謙遜な僕たちがわたしに向かって叫ぶなら、わたしは彼らの声に耳を傾けます。わたしの謙遜な僕たちを救うためには、わたしはどんなことでもします。わたしの謙遜な僕たちのためには、わたしは天と地を動かします。わたしの娘よ、このことが分かりますか？わたしの謙遜な僕たちはわたしに献身しています。彼らはわたしなしには何もす

ることができないことを理解しています。彼らは子が親を求めるように、あらゆる点でいつもわたしを求めています。これがわたしの謙遜な僕です。彼らには私意が全くありません。彼らは日々の歩みにおいて、ただわたしのみを信頼します。彼らは答えを求めてわたしを捜します。彼らは心からわたしを信頼するので、わたしは彼らに答えます。彼らは答えを求めて、他の何よりもわたしを捜し求めるため、わたしは彼らにわたしの最善のものを与えます。彼らはわたしの目には謙虚で輝かしいのです。彼らには物柔らかな美しさがあります。彼らはその周りの世の者たちのようではありません。

彼らは群衆から際立ちます。彼らの美しさは神のようであり、天に属するもののようです。天国とはこのようです。神にあって揺るがない人々であふれています。わたしが彼らの必要のすべてを満たすからです。

厚かましくしたり無礼だったり、高慢になったりいばったりする必要は全くありません。彼らのすべての必要は、わたしを通して満たされています。彼らは満ち足りていて、進んで仕え、喜んで仕えます。わたしが彼らの一切の必要を常に満たしているからです。わたしの天にあっては、誰も注目を求めて競い合うことがありません。

誰もが満ち足りています。そこは純真、平安、平穩、愛、笑い、喜びの場なのです。

子どものような信仰が大切なのは、子どもは先走ることがないからです。子どもはその親を信頼するので、親のすぐ後ろについていきます。親の指示、指導、主導を待って、期待を込めて親についています。子どもは親の役割を担おうとはしません。子どもはわきまえているのです。子どもは先頭に行くことができません。その必要のすべてを満たすために、親だけを信頼します。子どもは親の目の届かないところに行ってしまうと、恐怖に襲われます。それは、すべての必要が、自分が愛し信頼するようになった親によって満たされることを知っているからです。これが真にへりくだった者たちと神

との関係です。謙遜な者たちは、信頼と従順のゆえに盲目的に神に従い、神は彼らを救い出すのです。

他のどこにも答えはありません。神が最高権威者であり、唯一のまことの希望、確かな希望なのです。

子どもたちは、そのすべての必要を親に求めます。ちょうど神が、へりくだった純粋な心から神に従う謙遜な者たちを救うように、親は子どもたちを救うことができるので、子どもたちは親を求めて泣き叫びます。

娘よ、あなたにはこの意味が理解できますか。自尊心に満ちた人が行いを改めて謙遜になることはできるでしょうか。娘よ、あなたの神であるわたしに従順し、わたしに導かれるなら、その答えは「しかり」です。

では、神には全てのことが可能でしょうか。そのとおり、わたしにはすべてのことが可能なのです！

箴言（第15章33節）主を恐れることは知恵の訓戒である。謙遜は榮譽に先立つ。

では始めましょう。謙遜は愛に関わることです。愛は謙遜な心から生じます。愛は高ぶりからは生じません。高ぶりは愛を破壊します。高ぶりは「私はあなたより優れている」、「私はあなたよりもよく知っている」、「あなたには私ほどの価値がない」、「あなたは私にとって何の価値もない」、「私は一人でやっていける」、「私はあなたを必要としない」と言います。我が子よ、これが高ぶりが表すものです。

高ぶりはどんな形であれ、醜いものです。それは身勝手に、自己中心で、利己的で、その根は悪です。虚栄心は神に敵対して立ち上がり、「神はいらない」と言います。私が自分自身の神であり、私が自分で決めるのだ、と。それは醜く忌まわしいものです。そこには一点の美もありません。そこには全く救いがありません。それは人

の意欲をなくさせます。それは人に劣等感、拒絶感を与え、愛されていないと感じさせ、人の気分を害し、傷つけます。高ぶりには、およそ神に似たところが少しもなく、キリストの性質の正反対です。高ぶりには、キリストに似たところが全くありません。高ぶりからは何も良いものが生じません。悪だけが生じます。わが子よ、わかりますか。主よ、どうすればわたしたちは高ぶりの出現から逃れることができるのでしょうか。娘よ、高ぶりから逃げなければなりません。遠くに逃げるのです。どんなときにも謙遜を求めなさい。

娘よ、あなたにわたしの愛と慈愛があれば、他者の注目を求めて自分を売り込む必要は全くありません。

わたしの愛と慈愛を求め、ただそれだけに満足しなさい。そうすれば、周りの人たちからの愛を求めたいという願望が、すべてわたしの覆い尽くす愛によって覆い隠されます。あなたの周りには、あなたの一番の必要を満足させることはできません。わたしだけにそうすることができるのです。わたしだけが飢え乾いている空虚な心を満たすことができるのです。

わたしは、切望する空虚な心に対する答えをすべて持っています。わたしには、あらゆる切望を満たすことができます。人間にはできません。できそうに見えても、彼らにはできないのです。他者の承認からは、短い一時的な満足感があるだけです。わたしが完全にまで満たす源泉なのです。わたしは人の心の全ての切望を満たし、満足させます。愛と慈愛の必要を満たすために、わたしのもとに来なさい。高ぶりを捨てなさい。それは破壊的な力であり、それには全く愛がありません。それは愛から外れて作用し、皆に破壊をもたらすだけです。高ぶりは最初の悪です。それはいまだに人の心に君臨し、支配しています。高ぶりは人に、神を求めることとは相容れないあらゆる道を捜し求めさせます。

人は職業上の地位、才能、富、財産、他者との関係によって自己を確立します。これらは偶像であり、彼らは答えを求めて神に照準を合わせることをせず、自分たちが周囲の人たちの目に成功している

と写るように、わたしが命じていないものを探求することによって自己を確立することだけに目標を合わせます。へりくだった心の者たちだけが、答えと必要を求めて神を追い求め、周りの人たちに好印象を与えるためにものごとを追求したいという願望を捨てるのです。

あなたが富を蓄えようとしたり、世に名を売ろうとしたりするならそれがたとえ奉仕の勤めを通してであっても、それは他者に受け入れられようと、周りの人たちの承認を得ようと、あなたが努力をしているのです。これはわたしの心ではありません。それはありえないことです。わたしの謙遜な子どもたちは、彼らの必要のために日々わたしを求め、わたしは彼らを救います。わたしは、このようにして神への信頼を教えるのです。

わたしの子どもたちが自分の力で努力して成功するなら、彼らは失敗しているのです。わたしは、わたしの心から外れている者たちに報いを与えないからです。ものごとがうまくいっているように見えたとしても、それは偽りの保障なのです。

わたしはまた、わたしの子どもたちに、彼らにはわたしが必要であることを分からせるために、彼らの努力に失敗を許すことがあります。わたしが心から望まれるもの、すべてのことへの答えでなくてはなりません。他のものはすべて、わたしの子どもたちをわたしの心から逸らせていく偽りの希望なのです。

そうです。それはわたしに相談することもなく、わたしを知りことも信頼することもなく、自分自身の道を探している高慢な子どもたちです。それがもたらすものは低質な満足感です。努力の上にまた努力と、わたしの子どもたちは努力をしますが虚しさに終わり、さらに切望が深まるばかりで、決して本当に満足することがありません。いつももっと欲しくなるのですが、何を求めているのかが分かっていません。わたしがその「何」かなのです！わたしが真の満足、健全な心、健全な霊、健全な魂にいたる唯一の道なのです。

わたしが満たし、わたしが完成し、わたしが健全にし、わたしが人の心に空いた渴望の穴を埋めるのです。他の何でも誰でもありません。高ぶりとは、そこから派生する罪のもととなっているのは、この、神以外のあらゆるものに満足感と賞賛を見出そうとする、求めてやまない心です。虚しく、孤独で、満たされないのが、その行き着く先です。決してわたしがわたしの創造物のために意図したものではない、悲しい存在なのです。

高ぶりとは、いかなる形の愛にも完全に欠ける醜い罪です。愛のない姿勢には、誰に対しても愛が全くありません。対照的に、謙遜は愛します。それは利己的ではありません。それは他者を支配しません。まず他の人の用が満たされるのを待ちます。自己よりも他者を大いに尊重します。他人の足元をみません。無礼でも傲慢でもありません。

それは横柄ではありません。見栄をはりません。見せびらかしません。それは美しく、言葉遣いが穏やかで、優しい性質で、愛情があり、思いやりがあり、神に似たもの、キリストに似たもので、神を求めるものです。

それは他者を支配したり、自分の立場を押し付けたりしません。他者の境遇だけを気にかけます。これが謙遜です。常に目だたない所において、決して最高席を求めて競うことがありません。忍耐強く打たれ強い、これがわたしの道です。

謙遜は愛の一形態です。それは他者のことにでしゃばりません。自分の順番を待ちます。何にも増して愛します。自分が持ち上げられるために他者を落とそうとしません。周りの人たちにとって良いことだけを求めます。

なぜ神であるわたしにとって、謙遜は美しいものなのでしょう。わたしは、わたしの子どもたちがわたしの前に自らをへりくだらせるとき、喜びを覚えます。それは彼らの神であるわたしに対する尊敬、敬意、信頼を示すものです。彼らは必要のすべてを満たすために、すべての希望と期待をわたしに置きます。彼らは、自分の業績

や、自分の力、自分の身勝手な意志によって答えを自己に求めようとする願望を取り除きます。自分自身の心に従い、神であるわたしを捨て、唯一のまことの道、つまり彼らの神であるわたしから彼らを遠ざけていく利己的な探求に集中しようとする傾向が、彼らにはありません。わたしが唯一の道であり、真理であり、生き方なのです。

多くの者たちが、わたしに近づいて彼らの人生のためにわたしの意向、わたしの真理、わたしの指示を求めることなく、自分自身の道を探求することによって欺かれています。

彼らは、世が正しいとするものを追い求めます。お金、地位、名声また、神であるわたしから離れた数限りない方法で満足を得ようとしています。

わたしは、あなたが仕事をしたり人生を楽しんだりするべきではないと言っているのではありません。わたしは、先ずわたしを求めなさい、そうすれば、わたしにはあなたがこの世で生きていくのにとるべき正しい進路を示すことができると言っているのです。あなたがわたしの介入から離れてあなたの計画や夢を追い求めるなら、あなたはわたしの心から外れて走っており、あなた自身をわたしの敵に向かって開け放しているのであって、わたしの心にとどまっていないため、罪に生きていくことになります。これは高ぶりであり、反抗です。多くの人がその道を歩みます。

箴言（第18章12節）人の心の高慢は破滅に先立ち、謙遜は榮譽に先立つ。

箴言（第29章23節）人の高ぶりはその人を低くし、心の低い人は誉れをつかむ。

マタイの福音書（第23章12節）だれでも、自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされます。

ヤコブの手紙（第4章6節）しかし、神は、さらに豊かな恵みを与えてくださいます。ですから、こう言われています。「神は、高ぶる者を退け、へりくだる者に恵みをお授けになる。」

箴言（第8章13節）主を恐れることは悪を憎むことである。わたしは高ぶりと、おごりと、悪の道と、ねじれたことばを憎む。

主よ、どうすればあなたの意向のうちにいることができるでしょうか。あなたはこのようにしてわたしの意向のうちにいるのです。あなた自身をわたしに委ねなさい。完全に降伏しなさい。そうすればわたしはあなたの歩みを導きます。これは日ごとのことです。毎日わたしのもとに来て、子どものように指示と導きを仰ぐこと。これが子どものような信仰です。世は、自己充足的であることが人生の成功への道であると絵描いてきました。それは、わたしの敵により周到に策略された欺きの計画なのです。彼はこの嘘で世界をだましてきました。わたしの子どもたちは、ただの一度も彼らの造り主であるわたしに相談することなく、自分たちで考え抜いた計画や企画によって人生を探求し、すべてうまくいっていると信じています。正しそうに見えるなら、正しいに違いない。しかし、それは、わたしの子どもたちを狭い道から振るい落とそうと企まれた悪なのです。唯一、わたしだけがわたしの子どもたちが歩むべき正しい進路、正しい道を備えており、わたしは彼らにこの進路を日ごとに与えます。

ヨハネの福音書（第5章30節）わたしは、自分からは何事も行うことができません。ただ聞くとおりにさばくのです。そして、わたしのさばきは正しいのです。わたし自身の望むことを求めず、わたしを遣わした方のみこころを求めるからです。

人はこの世界に住む以上、時に、前もって計画せざるを得ないことがあります。それはどうなのでしょう。わが子よ、たしかにわたしの子どもたちは世に生きていますが、わたしは将来のための選択についても指示を与えることができます。わたしの子どもたちがわたしに求めるなら、時にはその回答が「静まって待ちなさい」ということがあります。好んでわたしのそばにいて、日々わた

しとともに歩むわたしの子どもたちだけに、この洞察が与えられます。わたしの子どもたちがわたしから離れていて、わたしのもとに時折しか来ないなら、それをわたしは祝福しません。わたしは、多くの子どもたちが信じているような、あなたが時折相談に来ることのできる神ではありません。多くの者は、彼らが危機にある間はわたしのもとに来ますが、その後はまたわたしを忘れてしまいます。このような子どもたちはわたしを知りません。

わたしはわたしの子どもたちとの親交、親密さを望む神です。なまぬるいこと…これはわたしにとって悪であり、わたしはそれを吐き出します。

マタイの福音書（第7章21節～23節）わたしにむかって『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行ったではありませんか』しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』

第2章

自分自身や他者を信頼してはならない

さあ娘よ、始めましょう。今日は「自己」に信頼することの問題についてあなたと話し合いたいと思います。自己充足、独立自尊、自己中心であることは罪悪です。それは世の制度によって奨励され、わたしの敵によって助長されています。

独立自尊とは、神より前面に「自己」を置くことでしかありません。それは、わたしの心から離れてあなた自身の意志で歩むことです。ちょうど、この40日間の断食がわたしの意向であるように、人々がわたしとの親しい関係を通してわたしを求めることなく決めたことを行うなら、彼らはわたしの心から離れて走っているのであり、罪の中に生きているのです。それはわたしに対する反抗です。わたしは、わたしの子どもたちにわたしの意向のうちを歩んで欲しいと望んでいます。時には、わたしの意向は、この世の基準に従うと、正しくないと思えることがあります。この世は、お金、財産、保障、人間の愛を追い求めよと唱えます。わたしの意向は、世が通常であるとするものとは一致しません。それは普通でないように見えます。しかし、わたしの意向は正しいのです。

わたしが人間を造りました。わたしはまた、彼らがわたしに信頼してわたしの意向のうちを歩むようにも造りました。わたしの心を知るためには、あなたは謙遜な従順をもって、わたしの前にあなたの命を差し出し、日々わたしを求めなければなりません。隠れた所でわたしとの親密な時間を持つために時間を捧げ、わたしのことばを読むことによってわたしを真に追い求める者たちは、わたしを見出し、わたしの意向を見出します。これには選択が必要となります。あなたは選ばなければなりません。世俗的な雑事が、わたしのまっすぐで狭い道からあなたを振り落としえるからです。ああ、進む道は他にも数多くありますが、すべては破滅に繋がっています。地獄への道は、多くの人が落ち込む広い道だからです。わたしに、そして永遠の命に通じるこの大切な狭い道を見つける人は少ないのです。

多くの者たちは、自分たちが狭い道を歩んでいると思っていますが彼らは欺かれています。彼らは、他のやはり欺かれている人たちに従っているのです。

わたしの指導者たちの多くが欺かれており、また他の人たちを欺いています。彼らが、わたしの教会で多くの奉仕を行って忙しくしていることが永遠の保障への道だと信じているからですが、これは欺きです。それはただ、親交によって、本当にわたしを知ることによって、わたしを知るために時間を過ごすこと、時間を捧げることによってのみなるのです。これが永遠の安全と保障への鍵なのです。

詩篇（第91章1節）いと高き方の隠れ場に住む者は、全能者の陰に宿る。

体は教会で食事を与えられますが、この体は、隠れた所でわたしを深く知るよために費やされる時間にわたしが与える栄養抜きでは、正常に本当に機能することはできません。ここが体が真に鍛え上げられる場所なのです。ここが、わたしがわたしの意向とことばをわたしの羊たちに伝え、敵が問題を起こそうとしてしようとするのを切り抜けられるように、彼らを支える場所なのです。あなたが人生の落とし穴や試練に持ちこたえることができるのは、わたしとの深い交わりによるのです。もしもあなたが一人でやるなら、あなたは苦闘し、最終的には失敗します。わたしから離れては、あなたにはわたしが何を要求するかが分からないし、結局は、わたしが全ての最高審判者であるからです。

あなたがわたしに近づいて、わたしが何をあなたに望み、要求するかを学んだことが一度もなければ、どうして裁きの時にわたしに向かい合う準備ができるのでしょうか。この深い交わりを持つことなくあなたがわたしに向かい合うならば、あなたは自分自身の信念、自分の考え、自分の意志に頼ってきたために、手にするものがなく、はなはだ不十分となるのです。あなたはやり損なうことになるのです。

ローマ人への手紙（第14章12節） こういうわけですから、私たちは、おのおの自分のことを神の御前に申し開きすることになります。

騙されてはいけません。いわゆるわたしの指導者と呼ばれている人たちの多くは、一度もわたしと時間を過ごすことがなく、彼らもまたわたしの心のうちに行動せず、まるで盲人が盲人を見通しのきかない破滅への小路へと案内しているようなものなのです。多くの人たちが、わたしを知らない人たちに信頼してきたために、そしてその人たち自身が大いに欺かれているために、自分たちがいかに惑わされてきたかと驚くことになります。

あなたは、世にあって正しいと見えるものに信頼することはできません。あなたはわたしに従わなければなりません。

あなたのすべてをわたしに明け渡し、誠心誠意、わたしを求めなさい。これがわたしの要求するものです。

わたしのことばがこの真理を語っています。正しく読んで自分で確かめてみなさい。わたしの指導者たちは、そのあまりにも多くが世とそのならわしとを好んでおり、この世と交わることにに関して良い気分でいられるように、わたしのことばの意味を変更するのです。この世はわたしに対立しています。わたしのことばを読みなさい。この真理は隠されてはいません。あなたはこの世とわたしを両方愛することはできません。わたしはこのことに関しては、はっきりとさせてきました。そうです、確かにあなたはこの世にいます。しかし、あなたは世にいながら、わたしとわたしのやり方に従わなければなりません。

ヤコブの手紙（第4章4節） 貞操のない人たち。世を愛することは神に敵することであることがわからないのですか。世の友となりたいたと思ったら、その人は自分を神の敵としているのです。

わたしとの親密な交わりを求めることからあなたを引き離す邪魔が、いたるところにあります。あなたはこの世の娯楽よりも、わたしと時間を過ごすことをもっと望まなければなりません。もしもあなた

が、あなたのつくり主、星々のつくり主、大空のつくり主であり、すべての命あるものの創造主との関係よりも、この世の物事を選ぶなら、あなたは低質で虚しい探求に甘んじようとしているのです。

へブル人への手紙（第10章38節～39節） わたしの義人は信仰によって生きる。もし、恐れ退くなら、わたしのところは彼を喜ばない。」私たちは、恐れ退いて滅びる者ではなく、信じていのちを保つ者です。

全ての命あるものの創造主であり、またささえ主であるわたしとの栄光ある永遠の歩みを、この世が売り出す安っぽい刺激と引き換えにしてはなりません。あなたがこの世で追い求めるものは、虚しい満足であり、最終的には死なのです。あなたは自分自身の運命を選んで、あなたが自分自身の道をつくと信じ、あなたの決定をわたしが祝福すると信じています。あなたはまだわたしを親密に知るようになってはいません。もしなっていたら、違った学びをするはずです。あなたは世の慣わしと、わたしの狡猾な敵とによって欺かれています。彼は、あなたが自分に一番良いと思うことを、あなたにわたしから離れてさせようとしめます。わたしはこれを祝福することはできません。その上、わたしの子どもたちは、なぜ自分たちがそんなに多くの問題に遭遇するのかと不思議がります。わたしの敵の最もひどい欺きは、あなたがわたしとの親密な関係を持つことなく走っているときに、万事上々であると信じさせることです。これが全てのうちで最大の欺きです。全てが申し分のないように見えても、あなたがわたしと向かい合うときに、わたしはあなたにこう言うのです。不法を働く者よ、でていきなさい。わたしはあなたを知りません…

マタイの福音書（第7章21節～23節） わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。

その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を

追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行ったではありませんか。』しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』

そうです。これはわたしのことばです。わたしは、あなたがわたしから離れて歩くために、また、あなたがわたしに一度も相談することなく自分自身の道を求めるためにあなたをつくったではありません。たしかに、あなたには自由意志があるので、これらのことを行うことができますが、あなたはわたしの心のうちにおらず、そのため、わたしに対して罪を犯しているのです。

わたしは、わたしの子どもたちに自由意志を与えるので、彼らは親しくわたしを求めてわたしの導きに信頼することを選ぶか、わたしから離れて走ることができます。わたしの子どもたちが自分たちの計画を求め、わたしから離れて、わたしの心から外れて走るなら、彼らはわたしの国の計画を妨害するのであり、それはよこしまなことです。彼らは、彼らが知りもしない破壊を引き起こします。彼らが、わたしの完璧な意向や計画から外れて自分の人生を生きることができると、身勝手に信じてしまっているからです。

彼らは自分たち自身にも他の人たちにも問題をもたらすのです。彼らは敵の気まぐれな思い付きや罠に対して無防備です。子どもたちよ、わたしから離れていては、あなたがたはわたしの敵の悪巧みや悪知恵にはどうも敵いません。自分がそんなに賢いと思っはなりません。あなたはわたしから離れては役に立たないのです。

なぜわたしは、子どものような信仰を持つ人たちのことを、わたしの国を受け継ぐ者として語るのでしょうか。なぜなら、ちょうど子が絶えずその親を頼みにするように、これらの子どもたちは自分たちにはわたしが必要であるということをいつも認識しているからです。子が、その親から離れたら危険であることを知っているようにわたしの子どもたちは、わたしから離れては彼らもまた大変危険な状態にあることを認識し、わたしの一つ一つのことばに信頼します

それだから、わたしはわたしの子どもたちに、わたしのことばに浸って時間を過ごすように懇願するのです。そこには多くの情報が付与されているのです。この人生を生きるための全ての答えがわたしの書の中に与えられています。わたしは人類のためにこの書を手引きとして与えました。

わたしの霊がその書中にある真理を明らかにします。従順することと、わたしの霊を豊かに受けることを通してのみ、あなたはわたしのことばを真に理解するために必要な悟りを受けるのです。みことばがあなたの心に育つのは人間の教えによるのではなく、わたしの霊によるのです。わたしの霊によってのみ、あなたはわたしの書の光を与えるいのちを受け取ることができるのです。

マタイの福音書（第18章4節）だから、この子どものように、自分を低くする者が、天の御国で一番偉い人です。

コリント人への手紙 第一（第2章11節～14節） いったい、人の心のことは、その人のうちにある霊のほかに、だれが知っているでしょう。同じように、神のみこころのことは、神の御霊のほかにだれも知りません。ところで、私たちは、この世の霊を受けたのではなく、神の御霊を受けました。それは、恵みによって神から私たちに賜ったものを、私たちが知るためです。

この賜物について話すには、人の知恵に教えられたことばを用いず、御霊に教えられたことばを用います。その御霊のことばをもって御霊のことを解くのです。

生まれながらの人間は、神の御霊に属することを受け入れません。それらは彼らには愚かなことだからです。また、それを悟ることができません。なぜなら、御霊のことは御霊によってわきまえるものだからです。

この世は今、欺きであふれています。わたしの敵によって広められた悪に騙されてはなりません。彼は、あなたが日々受け取るメッセージによって、あなたにはこの世のものごとを信頼することができ

ると、あなたに信じさせようとするものです。あなたは命を与えるものであるわたし以外のあらゆるものに信頼します。あなたは、お金や、教育、世俗的な保障、政府に信頼します。それは偽りの助けであり保障なのです。これは高等な欺きであり、わたしの子どもたちをわたしから離れさせます。わたしの子どもたちは、そこで少しわたしを信頼してみるのです。

彼らは少しばかりわたしに目を向け、そして他のあらゆるものに頼ります。これは親密な関係ではありません。

たしかに、あなたはこの世とあなた自身の願望とに親しくしていますが、わたしとはそうではありません。あなたには、わたしのもとに来て、わたしの前にすべてを差し出す必要があります。あなたが世俗的な保障を捨て、親密な関係を求めてわたしのもとへ来るまでは、あなたは本当にわたしを知ることはできません。この関係以外は、みな、なまぬるく、わたしはなまぬるい関係を受け入れません。この世と歩調を合わせつつわたしと少しばかりの時間を過ごしてもわたしの国に入ることができないことを、非常に多くの者たちがわたしと顔を合わせるときに知って、驚くでしょう。驚かされる者たちが大勢いるでしょう。

ヨハネの黙示録（第3章16節） このように、あなたはなまぬるく、熱くも冷たくもないので、わたしの口からあなたを吐き出そう。

わたしの子どもたちからわたしは何を求め、期待するでしょうか。わたしは彼らの命を求めます。わたしはそのすべてを完全な従順のうち求めます。この世とともに踊りながらわたしと踊ることは、よこしまです。わたしのことばを読みなさい。ああ、非常に多くの者たちが、わたしの書を読んで、そこから自分たちの望むことを取り出します。自分自身を慰めることができるように、また、この世を楽しみつつしかも人生の終わりにわたしの国に入ることができるようにです。わたしが、そのすべてをわたしに差し出した者たち、そのすべてを捧げた者たちだけを受け入れるということに気づく者たちには、なんとという衝撃となるでしょう。富、名声、財

産への彼らの探求は、すべて無駄に終わり、最終的には彼らをわたしの国から締め出します。彼ら自身の意思や将来の計画が、わたしがつくった命である彼らの人生のためのわたしの真の計画から離れわたしの心から外れた道に、彼らを引いていってしまっています。その命はわたしが彼らに与え、維持しているのです。

ああ、そのとおりです。わたしが命じるのでなければ、誰もその日その日に生きて呼吸をすることはありません。それだから、わたしの子どもたちは、彼らの人生のための真の目的とわたしの意向から離れた彼ら自身の利己的な計画に、そんなに確信を持つべきではありません。わたしは意のままに、どれでもわたしが選ぶ命を取ることができるのです。誰でも、わたしが彼らの人生に下す決断によらずして生きることはありません。わたしはわたしが良いと思うように、わたしが望むとおりに与え、また取ります。それだから、人間が彼らの人生のためのわたしの意向から離れて、彼ら自身の計画を立て、自分の道を進むことはまったく愚かなことなのです。それは高ぶりと愚かさの極みであり、また悪しきことなのです。それは、ごく普通で正しそうに見えるものによって、わたしの羊たちを破滅の道に迷い入れさせるための、わたしの敵のやり口なのです。それは、多くの者を惑わせるための敵の欺きの計画なのです。

ヨブ記 (第12章10節) すべての生き物のいのちと、すべての人間の息とは、その御手のうちにある。

詩篇 (第104章29節) あなたが御顔を隠されると、彼らはおじ惑い、彼らの息を取り去られると、彼らは死に、おのれのちりに帰ります。

第3章

謙遜の訓練

娘よ、わたしはあなたにことばを授ける用意があります。わたしが語るあいだ、注意して聞きなさい。今わたしは、新しい知識を扱いたいと思います。わたしは謙遜になる訓練について語りたいのです。

謙遜な人たちはこのようです。穏やかで物静かな人がわたしの謙遜な者たちです。彼らは決して地位や特権を求めることなく、ひっそりと歩みます。彼らはすべての点でわたしを求めます。彼らは彼らの神を常に求めています。彼らは中心になったり、注目の的になったりすることを望みません。彼らは自分自身への注目や承認を求めることを望みません。

彼らは、彼らの神であるわたしに愛され、わたしに世話をされることだけを願います。彼らはわたしを信頼し、わたしは彼らの面倒をみます。わたしは彼らの期待にこたえます。わたしは彼らの必要を満たします。わたしは彼らが暮らしていくのに必要なすべてのものを彼らに与えます。わたしは彼らの岩です。

わたしは、わたしの謙遜な僕たちに対して、絶えず誠実であります嵐の度に、わたしは彼らに平安と静けさをもたらします。わたしは常に彼らの傍にいて、いつも変わらず、常に喜んで彼らに仕えようとしています。わたしはわたしの謙遜な僕たちを愛します。彼らはわたしにとって美しい薫りです。わたしは彼らを愛し、彼らはわたしを愛します。わたしたちは切り離すことができません。わたしは彼らの空気です。彼らは星のように明るく輝きます。彼らは世の道を求めません。わたしは彼らを満ち足らせておきます。この世は彼らに全く影響力を持ちません。彼らはわたしに満足を求め、わたしは彼らが望むものを彼らにもたらします。

彼らは決して落胆することがありません。この道を歩む者はごく少数です。ごく少数の者しかそれを見出しません。そうする者たちは永久に続くわたしの王国への道を見出します。

ペテロの手紙 第一 (第5章6節) ですから、あなたがたは、神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神が、ちょうど良い時に、あなたがたを高くしてくださるためです。わたしの謙遜な僕たちはいつもわたしの声に聞き耳を立てています。彼らはわたしが彼らに求めるときに動き、わたしが彼らを必要とする時、心から喜んで仕えます。彼らはわたしの国で仕えることが大好きです。彼らはその王に仕えることに満足し、わたしは彼らに喜びと平安を与えます。

わたしの愛は彼らに満ち溢れます。彼らには決して乏しいことはありません。

謙遜であるためには、あなたは決して最高位を必要とせず、自分自身を一番低いものと思わなければなりません。

先でなくあとになることは知恵です。愚か者たちは最高位を求めます。わたしの謙遜な僕たちは賢く、何が彼らの神であるわたしを喜ばせるのかを知っています。わたしの子どもたちは謙虚で、決してこの世が認めたり目を留めたりする者たちではなく、世俗的なものの視点からは隠されています。

彼らはこの世では軽んじられますが、わたしの国では、彼らは支配者であり統治者なのです。彼らはわたしの天の王国で高くあげられます。わたしはわたしの謙遜な者たちに栄誉を与えます。彼らはわたしの天の王座にわたしとともに座り、わたしの臨在を楽しみます。現世で自分自身を最後のものにする謙虚な者たちは、わたしの国での地位を享受します。彼らは地上における従順の人生の結果として、高められ、尊重されます。これらの人々はわたしに喜びをもたらし、わたしは彼らに平安、しかも永久に続く平安を与えるのです。

マルコの福音書 (第10章31節) しかし、先の者があとになり、あとの者が先になることが多いのです。

わたしは謙遜な者たちとともに歩み、彼らにわたし自身を知らしめます。これが、彼らの犠牲に対するわたしの贈り物です。彼らのわ

たしに対する愛は、なんという甘い香りでしょう。わたしは彼らに栄光を与えます。

謙遜が神の国のあり方です。わたしの国では誰もが謙遜に満ちています。高ぶりは入ってくるできません。わたしの王国には高ぶりのための場所はありません。ただ、神であるわたしへの穏やかな従順があるのみです。これが、穏やかな謙遜に満ち、誰もがあふれる愛と美しさに満たされる場所である、わたしの王国です。天国には人生に不満のある人は一人もいません。希望と平安だけがあふれています。この世界は愛にあふれています。

ヨハネの手紙 第一 (第2章16節) すべての世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢などは、御父から出たものではなく、この世から出たものだからです。

第4章

神に信頼する

わたしの娘よ、始めることにしましょう(2012年2月7日)。わたしの子よ、わたしたちは今日、新しい分野を取り扱おうとしています。わたしは神に信頼することについて語りたいと望んでいます。わたしの子どもたちはわたしを信頼しません。彼らは信頼するとは言っていますが、彼らの心はわたしから遠く離れています。彼らは自分自身に信頼します。これはよこしまなことです。

彼らは世と、世にあるものごとに信頼します。

彼らはわたしの道を歩みません。それを信頼しないからです。もしも彼らがわたしを信頼するなら、彼らはわたしの道に、わたしの心のうちに、わたしの完璧な道に歩むはずです。

彼らは他に進んでいく方角を探し求めます。彼らは他の方角に進んでいきます。彼らは、お金、名声、財産、保障、恋愛、娯楽など、彼らの神であるわたし以外のあらゆるものを通して、全ての答えを世に探し求めます！彼らがわたしを信頼すると言いつつも、世から答えを求めるなら、彼らは偽りを生きているのです。偽りです。それはすべて偽りなのです。「神に信頼します」と彼らは言いますが彼らは、決して彼らの命をわたしに完全に明け渡すことがなく、答えを求めて世に執着し続けます。偽りを生きながら、それに気づきもしません。

たしかに、わたしはわたしの子どもたちを豊かに祝福します。わたしは正しい者の上にも悪者の上にも同様に雨を降らせ、太陽を昇らせませす。しかし、わたしの子どもたちがわたしを信頼すると言いながら、しかも世と共になってわたしに対して姦淫を犯し続けることはできません。これは忌まわしいことです。わたしは、わたしの前に完全に降伏して命を差し出し、彼らの将来への計画を捨て置き、彼らの人生のためのわたしの完璧な意向に信頼して、わたしに全信頼を置く子どもたちを望みます。彼らがわたしの意向のうちにいる

ならば、彼らには懸命に努力したり苦闘したり明日のことを心配する必要がありません。わたしはスズメを愛おしませずにいられるでしょうか。まして、わたしにすべてを捧げ、心からわたしを信頼するわたしの子どもたちを、わたしがどれほど愛おしむでしょうか。

マタイの福音書（第5、章44節～45節）しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。それでこそ、天におられるあなたがたの父の子どもになれるのです。天の父は、悪い人にも良い人にも太陽を上らせ、正しい人にも正しくない人にも雨を降らせてくださるからです。

詩篇（第4章5節）義のいけにえをささげ、主に拠り頼め。

わたしは信頼のできる神です。他に岩はありません。その他はすべて沈んでいく砂です。

わたしが時をつかさどる神、アルファでオメガ、最初で最後です。わたしは信頼できます。なぜあなた自身の計画に気を揉んで時間を無駄にするのですか。次の一時間のうちにさえ何が起こるか誰にも分からないのです。あなたの計画は一瞬のうちに吹き飛んでしまうこともありえるのです。なぜあなたは、あたかもそれらのものがあるあなたを救ってくれるかのように、信頼できるかのように、それらにしがみつくののですか。それは確実に偶像礼拝なのです！

マタイの福音書（第7章26節）また、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行わない者はみな、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に比べることができます。

あなたの不完全な計画に執着するのはやめなさい。あなたの命をわたしに完全に明け渡しなさい。わたしだけが未来を、あなたの未来を知っているのです。わたしだけが、あなたが明日、何をしているかを知っているのです。

あなたの人生に関するあなた自身の、わたしの意向から外れた希望や計画は、あなたを破滅へと導いていきます。完全な従順によって

わたしの意向のうちにいる者たちだけが、安全で、真に安全であるからです。他の者たちは全て、わたしの意向から離れて、彼ら自身の反抗的な意志のうちを歩いており、そのために、安全に、また安心して前進することができません。わたしの子どもたちよ、これは重大なことです。

目を覚まして、あなた自身の反抗的なやり方に信頼するのをやめてあなたの神に信頼しなさい。

わたしだけが狭い道への行き方を知っています。わたしから離れてこの道を見つけることができると考えて惑わされてはいけません。それは愚かなことです。自分自身のやり方に執着するのをやめる者は少ないため、この道を見出す者は少ないのです。周りの皆がこの道に従っているために、彼らはその道が最良だと思っていますが、地獄に至る道は広いのです。あなたの周りにいる多くの惑わされている人たちを信用してはいけません。このことが分からないのですか。わたしの子どもたちよ、このことの何が理解できないのですか。

マタイの福音書（第7章13節～14節）狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこから入って行く者が多いのです。いのちに至る門は小さく、その道は狭く、それを見いだす者はまれです。

ですから、わたしを信頼しなさい。わたしは信頼できるのです。わたしのことばは決して失望させません。わたしの書を読みなさい。わたしは本当に救われたいと望む人々を救います。わたしは、謙遜に砕かれてわたしに従順する者たちを救う神です。ですから、来て救いを受け、あなたの神を信頼することを学びなさい。

第5章

赦し

再開しましょう(2012年2月7日)。今わたしは「赦し」について語りたいと望んでいます。子どもたちよ、わたしはあなたがたに、この赦しの問題について語りたいのです。わたしの子どもたちは互いに対する不平を募らせ、心で赦そうとしません。わたしは赦さない者たちを赦すことはできません。このことは明確ですか。もしもあなたが、あなた自身が、あなたの周りの人たちを赦せないなら、どうしてわたしがあなたを赦すことができるでしょうか。わたしのことばがこのことを語っていませんか。赦しとは愛です。赦さないことは、苦み、復讐、不当な裁きなど、あらゆる類の罪につながります。それは、あなたの中に入ってきてあなたを破壊するための足がかりを敵に与えます。これは、あなたの神であるわたしとの親しさ親密な交わりからあなたを遠ざけ、あなたがわたしの霊を受けるのを妨げます。これは重大なことです。

マタイの福音書(第6章14節) もし人の罪を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたを赦してくださいます。

あなたが赦そうとしないなら、あなたには間近にあるわたしの再臨への備えができていません。これはあなたを引き止めます。それはわたしたちを隔てるのです。

この容赦のなさを後にしなさい。互いに赦しあいなさい。互いに対する怒りを捨てなさい。他の誰かに対する怒りを心に抱いていて、あなたは何を得るのですか。あなたが怒りを抱いているその人よりも、あなたの方がもっと苦しむのです。このことが分かりませんか。あなたの永遠の救いは、別の人に対して怒りを持ち続けるほどの価値のものですか。

マルコの福音書(第11章25節) また立って祈っているとき、だれかに対して恨み言があったら、赦してやりなさい。そうすれば、天

におられるあなたがたの父も、あなたがたの罪を赦してくださいませ。」

あなたはあなたの心を探り、このことを問わなくてはなりません。あなたの永遠のいのちを失うほど価値のあるものとは何ですか…つまらない諍いですか。赦して、身を引き、暗雲が晴れるのを実感しなさい。たとえ相手があなたを赦そうとしなくても、彼らのために祈りなさい。そうです、あなたの敵のために祈りなさい。誠実な心で彼らのために祈りなさい。そうすれば、わたしはあなたに害を及ぼす人たちに対してあなたの心を温めます。わたしはあなたに肉の心を与えます。

わたしの道に歩まず、わたしの聖なる霊を持たない人たちに、どうしてあたかも彼らがそうしているかのようにしてあなたに接することを期待できるでしょうか。あなたは、わたしを知らない人たちに対して、忍耐、親切、我慢強さを示さなくてはなりません。わたしを知らない人、わたしを本当に知らない人には、まるでわたしを知っているかのように振舞うことは不可能です。このことが分かりませんか。あなたはわたしから離れて歩く人たちにこれを期待することはできないのです。

マタイの福音書（第5章44節～45節）しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。それでこそ、天におられるあなたがたの父の子どもになれるのです。天の父は、悪い人にも良い人にも太陽を上らせ、正しい人にも正しくない人にも雨を降らせてくださるからです。

世はその神から離れてやっていけると考えます。それは自らを欺いています。わたしだけがすべてのものを成り立たせるのです。わたしだけが人に正しい生き方をもたらすのです。わたしを退けるこの世は、誤った指揮下で、悪の欺きの下に生きています。それはすべて非常に邪悪なものになってしまいました。

真理がなく、妥協と欺瞞があるだけです。わたしの完璧な道から離れて、人類は欺瞞と墮落の下に生きています。何も、あるいは誰も信頼することはできません。

まだこの地において、わたしの完全な意向のうちに歩むわたしの花嫁だけが、真っ直ぐな道の上にあります。彼女だけが安定していて真実です。他の者たちはみな、悪の不確かな道、あらゆる点において不安定な道を歩みます。

まもなく花嫁は取り去られ、世はその全ての光を失うこととなります。暗闇がすべてを飲み尽くすでしょう。この日が近づいています。

赦しは、あなたがわたしのもとに戻ってくるための鍵です。誰でも赦しなさい。赦さないためにあなたがその魂を失ってよいほどに価値のあるものはありません。

ルカの福音書（第6章37節）さばいてはいけません。そうすれば、自分もさばかれません。人を罪に定めてはいけません。そうすれば、自分も罪に定められません。赦しなさい。そうすれば、自分も赦されます。

娘よ、これはあなたの主が語っているのです。始めましょう。今わたしは、他の人たちとともに生きていく上での指示を与えたいと思います。

あまりにも多くの者たちには、お互いに対する考慮がありません。忍耐も敬意もほとんどありません。このことがすべて争いにつながっています。それは不満や心の痛みにつながります。わたしの子どもたちは利己的です。彼らはあらゆることにおいて先になりたがりです。彼らは他の人たちの必要に対して非常に鈍感です。彼らは他人への思いやりにおいて不十分です。これは争いや怒りにつながります。

子どもたちよ、わたしはこのことで悲しんでいます、その問題点は自己中心性から生じています。これは謙遜の欠如から起こっているのです。

箴言（第15章33節）主を恐れることは知恵の訓戒である。謙遜は栄誉に先立つ。

謙遜な心からのみ、あなたがたはお互いの間でうまく暮らせるようになるのです。

あなたはあなたの願望を捨て、あなたの周りの人たちが満足してもらえるように、与えなければなりません。

これには、あなたの周りの人たち皆に対して一目置くことが必要となります。これが謙遜な人たちの在り方です。これは、平安、満足、気持ちの良い環境といった実を成らせます。

このような生き方を学ぶ者たちは少数しかいません。この真理を見出す者たちは少数しかいません。しかし、それが平和の道であり、わたしの道なのです。

わたしは、わたしの子どもたちが平和に満足して生きることができるよう、人生におけるこれらの規則を与えています。ところが、彼らは自分たち自身の道を選び、結局、争いや多くの不満を抱えるのです。

いつになったら、彼らはわたしの道が旅するのに最善の道であることを学ぶのでしょうか。わたしはすべてのことを知っています。わたしは、どうすればわたしの子どもたちが一番うまく共に生きていけるかを知っています。わたしは、わたしの子どもたちを、平安な住まいである満たされた家庭に導き入れるために、規則と教えを与えます。これは、当然、わたしの子どもたちが彼らのやり方と願望を捨て、わたしの規則に従うことを必要とします。

詩篇（第34章14節）悪を離れ、善を行え。平和を求め、それを追い求めよ。

利己的な選択は不幸な家庭につながります。あなたの家庭をわたしに治めさせなさい。あなたの心にわたしを君臨させなさい。わたしの道は静穏、平安、愛です。わたしはあなたの家庭を、わたしがわたしの子どもたちのために計画した幸せな家にします。進んであなたの心をわたしに明け渡しなさい。そうすればわたしは安らぎを雨のように降らせます。

あなたの家庭は静かなる確信、愛、そして平安な暮らしを滲み出させるでしょう。穏やかに満ちたりて、謙遜に歩み、他の人々の気持ちを思いやることは、満足の実をもたらします。あなたの家庭をわたしに治めさせなさい。そうすれば、わたしは喜びと幸福の家庭を実現させます。

詩篇（第37章11節）しかし、貧しい人は地を受け継ごう。また、豊かな繁栄をおのれの喜びとしよう。

第6章

この世に生きなさい、だがこの世に属してはならない

始めましょう。今日は、わたしはこの世に生きることについて語りたいと思います。わたしの子どもたちはこの世に生きていますが、「この世に属する」必要はありません。この世はわたしに敵対しています。わたしはその圧倒するような悪に嫌悪を覚えます。

子どもたちよ、あなたには、この世に属する者たちの間にありながらも、世にある物事を取り入れることなく歩むことができます。この世はあなたを破滅と悲痛の道に引き込むのです。

ヤコブの手紙（第4章4節）貞操のない人たち。世を愛することは神に敵することであることがわからないのですか。世の友となりたかったら、その人は自分を神の敵としているのです。

わたしが健全さ、平安、静穏のためのあなたの唯一の源泉です。指導を求めてこの世に目を向けてはなりません。あなたは迷わせられるだけです。あなたはわたしに指導を求めなくてはなりません。この極めて重要な時刻に、わたしにすがりつきなさい。わたしはあなたのために答えのすべてを持っています。

わたしは、あなたを悲しみや悲痛から守りたいと望んでいます。あなたは、あなたの命をわたしに完全に引き渡さなければなりません。そうしてやっと、わたしはそれを受け取り、あなたを救うことができるのです。

あなたには、この世の中をその魅惑に影響されずに歩むことができますが、わたしがあなたと並んで歩くことが必要です。わたしには、この世があなたを迷わせてわたしからあなたを引き離すために限りなく仕掛けてくる邪魔ものの間を縫って、あなたを導いていくことができます。

わたしは、あなたがわたしに注目することを望んでいます。あなたの目をあなたの救い主であるわたしから離さないでいなさい。わたしがあなたの安全への扉です。他の扉はすべて破滅につながっています。騙されてわたしから目を離してはいけません。わたしは全く希望のない世界で希望を与えます。

ああ、それは希望に満ちているかのように見えますが、正常に見えるものが惑わせるのです。

詩篇（第25章15節）私の目はいつも主に向かう。主が私の足を綱から引き出してくださるから。

今が終わりの時です。この世は終末に入っています。この世は全くもって正常であるように見えますが、万事がそうではありません。それは破滅の道へと繋がっているのです。

まもなく、多くの人たちが、手遅れになってからこのことに気づくこととなります。あなたの目を開きなさい。この世は偽りの希望しか与えません。

わたしにあなたを導かせなさい。あなたの命をわたしに明け渡しなさい。わたしがわたしの聖霊であなたの目を開き、あなたは新しくされて、ものごとをあるがままに見るのです。すると、あなたは真理を見ることになるのです。わたしの聖霊のみが、この世のあり方に関してそんなにも欺かれていたあなたの霊の目を開くことができるのです。この変換が起こるのを助けるために、わたしには、霊の目に塗る目薬をあなたに与える用意があります。

あなたの人生と、心と、魂と、霊を捧げなさい。わたしが、あなたにこの世の中を安全に渡っていくために必要な視力を与えましょう。

ヨハネの黙示録（第3章18節）わたしはあなたに忠告する。豊かな者となるために、火で精錬された金をわたしから買いなさい。また、あなたの裸の恥を現さないために着る白い衣を買いなさい。また、目が見えるようになるため、目に塗る目薬を買いなさい。

第7章

携挙と子羊の婚宴

始めましょう。これらのことばは誰でもそれを受け取る者のために向けられています。今日わたしは、来たる携挙について、つまり、花嫁であるわたしの教会が取り去られることについて語ろうとしています。

この瞬間はすばやく訪れます。多くの子どもたちには備えがありません。彼らはわたしと争い、この世に執着します。彼らはこの世の道を歩みたがります。彼らは急いであちらこちらに動き回り、わたしが与えている警告を気にも留めません。まもなく警告は終わり、わたしは来なければなりません。そして花嫁が取り去られます。彼女はその状況から取り出されるのです。

ダニエル書（第12章4節）ダニエルよ。あなたは終わりの時まで、このことばを秘めておき、この書を封じておけ。多くの者は知識を増そうと探り回ろう。」

彼女の実体はこの世には知られていません。彼女はうまく隠されています。わたしは彼女を安全に隔離させています。わたしの光は彼女を通して輝きます。それは地上に残っている最後の光なのです。時は縮まっていて、まもなくこの光が消えてしまいます。わたしが送った者たちは、地上の暴虐から逃れて、彼らの天の家に安全に出発します。

この携挙というのは、大きな現象で、わたしの備えある子どもたちが取り去られることになります。人類の歴史の中でそのような出来事はまたとないでしょう。後にも先にもそのようなことは決してないでしょう。それは史上最大の「脱出（出エジプト）」なのです。

わたしの子どもたちは一瞬にして発ち、新しい栄光のからだを受けます。このからだは回復力に富み、不滅です。それはわたしが持っている栄光のからだの様式に習うものです。わたしが多くの者たち

の初穂なのです。これらの子どもたちは、かつて知る事のなかった命、栄光の命、永遠に続く命を体験します。

コリント人への手紙 第一 (第15章51節～54節) 聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな、眠ることになるのではなく変えられるのです。終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。朽ちるものは、必ず朽ちないものを着なければならず、死ぬものは、必ず不死を着なければならないからです。しかし、朽ちるものが朽ちないものを着、死ぬものが不死を着るとき、「死は勝利にのまれた」としてされている、みことばが実現します。

携挙されるわたしの子どもたちには、素晴らしいことがたくさん待ち受けています。わたしがあなたにそれを垣間見せましょう。わたしの子どもたちが到着すると、彼らは、すでに天国にいる家族や友人たちといった、彼らの愛する者たちに迎えられます。わたしは見守っています。これは大いなる栄光の瞬間です。長い間会っていない家族と再会することは何という恩恵でしょう… それからわたしの子どもたちは、子羊の大婚宴へと案内されます。わたしがこの行事を主宰します。

ヨハネの黙示録 (第19章9節) 御使いは私に「子羊の婚宴に招かれた者は幸いです、と書きなさい」と言い、また、「これは神の真実のことばです」と言った。

食卓は、あらゆる装飾が備えられ、惜しげなく整えられます。この行事の仔細は驚くばかりのものになります。わたしの子どもたちは純金の文字で彼らの名前が入った食器一式の前に座ります。それぞれの食器一式には、宝石が埋められた金の用具があります。これもまた宝石が散りばめられた純金の皿が並びます。テーブルクロスは金の糸で紡いだ本絹のものです。

光がその織目を刺し通します。カップは金で淵の周りに宝石がついています。

それぞれの食事の席には、それぞれの子どものために特別な贈り物が置かれています。その贈り物は、わたしとこの子どもとの関係を記念する大切なものです。それはそれぞれの子どもに特有なものとなります。それぞれの贈り物には、わたしたちの長く続く関係にまつわる、それぞれの子どもにとっての特別な意味が込められています。この行事、わたしの婚宴には、驚くようなことがたくさんあるのです。

マタイの福音書（第22章2節）「天の御国は、王子のために結婚の披露宴を設けた王にたとえることができます。それぞれの子どもには御使いが一人ずつついて給仕をします。食物はわたしの天の厨房で用意されます。手落ちは全くありません。食べ物はすべて天の分け前で、地上からの見覚えのある食べ物と、以前には見たことのなかった天の食べ物とから成っています。このテーブルのコーディネートは言葉にならないほど美しいものです。

わたしの食卓は光に満ちています。光のろうそく、美しい燭台で。わたしの子どもたちは光の衣を身にまといます。影はないので、彼らは光を発散させます。

ヤコブの手紙（第1章17節）すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。

わたしがわたしの花嫁に祝杯をあげる指揮を執ります。彼女はわたしにとって最も美しいため、わたしは彼女を賞賛します。辺り一帯に踊りと音楽があり、陽気な騒ぎが起こります。

花嫁はわたしをその完全な栄光のうちに見ます。わたしは目に眩いでしょう。わたしの美しさが輝き渡り、わたしの愛が流れ出て、出席している者たち皆を圧倒します。踊りや陽気な騒ぎであふれ、わたしの父が非常な喜びをもって見守っています。

わたしはわたしの花嫁と踊り、わたしたちはひとつになります。わたしの子どもたちは踊り、陽気に楽しみます。皆の心が喜んでい

ます。悲しむ人は誰もいません。これは栄光と愛の素晴らしい時間となります。

鳩が空を満たします。それらは美しい型で編成を組んで飛び、わたしの花嫁のために美しいメッセージを綴ります。彼女は畏敬の念に打たれます。

わたしはわたしの花嫁に指輪を贈ります。この指輪には、わたしたちの名が記されています。

新しい色も古い色も、あらゆる色の花々がいたる所にあります。空中に香りが、美しい芳香が立ち込めます。わたしの子どもたちはそのすべてに夢中になり我を忘れます。

ルカの福音書（第15章22節）ところが父親は、しもべたちに言った。『急いで一番良い着物を持って来て、この子に着せなさい。それから、手に指輪をはめさせ、足にくつをはかせなさい。わたしの御使いたちが空を踊りや歌や音楽で満たします。天の楽器が美しい音楽を奏でます。星たちが子羊と彼の花嫁を祝って叫びます。

ヨブ記（第38章6節～7節）その台座は何の上にはめ込まれたか。その隅の石はだれが据えたか。そのとき、明けの星々が共に喜び歌い、神の子たちはみな喜び叫んだ。すべての天の軍勢が集まって、子羊の大いなる婚礼を褒め称えます。

だれもが王を賞賛し、その花嫁の到来を褒め称えます。彼女は備えができたのです。さあ喜び始めましょう！

ヨハネの黙示録（第19章7節）私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。子羊の婚姻の時に来て、花嫁はその用意ができたのだから。

世の罪を取り除く子羊は、聖なる婚姻において、彼の愛する者と一体になります。彼の名は偉大なるかな！すべての天なるものたちとともに、彼の聖なる名を褒め称えなさい。彼は、彼の愛する者に結婚を誓い、彼が彼女の心を勝ち取ったから！

ヨハネの福音書（第1章29節）その翌日、ヨハネは自分のほうにイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の子羊。

わたしの子どもたちはまた、彼らの住まいに案内されます。ああ、娘よ、その美しさ、その華麗さ。

目にしたことも耳にしたこともないものが、わたしを愛するわたしの輝かしい花嫁を待ち受けています。

コリント人への手紙 第一（第2章9節）まさしく、聖書に書いてあるとおりです。「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである。」

娘よ、これらの住まいは、地が提供する何物にもまさって喜ばしいものです。わたしの花嫁を待ち受けているものの壮麗さは、何にも比べられません。これらの家々は、それぞれの子の嗜好と興味に合ったものとなります。二つとして似通った住まいはありません。どれも他のものとは異なっています。

ヨハネの福音書（第14章2節～3節）わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言うておいたでしょう。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとの迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。

わたしの子どもたちは、それぞれの住まいにあるものを見て、口がきけないくらい驚くでしょう。どれも細部まで、その持ち主を喜ばせ、魅了させるものとなっています。これらの驚くべき家々の、それぞれの装飾と美しさを形容できるものは地上にはありません。

内装にはすべて、固有のお楽しみがあります。これらの住まいは生きています。それらは、わたしの子どもたちが楽しみ、また体験す

るための素晴らしい場所から場所へと、わたしの子どもたちを連れて行きます。

わたしたちはこれらの冒険を共に分かち合います。わたしたちは笑い合い、探検します。その感激は終わることがありません。庭々や喜びを与えてくれるものが限なくあるのです。

音楽と快い芳香が空中を満たします。それぞれの家は、愛と笑いで満ち溢れます。天国では、決して孤独が問題になることはありません。わたしがいつも私の子どもたちとともにいて、笑い興じ、お互い一緒にいることを楽しむのです。

詩篇（第36章8節）彼らはあなたの家の豊かさを心ゆくまで飲むでしょう。あなたの楽しみの流れを、あなたは彼らに飲ませなさいます。

わたしの愛が、彼らの動きの一つ一つを包みます。笑いと愛と喜びが、これら永遠の家々にある報酬であり、言いようのない喜び、永続する歓びがあるのです。

これは、来たるべきもののほんの一端に過ぎません。わたしの子どもたちは、何が彼らを待ち受けているのか全く理解していません。地上に存在するものを以って、待ち受けているものを正確に描写することは決してできません。自分で目撃して初めて、それを本当に説明できるようになります。

ですから、わたしの子どもたちよ、来て、わたしの花嫁のために大事に特別に用意された家々で、永遠に続く王国の妙なる歓びを楽しみなさい。

詩篇（第16章11節）あなたは私に、いのちの道を知らせてくださいます。あなたの御前には喜びが満ち、あなたの右には、楽しみがとこしえにあります。

第8章

携挙に備えなさい

始めましょう。さあ、娘よ、携挙までの日々には備えるべきことがたくさんあります。わたしの子どもたちは、隠れた所で、静かな時に、わたしとの時間、わたしをよく知ようになるための時間を過ごす必要があります。わたしは、彼らがわたしに注目し、わたしと一緒にいることを要求します。わたしは、彼らにわたしの心を明かしたいのです。わたしは、彼らとその心も命も、この世への愛着もすべてを完全に明け渡すことを要求します。

詩篇（第91章1節）いと高き方の隠れ場に住む者は、全能者の陰に宿る。

わたしの子どもたちは、世に愛着を抱いています。彼らは、この世が彼らのためにすべてのものを擁していると信じています。この世界は空虚で冷淡です。人は自分のことばかりで、他の人のことを本当に思いやる人は誰もいません。喰うか喰われるかの世界になってしまっています。誰もが、自らの利己的な目的のために、他の誰かから何を得られるかと狙っています。それは希望のない惨めな世界です。そしてわたしの子どもたちは、まだそこに自分たちのための明るい未来があると信じて、いまだにそれにしがみついています。彼らは、その迷い道を推進する迷える人たちに魅了されています。

わたしの子どもたちは、このような無意味なことから身を引き、今の世にも後の世にも、すべての答えを擁する彼らのつくり主である生ける神に立ち戻る必要があります。

わたしは、全て生きて息のある、霊なるものたちの偉大な神です。わたしは永遠に続く命への鍵を握っています。わたしが地上に偉大なる入場を果たし、わたしの花嫁を集めてから身を引いて、この地にその当然受けるべきものを受けさせる前に、あなたの全てをわたしに捧げなさい。

ヨブ記（第12章10節）すべての生き物のいのちと、すべての人間の息とは、その御手のうちにある。

このことは起ころうとしています。わたしの花嫁、わたしの救われた子どもたちのうちに数えられるためには、従順が要求されます。例外はありません。完全に従順することで、わたしの霊があなたの霊の内に入り、それを新しくし、わたしの贖いの血による覆いと、わたしのことばを通して与えられる悟りをもって、あなたの心をきよめることが可能になります。これはすべて、あなたの魂を救うために、しみもしわもなくきよめられ、白くされて、あなたが取り去られて守られる用意ができるために、必要なことです。このことを疑うなら、わたしのことばを読みなさい！

エペソ人への手紙（第5章25節～27節）夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。

この聖霊の満たしのために祈りなさい。あなたの命を捨て、あなたの罪を悔い改めなさい。あなたの聖なる神であるわたしの前に続けられた罪をあなたが悔いていることを表して、断食を始めなさい。わたしがあなたを満たします。わたしは、あなたをわたしの道とわたしの心のうちにある永遠の真理へと導きます。

あなたの意思はあなたを破滅へと導いていきます。それはわたしのことばが語るころの広い道です。わたしの意向のうちに入って来なさい。それが狭い道、安全な道なのです。わたしがあなたをそこに連れて行きます。

マタイの福音書（第7章13節～14節）狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこから入

って行く者が多いのです。いのちに至る門は小さく、その道は狭く、それを見いだす者はまれです。

わたしのことばがあなたを光の道へと案内します。他の道はみな、永遠の破滅につながっています。わたしの光のうちに、わたしの意向のうちに入ってきなさい。あなたの命をわたしに差し出さなさい。わたしがあなたを過去の罪から解放し、あなたを罪の縄目からの解放へと導く道を、あなたに示しましょう。

詩篇（第119章105節）あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。

何であれ、罪はあなたをその奴隷として束縛します。わたしにはあなたを解放することができます。しかし、まず、あなたが降伏し、悔い改め、あなたにはそこから解放されたいと願っている罪があることを認め、これを心からの悔い改めをもって行わなければなりません。わたしは、あなたを縛り、束縛するこの罪の縄目から、喜んであなたを解放します。たとえ何があなたを捕らえていても、わたしにはあなたを解放することができるのです。

わたしにできないことは何ともありません。何一つとしてないのです。わたしは捕らわれ人を自由にするために来たのです！あなたは求めさえすればよいのです！

ルカの福音書（第1章37節）神にとって不可能なことは一つもありません。

わたしがこの重荷からあなたを解放しましょう。わたしがあなたの悲しみや悲嘆を取り除きましょう。わたしがあなたの心を楽にし、あなたの重荷を取り除きましょう。わたしの来たるべき栄光のために、わたしがあなたを整えましょう。これはすべてあなたのものなのです。明け渡さなさい。あなたのすべての世俗的な欲望を放棄し、完全に従順してわたしのもとに来なさい。わたしがすべての理解を超える平安をあなたに与え、あなたはわたしの面前で義とされるこ

とができるのです。わたしには、わたしと、父と、聖霊との前に、あなたを義なるものとする事ができるのです。

ピリピ人への手紙（第4章7節） そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

この愛はお金で買ったり得たりすることはできません。それは無償です。受ける者、求める者には無償で与えられます。けれども急ぎなさい。時がわたしの再臨に近づいていて、その期間には限りがあるから。遅れてはなりません。わたしの血で洗い、備える時は今なのです。

ヨハネの手紙 第一（第1章7節） しかし、もし神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。

娘よ、始めましょう。今日わたしは、あとに残される者たちにとっての時間について論じたいと思います。

携挙の後、世界は今とは異なったものになります。いたる所で大混乱が起こります。世界は今と同じものようには見えなくなります。恐怖が地を襲うでしょう。わたしのなまぬるい子どもたちは、何が起こったかを知り、恐れるでしょう。非常な恐怖が彼らの心を襲うことになるのです。

世界は通常に機能しなくなります。景色まで違って見えるでしょう。

いたる所で火災や災難が起こります。暴徒らが、略奪し、剥ぎ取ろうとして人々を探し回るので、人々は無防備になります。

すべてが混乱の中にあるため、人々を助けるための部隊も出ません。

突然の破壊が地にやってきて、多くの者が命を失います。多くの者が一度に滅びるため、世界中全部が二度と同じものには見えなくなります。

テサロニケ人への手紙 第一 (第5章3節) 人々が「平和だ。安全だ」と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らに遅いかかります。ちょうど妊婦に産みの苦しみが望むようなもので、それをのがれることは決してできません。

地の隅々からパニックが広まってきます。救援を頼っていくところはどこにもありません。食糧が減って無くなります。どこもかしこも絶望に見舞われます。

このことがある期間続いてから、反キリストが介入し、世界を彼の支配下に置くようになります。

最初のうちは、再び正常な形態を見ることに必死になっている人々にとって、それは救済であるかのように思われますが、彼がもたらそうとしているその救済は、多くの者に死をもたらします。彼の体制に組み込まれることを拒否する者たちは処刑され、多くの者たちは苦しめられ、拷問さえ受けるでしょう。

彼は誰に対しても容赦がないので、彼の体制の一部になることを拒むことは、楽しいことではありません。彼はその芯までが邪悪なのです。彼は地球全体を彼の圧政の下におきます。全地が、携拳の後に残された混乱からの救済を見出すために、苦し紛れに彼の支配に屈するでしょう。

これは人類の知る限りで最も暗い日となります。多くの者が苦痛から逃れようとして自らの命を絶ちます。これはわたしの解決策ではないのですから、解決策とみなされるべきではありません。

反キリストは支配の手段として、その人々に獣の印を刷り込みます。その印を拒否することは死の判決をもたらします。例外はありません。

ヨハネの黙示録（第13章16節～17節）また、小さい者にも、大きい者にも、富んでいる者にも、貧しい者にも、自由人にも、奴隷にも、すべての人々にその右の手かその額かに、刻印を受けさせた。また、その刻印、すなわち、あの獣の名、またはその名の数字を持っている者以外は、だれも、買うことも、売ることもしないようにした。

ヨハネの黙示録（第14章11節）そして、彼らの苦しみの煙は、永遠にまでも立ち上る。獣とその像とを拝む者、まただれでも獣の名の刻印を受ける者は、昼も夜も休みを得ない。

なまぬるいわたしの信徒たちの多くは、その時、彼らがわたしの国に入ってくるために支払わなければならない代価を理解するでしょう。非常に多くの者たちが反キリストに降伏せず、非常に多くの者たちがその信仰のために死ぬこととなります。それは大きな数字となります。

何人の人が死んでも、反キリストにとっては問題にはなりません。権力と支配への欲望が彼の心を支配します。彼には、命を失う大ぜいの者たちへの気遣いなど全くありません。それは、わたしの名を公言する者たちにとって、暗黒の日となります。わたしの名は、多くの人々に死の宣告をもたらします。わたしの名は抑圧され、反キリスト体制への反逆を表し、彼らは、わたしとわたしの道を推進する者たちを皆、根絶やしにしたがります。

なんとも暗い時間が子どもたちに迫っています。地上ではこれまでも暗い時間がありましたが、決して、この先に待ち受けているものほど暗いものではありませんでした。これは、誰でも子どもを抱えている人にとっては楽しい場所ではなくなります。闇が君臨します。これがわたしのなまぬるい教会が直面することなのです。

なまぬるい教会が多数わたしのもとに戻ってきます。人々はかつてなかったようにわたしを求めるでしょう。わたしは当然そこにいるのですが、それでも彼らは困難な時を通過しなければなりません。家族が引き離され、悲しみが生じます。これはすべて、わたしの子

どもたちがその心をかたくなにして、わたしの多くの警告にうなじをこわくしていたためなのです。これはすべて避けうるのです。わたしの子どもたちがわたしのもとに来て、心からへりくだって悔い改めて叫び、わたしの顔を捜し求め、わたしを親密に知るようになるならば、待ち構えているわたしの腕の中に駆け込みなさい。わたしは間近にあるわたしの再臨の時についての真理を彼らに示し、花嫁としてどのように備えるべきかを教えましょう。

子どもたちよ、来なさい。走りなさい。わたしはこれらすべてのことからあなたを守ろうと待っているのです。わたしは偉大なる救い主です。わたしの願いはあなたを救うことです。誰も取り残される必要はないのです。来て、わたしの前にその命を差し出す者たち皆が入れるのです。わたしはあなたの全存在の明け渡しと、あなたの罪の悔い改めとを要求します。他に道はないのですから、騙されてはいけません。わたしが来たるべきこの時からあなたを助け出しましょう！再び始めましょう。わたしの子どもたちは、自分たちには未来に向けて長い年月があると信じています。彼らには、わたしがこの世に対してわたしの寛容さを失ってしまったことが分かっています。

わたしの子どもたちはこの世にとらわれ過ぎていて、この世がわたしの真理から、また、神であるわたしが表すものから、いかにかけ離れているかが見えなくなっています。彼らの教会までもが、わたしのことば、わたしの真理、わたしの書から遠く離れています。

わたしの群れの指導者たちは世俗的な活動にとらわれ、自分たち自身を喜ばせるためにわたしの働きをします。彼らには、もはやわたしへの純粋な愛はなく、それを追い求めることもありません。彼らは富や、名声、周りの人々からの信用を追い求めながら、わたしが彼らを祝福すると信じています。

彼らは、彼らの教会における数字の大きさが成功に等しいと考え、また、わたしが喜んでいると信じています。わたしは、わたしの指導者たちが、すべての道においてまずわたしを求めることと、穏や

かな親交のうちにわたしと共に歩むことを彼らの子どもたちに指し示す場合にのみ、満足します。これを教えている人たちはごくわずかです。それが彼らとその建物の中に引き入れたがっている大勢の人たちの耳をくすぐるものではないからです。多くの者がお金をもたらし、お金は皆を喜ばせますが、わたしの国はこの世における富に関わるものではありません。

ルカの福音書（第16章13節）しもべは、ふたりの主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛したり、または一方を重んじて他方を軽んじたりするからです。あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはできません。

わたしの指導者たちはわたしから遠く離れていますが、なぜでしょうか。彼らが大勢の人々の要求を満たすなら、彼らにはわたしのための時間がいつあるでしょうか。わたしが彼らの存在する理由なのです！わたしが太陽と雨をもたらす者なのです。

今は暗闇の時間です。そして日ごとに暗さが増してるのに、わたしの指導者たちは、わたしの群れからこの真理を覆い隠しています。彼らはそれを隠して、喜びや嬉しさに関わることばだけを届けるのです。わたしの群れは欺かれており、備えができないでいます。彼らはすべてうまく行っていると思い、いつもどおりに進み続けていくのです。

どんな警告の言葉であれば、彼らを回復させるのでしょうか。彼らは何を聞けば、わたしの書が彼らの前にすべての真理を明らかにしていることを信じるのでしょうか。しかし、誰も聞かず、誰も信じません。

何を言えば、教会は警告を把握し、この世のものごとへの執着を捨て、見張って備えるのでしょうか。

ホセア書（第4章6節）わたしの民は知識がないので滅ぼされる。あなたが知識を退けたので、わたしはあなたを退けて、わたしの祭

司としない。あなたは神のおしえを忘れたので、わたしもまた、あなたの子らを忘れよう。

彼らは軟弱で惑わされています。時間が去っていつているのに、教会はまるですべてのことが申し分ないかのように満足しきってしまっています。なまぬるい教会はなんと惑わされていることでしょうか。わたしとわたしの表す全てのものへの彼らの探求は、なんと活気に欠けているでしょう。もしも教会が本当に親密にわたしを求めるならば、彼らはわたしの警告に全く驚くこともなく、それらの警告は誠心誠意を以って留意されるはずで

今は教会にとって大いなる暗闇の時間です。寝ないで監視している者たちはごくわずかです。わたしの教えと道とに歩んでいる者たちはごくわずかしきません。恵みは、意図的に反抗して、悔い改めないで生きる者たちには差し伸べられません。あなたはわたしの聖い霊を抑圧し、悲しませうるのです。そうしたら、ああ、教会よ、あなたはどうするのですか。

エペソ人への手紙（第4章30節）神の聖霊を悲しませてはいけません。あなたがたは、贖いの日のために、聖霊によって証印を押されているのです。

私の霊があなたの好みには過激すぎるからといって、あなたが彼をあなたの美しい建物から追い出すならば、わたしとわたしの霊とはひとつなのです。あなたがわたしの霊とわたしの霊の動きとをあなたの前から去らせてしまったなら、あなたは誰を礼拝しているのですか。あなたは一体誰を礼拝しているのですか。あなたは偶像を礼拝しているのです！

使徒の働き（第7章51節）かたくなで、心と耳とに割礼を受けていない人たち。あなたがたは、父祖たちと同様に、いつも聖霊に逆らっているのです。

あなたは自分で作った神、あなたの世俗的な好みや願望に合った神を作り出しましたが、それは唯一のまことの生ける神ではありません

ん。それは偶像に過ぎません。あなたは過去に金の像を礼拝した人々のことを恥ずべきだと考えていますが、あなたもまったく同じなのです！教会よ、謙遜に悔い改めてわたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたの魂をきよめます。わたしはあなたが富を追い求めたことと、わたしから離れていったことを赦します。わたしは、あなたをわたしのもとに連れ戻したいと切に願っています。わたしがあなたを回復させ、あなたに平安をもたらし、あなたをあなたの神の前に義としましょう。

マルコの福音書（第8章36節）人は、たとえ全世界を得ても、いのちを損じたら、何の得がありましょう。このままでは、あなたはわたしとわたしの道から遠く離れています。これをわたしは祝福しません。ああ、迷える教会よ、どうかわたしに立ち返りなさい。わたしはまだもう少しのあいだ待っています。遅らせることは選択肢ではありません。油断せず、この警告を心に留めなさい。立ち上がりなさい！多くの命がかかっているのです！

テモテへの手紙 第二（第4章3節～4節）というのは、人々が健全な教えに耳を貸そうとせず、自分につごうの良いことを言うてもらうために、気ままな願いをもって、次々に教師たちを自分たちのために寄せ集め、真理から耳をそむけ、空想話にそれて行くような時代になるからです。

第9章

迷える教会について

始めましょう。わたしは、わたしの迷える教会について、自らはわたしにあって安全だと信じていながらも、わたしから遠く離れている者たちについて語りたいと思います。わたしは今、あなたに語りかけているのです。多くの者たちは、自分たちにわたしとわたしが表すものについての完全な真理を与えてくれていると彼らが信じている教会にいます。しかし、事實は、世界中のほとんどの教会にあるのは、わたしが表すものの希釈版なのです。これは、人々がありのままの真理を許容しないがゆえに、彼らが人々に半面的な真理を伝えていることを意味します。

彼らは、わたしの完全な福音を知ることを望んでいません。彼らは耳当たりがよくて、この世で世俗的な生き方をしたいという彼らの願望をなだめてくれることを聞きたがります。

わたしの再臨のための時が近づいています。わたしには、いい加減でなまぬるいわたしの信者たちを連れて行くことはできません。彼らは後に取り残されます。彼らはその時、彼らの生半可な信仰がもたらした結果を知ることになります。

ヨハネの黙示録（第3章15節～16節）「わたしは、あなたの行いを知っている。あなたは、冷たくもなく、熱くもない。わたしはむしろ、あなたが冷たいか、熱いかであってほしい。このように、あなたはなまぬるく、熱くも冷たくもないので、わたしの口からあなたを吐き出そう。

さあ子どもたちよ、あなたは、あなたの教会の指導者たちがすべての真理をあなたに提示してくれると当てにすることはできません。あなたは、あなた自身で、すべての真理をわたしに求めなければなりません。あなたは、わたしの書を読み、心からわたしに従順し、悔い改まった謙遜な心で、わたしの霊で満たされるように求めなければなりません。他に道はありません。わたしは完全な献身を望ん

でいます。わたしは、あなたの命を充実した豊かな命に換え、あなたとあなたの目は、真理に、すなわち、わたしの真理に開かれます。そうすればあなたは、わたしの国に受け入れられるためにわたしが何を要求するかを理解するでしょう。

わたしの教会は、わたしに従う者になるということの意味を見失ってしまっています。彼らはわたしの教えと道とに従いません。彼らは自分たちの望みどおりのことをしながら、しかも自分自身に関して良い気分であるために、抜け道を探します。このことはもうずいぶん長い間続けられてきましたが、今ではそれがはびこり、全真理を欲する人々はごくわずかで、わたしのことばが本当に語ることを理解したがる人々はごくわずかしきません。彼らは行ったり来たりするうちに、彼らの気をよくさせてくれる小話を聞きたがりますが、決してわたしを、あるいはわたしが誰であるかを、本当に知りたがってはいません。

彼らは、わたしを知っていると思っているのに過ぎません。わたしは、わたしに従う人たちの殆んどには、本当には知られていないのです。

殆どの人たちは、わたしとの関係に少し手を出すだけです。彼らはわたしを彼らの神とすることが何を意味するのかを、完全には理解していません。わたしは、彼らの人生にちょっと立ち寄る傍観者に過ぎず、決して彼らの人生を共にすることがなく、決して親密な関係を本当に分かち合うことはありません。

マタイの福音書（第7章21節～23節）わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行ったではありませんか。』しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』

このことはわたしを大いに悲しませます。わたしとの親しい交わりのため、この人生の道を一緒に歩くため、これが、わたしがわたしの子どもたちを創造した真の理由なのです。それでも、この世が彼らをあまりにも誘惑するために、彼らは、来てそのつくり主を知ることよりも劣った道を選択してしまっています。

そんなにも被造物に興味をそそられながら、彼らに興味をそそられているそのすべてのもののつくり主である創造主を拒絶するとは、何と悲しいことでしょうか。本当に、何とも非常に悲しいことなのです！わたしの子どもたちよ、あなたにはわたしが神聖さと忠実さを要求することが分かっています。

子どもたちよ、わたしは、あなたの第一の思い、あなたの第一の愛、あなたの一番、つまり何よりも大切なものになりたいのです。このためにあなたは造られたのです。わたしの永遠の友となるために。もしもあなたが、今わたしとこの道を歩むことを選ばないなら、どうしてわたしには、わたしたちが永遠の友になれると期待することができるでしょうか。あなたは誰と永遠に結ばれることになると思いますか。わたしとですか、それともわたしの敵とですか。あなたは、あなた自身にこのことを問う必要があります。

わたしの愛は、人の知るどんな愛よりも深いものです。低質な満足を求めて自分を安売りしてはなりません。あなたは、わたしの愛よりも大きな愛に出会うことは決してありません。

子どもたちよ、あなたはあなたの心を探り、あなたの魂を調べなくてはなりません。わたしたち、あなたとわたしとは、どういう位置にあるのでしょうか。あなたの人生において、わたしの場所はどこにあるのでしょうか。わたしは外にいて中を覗き込んでいますか。それとも、わたしたちの間には本当に関係がありますか。わたしがあなたの人生の中心ですか。あなたは、わたしにどこにいて欲しいのですか。あなたは、あなた自身に問わなければなりません。

わたしはあなたを待っています。あなたをあなたの神、あなたのつくり主との本格的な関係に迎え入れるために、わたしの腕は大きく広げられています。

重要な決断を下す時が近づいています。あなたはわたしの花嫁のうちの一になることを望みますか。彼女はわたしの何よりも大切なものです。彼女はわたしのことを待ち、わたしのことを見張っています。わたしは彼女にとって、束の間の思いつき以上のものです。わたしは、彼女が合間合間に、あるいは何かが必要なときに求めてくる存在ではありません。彼女とわたしとは結合しています。わたしが動けば彼女も動きます。わたしたちは混じり合い、わたしたちはひとつです。彼女はわたしの意向のうちであり、わたしの狭い道を進んでいきます。わたしたちの道筋は並んでいるのです。

ですから、わたしの子どもたちよ、わたしはあなたにその選択を任せます。わたしは、あなたがわたしを選ぶことを望んでいます。あなたにはまだ自由意志があります。そこでわたしは、あなたがそのためにつくられた完璧な関係と目的の中に入ってくるよう、あなたを招きます。選択はあなたのもので、選ぶのを後回しにはいけません。この申し出は永続するものではありません。

第10章

この世への欲望

そうです、娘よ、始められます。スーザン、これが今日わたしが語りたことです。人の心に湧き上がる罪、それは、この世への欲望の罪のことです。世の道はすべてが邪悪で、よこしまな人間がよこしまな行動を起こしています。この世がなすことは、すべて神から離れています。

この世はわたしの意向のうちにあらず、そのため、それはわたしの心に属しません。この世は、わたしを知っているとしばしば公言しますが、世はわたしとわたしの真理からかけ離れています。世は、そのつくり主であるわたしに一度も相談することなく、その気ままに進みたい方角に全力で走ります。これは邪悪なことです。

わたしの意向から外れて走ることは、よこしまなことです。唯一のよこしまでない意思是、わたしの意向です。わたしの子どもたちよこのことが分かりませんか。この世界が、わたしというものと、わたしが表すものことからあまりにも遠く離れてしまった今、それはどうやって神の方向に進んでいくことができるでしょうか。わたしは神聖さ、心の清らかさ、法と秩序、真理と道徳を表します。この世はわたしのすべての道に立ち向かい、わたしの書が真理として、また、わたしの永遠の道として述べているものには、近づきさえしません。

この世は、機会のあるごとにわたしとわたしの道とを中傷し、わたしに従う者たちを中傷します。わたしの道は、尊重も尊敬もされません。もし、そうされていれば、この世はそれを苦しめる災い、患難、病、悲しみを経験しないはずです。わたしの道は祝福をもたらします。この世の道は多くの呪いをもたらすのです。

わたしのことばとわたしとに本当に寄り添って歩む者たちだけが、最悪の状況にあってさえ、わたしのもたらす平安と静穏を受けます。これが、たじろぐことなくわたしに従うわたしの花嫁です。

彼女はわたしを知っています。彼女はわたしを愛しています。彼女はわたしから遠く離れません。

彼女は、わたしが彼女の命の源であり、彼女の活力、彼女の愛、彼女の力であることを知っています。

彼女は、この慰めを受けるために他にどこに行くことができるでしょうか。彼女は、他の恋人を求めてわたしのそばを離れるほど愚かではありません。わたしは苦しめられ、試みられ、そして彼女に忠実にしてきました。わたしは、彼女のすべてのすべてです。彼女の見るところでは、わたしに取って代われるものは誰もいません。

この世はわたしの愛を知りません。それは、低質な満足で手を打ってしまっています。この世の体制にすべての答えがあると信じて、この世とその道に従う者たちには、なんと悲しいことでしょう。

まもなくこの世は、わたしがわたしの花嫁をその直中から取り去るとき、その最後に残っている光を失うことになります。いったん彼女が消えてしまうと、この世は非常に暗く、荒廃した場所になります。真理と美への誘導灯のようなものは、どこを探してもなく、ただ不快な醜悪さと悪だけが後に続きます。これがまもなく来ようとしている世界なのです。

これが、まさに起ころうとしていることなのです。

テサロニケ人への手紙 第二 (第2章3節～4節) だれにも、どのようにも、だまされないようにしなさい。なぜなら、まず背教が起こり、不法の人、すなわち滅びの子が現れなければ、主の日は来ないからです。彼は、すべて神と呼ばれるもの、また礼拝されるものに反抗し、その上に自分を高く上げ、神の宮の中に座を設け、自分こそ神であると宣言します。

テサロニケ人への手紙 第二 (第2章6節～7節) あなたがたが知っているとおりに、彼がその定められた時に現れるようにと、いま引き止めているものがあるのです。不法の秘密はすでに働いています。

しかし今は引き止める者があって、自分を取り除かれる時まで引き止めているのです。

わたしの法と教えに従って生きない世界は、舵のない船のようです。これは、生命のない死にかけている船、沈みかけている船です。

まもなく、子どもたちよ、あなたがたはかつてなかったような死と破壊を見ることになります。この世界がその神、その創造主から顔を背けることを選んだからです。欺かれてはいけません。

この世は、わたしの真理とわたしの道から離れて存在し続けることはできません。彼女は沈みかけている船です。もうこの船を降りる時です。わたしがわたしの誠実な者たちを呼び出すとき、あなたは来るのですか。あなたはわたしについて来ますか。それとも、この世にはあなたのためのすべての答えがあるという偽りの希望にしがみついて、後に残りますか。異状はない、万事はうまくいっているという、羊の服を着た狼たちの言うことに、あなたはまだ耳を傾けているのですか。わたしを本当には知らず、信心深い様子をしていても、その力を否定するこれらの狼たちに。あなたは、この世をあまりにも楽しむが故に迷わされ、目をくらまされ続けるつもりですか。

テモテへの手紙 第二 (第3章5節) 見えるところは敬虔であっても、その実を否定する者になるからです。こういう人々を避けなさい。

来て、神を味わい、より優れた真理があること、より優れた平安があること、より優れた愛があることを発見しなさい。わたしがそれです！子どもたちよ、わたしを追い求めなさい。わたしをよく知りなさい。わたしは追い求める価値のあるものです。わたしは知る価値があるもの、時間を捧げる価値があるものです。わたしがあなたを生み出したものなのです。わたしと永遠を過ごしたくはありませんか。別の選択肢もあります。それは、わたしから出るこの世の良いものすべてが欠けている場所です。そうです、全てこの世の良いものはわたしから出ているのです。それはすべてわたしが創造した

のです。わたしなしでは、あなたがそんなにも楽しみ、当たり前だと思っている良いもの、神のころから湧き出る良いものを、あなたは何かひとつとして、二度と体験することがなくなるのです。

ですから、このことを真剣に考えてみなさい。あなたが決めるのです。神との永遠か、神なしでの永遠か。あなたが選び、あなたが決めるのです。わたしがわたしの花嫁の救済に来るとき、わたしはあなたを連れて行くことになりますか。これはあなたの選択です。ただし、支払うべき代価があります。あなたは、この世への愛と探求から身を引かなければなりません。この世の道は、わたしの道ではないからです。わたしは、あなたが選ぶ方向については、あなたに決断させます。ごくわずかな者たちだけがわたしの道を選んでいきます。ごくわずかな者たちだけ…

ヨハネの手紙 第一 (第2章15節) 世をも、世にあるものをも、愛してはなりません。もしだれでも世を愛しているなら、その人のうちに御父を愛する愛はありません。

第11章

この世は難局を迎えようとしている

わたしの娘よ、始めましょう。今わたしは、これから起ころうとしている出来事について語りたいと思います。

この世は難局を迎えようとしています。周辺一帯に大きな暗雲が発達してきています。

まもなく、本当にまもなく、この世界は変わることになります。いったん花嫁が取り去られたら、その全てが一夜にして変化します。

この世は、回復の見込みも全くないまま、かつてなかったほどに暗いものになります。まもなく、わたしの子どもたちよ、このことは起こるのです。この現実に対して備えを始めなさい。わたしは真理を誇張する者ではありません。わたしのことばは信頼できます。これらの変化の 때가今、迅速に訪れようとしています。進路はすでに敷かれており、それは止められません。

この世は邪悪になってしまい、どんな人にも、政府にも、勢力にも来たるものを止めることはできません。これは、黙示が展開されているのであり、終わりの日なのです。わたしの子の再臨の 때가到来します。まもなくこの世は、何が夜の盗人のように現れたかを知ることになります。この出来事は決して止めることができません。それは予言されており、わたしのことばがそうなるかと語ったとおりにそれは今、実現しようとしています。

テサロニケ人への手紙（第5章2節）主の日が夜中の盗人のように来るということは、あなたがた自身がよく承知しているからです。

子どもたちよ、あなたがたは準備をしなければなりません。自らを備えなさい。わたしの間近な訪れと、わたしの子の接近に備えなさい。彼は、その愛する者たちを取り戻すために、馬に乗って空をか

けるその天の軍勢と共に来ます。この時は、もうすぐそこまで来ています。

ああ、誠実な者たちよ、立ち上がりなさい。準備しなさい。花婿が彼の花嫁を迎えに来るといふ、歴史上最大の行事のために備えなさい。来なさい。そして備えなさい。皆、整えられなければなりません。来なさい。そして子羊の血潮によって整えられなさい。あなたがた自身を彼の血で覆いなさい。それは手にすることができるのです。彼の偉大な愛に降伏しなさい。彼を、あなたの初めと終わりにしなさい。わたしたち、父と子と聖霊はひとつです。

さあ子どもたちよ、敵は計画を練っています。彼は、人類に対する攻撃を仕掛ける準備をしています。すべての文明が変化を遂げ、完全に破壊されようとしています。わたしは、あなたに不意打ちにあつてほしくはありません。ですが、この大変動はまさに起ころうとしています。あなたがたは自分自身を備えなければなりません。人類は、取り返しのつかない狂気と悪の状態へと墮落していこうとしています。わたしの子が地上に戻るときにやっと、そのすべてが終わりを迎えます。その時にやっと、悪が征服されるのです。

テサロニケ人への手紙 第二 (第2章8節) その時になると、不法の人が現れますが、主は御口の息をもって彼を殺し、来臨の輝きをもって滅ぼしてしまわれます。— まもなく、子どもたちよ、あなたは結論を下さなければなりません。あなたは何を信じますか。何にしがみつきますか。消えていく地にですか、それとも、わたしの意向とわたしの道にですか。わたしは永遠に続く王国を提供しますこの地にあなたのための未来があると信じてはいけません。もうじき、すべてが潰れようとしています。景観が永遠に変わります。欲に駆られて、ありもしない未来にしがみついてはいけません。あなたは時間を無駄にしているのです。

この真理を受け入れ、それを悟りなさい。わたしはあなたに真理を授けています。わたしの書を読み、今繰り広げられていることと照らし合わせなさい。類似点は完全に一貫しています。なぜなら、わ

たしが随分と昔にそうなると言ったとおりに、すべて実現してきているからです。これは偶然ではありません。これは神の力強いことばの実現なのです。

わたしのことばは衰えたりやり損じたりしません。わたしのことばは堅実です。わたしは全能の神、常に存在する真理、確固不動、万能、不変なる王の王、主の主です。わたしのことばは不変です…

ペテロの手紙 第一 (第1章24節～25節) 「人はみな草のようで、その栄えは、みな草の花のようだ。草はしおれ、花は散る。しかし、主のことばは、とこしえに変わることがない。」とあるからです。あなたがたに宣べ伝えられた福音のことばがこれです。

ああ、お前たち眠っている者よ、目を覚ましなさい。今が目覚めの時です。目を見張っていなさい。今がその時です。あなたの目の覆いを取り除きなさい。世にあるものを拒否し、注意していなさい。

真夜中が近づいています。

子どもたちよ、わたしはあなたに懇願します。油断したところを襲われてはいけません。備えていなさい。準備をいなさい。

子の再臨のときが目前に来ています…

第12章

わたしの間近な来臨

始めましょう。さあ娘よ、今日わたしは、わたしの間近な来臨に関し、この世に関わってくる問題を扱いたいと思います。

この世界は爆発的な変化を経験しようとしています。変化はあらゆる面から生じてきます。わたしの花嫁、つまり、わたしのことばの洗いをもってわたしの血で自らをきよめ、自らを備えた者たちが、速やかに取り去られます。また、花嫁が取り去られることによる劇変の後に、突然の破壊と反キリスト体制の台頭が続きます。

エペソ人への手紙（第5章25節～27節）夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会をご自分の前に立たせるためです。

これは突然の一大異変となります。世界史上、この変化よりも大きなものはまたとないでしょう。残された者たちはそれを感じ、連れて行かれた者たちはそれを知ることになります。

この変化の間、この地に破壊がやって来るに連れて、多くの者たちが死ぬこととなります。わたしの怒りが注がれるにつれ、破壊が続いていくのです。これまでに地球が目撃してきたものは、これから来るもののほんの前触れに過ぎません。このために、わたしはこれらのしるしを通して、また、老いも若きも同様に、わたしの多くの僕たちを通して、わたしの警告を流し続けるのです。

わたしの警告は、わたしのことばによっても、わたしが他の者たちを通して与える警告によっても、明白で一貫してきました。わたし

は移り変わることがありません。わたしは永遠に続く真理です。わたしの真理は変わりません。わたしのことばは変わりません。

子どもたちよ、この時が迫るにつれ、地球に来ようとしている差し迫った審判のことを、あなたの周りの人たちに声高に警告する時が来ました。非常に多くの者たちが、わたしの書のことを寓話か優れた作り話だと思っていますが、ひとつひとつのことばは真理でありそれがすべて実現しようとしています。

まもなく、黙示が精密な秩序で展開することになります。あなたはあなたのその目の前で、そのすべてが実現するのを見るでしょう。あなたが時間をとって読み、気がつきさえするなら、もうすでにそうなっているのです。起こっていることはすべて、かなり昔に予言されていました。だから疑いを取り除きなさい。わたしを知らない他の者たちの言うことを聞くのはやめなさい。あなた自身でわたしの書を読みなさい。わたしの聖霊に導きを求めなさい。彼は、いつでも真理を明らかにしてくれ、あなたがこの真理を見るために必要な、目に塗る目薬を与えます。

ヨハネの黙示録（第3章18節）わたしはあなたに忠告する。豊かな者となるために、火で精錬された金をわたしから買いなさい。また、あなたの裸の恥を現さないために着る白い衣を買いなさい。また、目が見えるようになるため、目に塗る目薬を買いなさい。

わたしは、あなたに不意を打たれて欲しくはありません。わたしはあなたが真理に目覚め、備えをして、落ち着いていて欲しいと望んでいます。わたしは、わたしの子どもたちに光のうちにやってきて真理を見て欲しいのです。

真理は手にすることができます。すぐに手にすることができます。今、闇にとどまって、来たるべきことに備えない理由は全くありません。わたしには、あなたを案内し、導くことができます。わたしに任せなさい。わたしはそうしたいと切望しています。

わたしはあなたを抱きしめ、あなたには地球に来ようとしている困難を避けることができる、すべてが失われてはいないと、あなたを安心させたいと切に願っています。子どもたちよ、わたしの誠実な腕の中に入ってきなさい。わたしは、たとえあなたが何をしたとしても、あなたがどこにいたとしても、あなたの面倒をみる構えのある、思いやりのある、愛情深い神です。来なさい。来なさい！今があなたの救いの時です。唯一の真の生ける神と、わたしの完璧な道とを拒否したために手に負えない状況に陥っていつている世界に、巻き込まれてはなりません。

多くの者たちが待ち過ぎて、自分たちの決断を悔やむこととなります。あなたはそんなことにならないようにしなさい。

わたしには、わたしの心をあなたに明かし、あなたと打ち解け、あなたをわたしのもとに連れてきて、親密な時を分かち合う用意ができています。あなたを元気づけ、あなたに困難な状況を切り抜けさせること、これがわたしの切なる願いです。

どうか、人生の最も困難な時に、わたしにあなたと共有させてください。わたしにあなたを慰めさせて欲しいのです。わたしは、あなたとのこの関係を切望しています。ああ、わたしはそれをどんなに熱望していることでしょうか。あなたのつくり主であるわたしを押し除けてはなりません。あなたの近くに、これまであなたの近くにいた誰よりも近くにいてあげるといふ、わたしの申し出を受け入れなさい。他のどの人間関係とも異なる関係、他の誰よりもあなたを一番よく知っているあなたの神との関係、それが、わたしがわたしの子どもたちに与えるものです。わたしはこの親密さを提供します。わたしは、あなたのもとにわたしの心を持ってきます。それはわたしが与えるものであり、わたしはあなたにそれを与えます。欲しいと求めれば、それはあなたのものなのです。それを求める人は非常に少ないのですが、それは手にすることができるのです。

子どもたちよ、わたしはわたしの心を開き、あなたがわたしの臨在に入ってきて、享受し、楽しむようあなたをいざないます。

わたしを、ただのよそよそしい、はるかかなたにいる神として以上に知るようになりなさい。

わたしには近づくことができるのです。わたしは、あなたの最も深いところにある思いや心配を、あなたと共有することができます。わたしには、あなたを慰め、あなたに最悪の時期を切り抜けさせ、あなたの最も困難な時にあなたを励ますことができます。わたしは愛情深い神で、隠し立てせず喜んであなたと親密さを共有し、喜んでこの人生をあなたと共に歩みます。あなたは、二度とこの道を一人で歩く必要はないのです。わたしはいつもあなたのそばにいます。わたしは、慰め、支え、励ますためにいます。わたしたちが共に分かち合うためにと、わたしがずっと意図していた関係の中で、わたしを知るようになりなさい。

このために、あなたはつくられたのです。わたしと親しく交わるために。それがこの人生におけるあなたの目的です。あなたはそうではないと信じているかもしれませんが、わたしはあなたのつくり主であり、わたしがそうであると言っているのです。わたしは、あなたの不調のときも好調のときも、困難な時も喜ばしい時もそこにいて、共に人生を分かちあい、真っ直ぐな道を共に歩みたいと望んでいます。これが、わたしがあなたのために計画しておいた人生であり、あなたの人生のための、わたしの完璧な計画と意向なのです。

詩篇（第139章3節）あなたは私の歩みと私の伏すのを見守り、私の道をことごとく知っておられます。

ですから、わたしのもとに来なさい。あなたの命をわたしに明け渡しなさい。謙遜な従順をもって、それをわたしの前に差し出しなさい。そうすれば、わたしがそれを取り、あなたをきよめ、あなたをわたしの王国にふさわしい者とし、あなたはわたしの花嫁として、わたしの婚宴に参加することができます。あなたは求めさえすればよいのです。そうすれば、わたしはこれをすべてあなたに与えます。わたしは、あなたをわたしの世界に連れて来たいと切望しているのです。

神であるわたしは準備万端で待っています。あなたのつくり主から離れてあなたの人生を生きるのをやめなさい。

第13章

わたしの子どもたちよ、時は速まっている

では始めましょう。子どもたちよ、わたしは、わたしの子どもたちに語りかけているのです。わたしの子どもたちよ、時は速まっています。わたしは白い鳩の翼に乗り、何百万もの御使いたちに両脇を囲まれ、雄々しい馬に乗って迅速にやって来ます。この日が近づいています。あなたはわたしのために備え、待ち、見張り、探し求めていなくてはなりません。

テサロニケ人への手紙 第二 (第3章5節) どうか、主があなたがたの心を導いて、神の愛とキリストの忍耐とを持たせてくださいますように。

わたしは非常に鋭敏で、いつも時間に正確です。わたしのことばは有効です。わたしはわたしが述べるところを行い、そして、わたしはそれを期限どおりに行います。

今の時刻は終わりを迎えようとしています。ですから、大いに期待してわたしを待っている者たちは、気を落としてはなりません。あなたがたは、失望させられることがないからです。

わたしは、わたしのことばを実現する神です。わたしのことばは有効で、揺るぎません。わたしは岩です！わたしに信仰を置く者は、誰も失望させられることがありません。一人もです！わたしは変わらないのです。わたしは昨日も今日も永遠に同じです。わたしはアルファであり、オメガです！子どもたちよ、あなたがたは備えなければなりません。あなたがたは世俗的な心配事を捨て置いて、準備をなさい。

あなたがたはどのように備えたらよいでしょう。わたしは謙遜な従順を望みます。

わたしは、あなたが申し開きをする義務のある聖なる神の前で、あなたが自分の罪を認め、謙遜な、心からの悔い改めをすることを望みます。

わたしな余すところのない完全な明け渡しを望みます。

わたしはあなたに、その全信仰をわたしに置いて欲しいのです。

わたしはあなたに、自らをわたしの聖霊で満たして欲しいのです。来て、油の満ちたともしびを受け取りなさい。

わたしはあなたに、わたしのことばをもって自らを洗い、私の尊い血潮、わたしがあなたの罪の贖いのために与えた血をもって、自らをきよめて欲しいのです。

わたしはあなたに、全ての道において私を探し求め、隠れた所でわたしを知るようになって欲しいのです。

わたしはあなたに、一瞬一瞬わたしにすぎり、日々わたしと共に歩んで欲しいのです。

わたしはあなたに、一日中わたしに祈り、わたしに語りかけて欲しいのです。

これは、あなたの主が語っているのです。子どもたちよ、わたしはあなたに、油断せず、意気揚々と熱心にわたしを待ち受けていて欲しいのです。わたしはあなたに、しるしを見て、時を知り、わたしの書を読んで欲しいのです。

真理について無知であってははいけません。

今は暗闇の時であり、これ以上明るくなることはありません。この世界には、明るさは向かってきていません。ただ、恐怖、全くの恐怖が待ち受けているだけです。

注意して聞きなさい。わたしの真理は常に信頼できるものです。あなたは、いつもそれに頼ることができます。わたしは、この暗闇の

時間が来ると告げてありました。そして、それは今、ここに来ているのです。子どもたちよ、今は悠長に眠っているところを捕らえられる時ではありません。起き上がりなさい。わたしの真理に至りなさい。

わたしと和解しなさい。わたしはあなたのことを待っています。この世から手を放しなさい。あなたがそんなにも一心に信じている世から。あたかも、あなたのための答えの全てがそこにあるかのように、崩れ行く世界に執着してはなりません。この世とわたしとの間で煮え切らない態度をとるのをやめなさい。わたしは、あなたのいい加減な献身を受け取ることはできません。これは決して受け入れられることはありません。あなたは、完全な従順をもってわたしのもとに来なければなりません。でなければ、わたしたちは決して永遠に結ばれることはありません。

これらがわたしの国に入るためのわたしの必要条件なのです。これは、完全にわたしの世界のものとなるために、わたしの花嫁にはいつでも行う用意ができています。彼女は、彼女の何よりも大切なものをわたしに引き渡す用意ができています。わたしは完全な従順を望みます。それ以下ではいけません。

子どもたちよ、わたしはあなたのために、完全かつ謙遜なる死を遂げました。やり残したことは何もありません。未解決のものは何もありません。わたしがすべてを受けました。わたしのすべて、それがわたしが与えたものです。

あなたが受けるべき刑罰を引き受けるというわたしの願いから、わたしは一度も逃げ出しませんでした。わたしはそれを不足なく受けました。一瞬一瞬が極限まで極限まで疲れさせる、ひどく苦しいものでした。わたしは犬どもに対する子羊のようでした。終わったときにはわたしはすべてを出し切っていました。代価は完全に支払われました。

詩篇（第22章16節）犬どもが私を取り囲み、悪者どもの群れが、私を取り巻き、私の手足を引き裂きました。

あなたの刑罰のためにわたしが支払ったこの大きな代価を拒んではなりません。もしも、あなたがこの申し出を拒否するならば、あなたの罪のための赦免をあなたが再び受け取ることはありません。これより他に罪の許しはありません。人々はそれを探すけれども、それは存在しないのです。わたしだけが唯一の代償なのです。それはわたしの流した血、十字架上のわたしの苦しみ、わたしの裂かれた体、わたしの砕かれた心。わたしがあなたの代価、あなたの罰金を支払いました。あなたがわたしの父と、わたしと、わたしの霊との交わりを余すところなく楽しめるように、わたしは自らの意志で、惜しげなくそれを行いました。これがわたしが耐え抜いたことと、その理由なのです。

ヘブル人への手紙 (第 13 章 12 節) ですから、イエスも、ご自分の血によって民を聖なるものとするために、門の外で苦しみを受けられました。

わたしの子どもたちよ、これは貴重な贈り物です。それに値段はつけられません。どのような値も十分ではありません。それを価値のないものとみなしたり、些細なものとしてはなりません。敬意を持ってこの贈り物を取り扱いなさい。あなたの神によってあなたに与えられた贈り物で、これよりも優れたものはありません。

さあ子どもたちよ、わたしはこの贈り物に対する支払いを求めてはいません。あなたには、その価値に少しでも届くことのできるような支払いさえすることができません。それは無償です。惜しみなく与えられ、あなたが受けとりさえすれば得られるものです。そのように謙遜で寛大な神からの、そのような膨大な贈り物を遠ざけたり拒絶したりしてはなりません。

そのような偉大な贈り物を拒絶することは、永遠の刑罰をもたらします。そのような贈り物を拒否することは、永遠の地獄をもたらすことになるのです。わたしの子どもたちよ、分かりますか。ですから、この贈り物を軽々しく扱ってはなりません。それはあなたが救

われるため、地獄の定めから永遠に解放されるための、あなたの神による最も高価な贈り物なのですから、大切にしてください。

ヘブル人への手紙（第10章29節）まして、神の御子を踏みつけ、自分を聖なるものとした契約の血を汚れたものとみなし、恵みの御霊を侮る者は、どんなに思い処罰に値するか、考えてみなさい。これは確かにまれな贈り物です。それを考慮して尊重するものは、この世界にごくわずかしきません。人類への恵みあふれる素晴らしいわたしの贈り物に対する彼らの態度が傲慢であるがゆえに、純金でできたわたしの通りを歩くようになる者たちは、ごくわずかしきません。騙されてはなりません。そのような偉大な贈り物の取り扱いを誤ることは、非常に危険です。ですから、それをしっかりと抱え、大切にし、わたしの贈り物を崇め、それを喜びなさい。なぜなら、それを通して、永遠の救いと、希望と、神の偉大な王国における永遠の命があるからです。

人類へのわたしの贈り物は、わたしだけが支払い得たものであり、他のどんな生き物にも達成し得なかったことを、わたしだけが成し遂げたのです。わたしは、わたしの愛を限りなく、惜しみなく与えます。知られている他のどんな愛よりも大きなわたしの愛を、惜しみなく与えます。

さあ、わたしの食卓でわたしと共に愛をすすり、他に類のない愛を経験しなさい。わたしは惜しみなく与えます。これはまたとない申し出です。受けなさい…遠慮なく受け取りなさい。それは、いつでも手に入るわけではなくなります。

これは注ぎ出されたわたしの愛の捧げ物です。来なさい、誰でも…

主ヤフシュア

力強い王

謙遜な子羊

注ぎ出された捧げ物。

第14章

この世はわたしの敵となった

わたしの子よ、始めましょう。子どもたちよ、わたしは、わたしの敵となってしまった世のことについて取り扱いたいと思います。この世界は、わたしとわたしが表すもののに背いてしまいました。それは下品になって、居住に適さなくなりました。

ヤコブの手紙（第4章4節）貞操のない人たち。世を愛することは神に敵することであることがわからないのですか。世の友となりたかったら、その人は自分を神の敵としているのです。

わたしの子どもたちよ、この世界は罪に満ちています。どこを向いても、神聖さや真理はありません。わたしの教会でさえ、わたしから離れています。わたしを知っていると主張する者たちでさえも離れているのです。彼らはわたしを寄せ付けません。わたしは、わたし自身の指導者たちからにさえ、相談を受けません。彼らはわたしを慕い求めません。彼らはわたしを知らないのです。彼らが誤った教えを説くために、彼らの教会は不正の巣窟になってしまっています。彼らはわたしを知らないし、わたしを知ろうと思いません。わたしは知られない神なのです。

世には、その神のための時間が全くありません。それは、口先だけでわたしに語りかけますが、まことをもってではありません。この世界は、嘘つきと盗人たち、世と世の道とを追い求めても決してその神を求めることのない、ほら吹きや偶像崇拝者たちであふれています。

わたしを知らないのに、知っていると言う者たち、また知っていると思っている者たちにとっては、なんと悲しいことでしょう。わたしは知ることのできる神です。わたしは、わたしを追い求める者たちに隠されてはいません。わたしは、謙遜な従順をもってわたしに近づく者たちに知られていなくはありません。わたしは知られているのです。

わたしに近づきなさい。そうすれば、わたしはあなたに近づきます。

詩篇（第73章28節）しかし私にとっては、神の近くにいることが、しあわせなのです。私は、神なる主を私の避け所とし、あなたのすべてのみわざを語りあげましょう。

子どもたちよ、あなたがどこを向いても、悪が潜んでいます。神であるわたしと親しくなる軌道からあなたを振り落とすために、敵によって準備されていないものは、この世に何もありません。

世界体制は、わたしの子どもたちを脱線させるために、また彼らをわたしから遠ざけておくために設置されています。

もしもわたしの敵があなたを二流の神々や偶像で忙しくさせておくことができれば、あなたは、わたしを慕い求め、わたしの救いと、わたしの聖化と、わたしの自由への真の道を見つけることができません。

これが、あなたが踏み外すのを見るため、あなたにわたしの救助を受け損なわせるため、そしてわたしの王国におけるあなたの場所を失わせるための、敵の計画なのです。この世界体制は、わたしの敵の計画に結びついています。あらゆるものが、利己主義と自己実現とに方向づけられており、神を慕い求め、神を追い、神を見いだすことに向けられてはいません。彼は、あなたにわたしを探しに来て欲しくないのです。彼は、「自己」が最も大切である、「自己」に頼れ、自分自身の将来を計画せよ、自分以外の誰をも信頼するな、と教える体制にあなたが組み込まれることを望んでいます。

子どもたちよ、これはわたしの道ではありません。わたしの道、わたしの意向は、神に従い、神に頼り、神の意向、神の道を求めよと告げるのです。

あなたが、あなた自身の意思と計画を求めるなら、あなたはわたしの意向から外れており、それは罪です。あなたがわたしの意向から外れているなら、あなたは罪の中を生きているのです。

あなたがわたしを追い求めず、あなたのすべてをわたしに明け渡さないならば、あなたには、どうやってあなたの人生のためのわたしの意向を知ることができるでしょう。あなたは、あなた自身の計画あなた自身の道を放棄し、わたしにあなたの人生の指揮をとらせなければなりません。あなたの人生のためのわたしの意向のうちを歩むことによってのみ、あなたは自由と平安、わたしが与える平安を本当に経験することができるのです。

わたしから離れてあなた自身の道に従うことは、破滅につながります。あなたは決して罪から解放されることはできません。わたしの意向は、聖霊の満たしであり、満たされたともしびを持っていることです。これが、わたしの間もなくの来臨に備えるための、救われて救出されるための唯一の道なのです。

子どもたちよ、あなたがたは目を覚まさなければなりません。これは真理です！他に真理はないのです！

マタイの福音書（第25章4節）賢い娘たちは、自分のともしびと
いっしょに、入れ物に油を入れて持っていた。

第15章

指導者たちはわたしに従わない

再び始めましょう。わたしの子どもたちよ、わたしは、わたしのことをあまりにも尊重しないこの世界のことで苦悩しています。

わたしは全く尊重されていません。わたしが、わたし自身の民、わたしの群れを率いる者たちに呼び出されることは、非常に稀にしかありません。彼らは、完全にわたしから離れて、自分たち自身の計画を立てています。わたしは彼らを当てにすることはできません。彼らはその民に真理を告げず、民が聞いたがっているのと彼らが信じることだけを告げています。

わたしの民には、真理を求めていくところがどこにもありません。彼らはわたしのもとに来なければなりません！彼らは、自分たちの教会で惑わされることになるのです。彼らは、わたしの敵によって彼らのために仕掛けられた、分裂を起こさせるような罠にはまり、通常かつ正しそうに見えるものによって惑わされるのです。

彼は、彼らがその指導者たちの言葉を信用できると信じ、また、それとは別にわたしを慕い求めることは必要ないと信じることを望んでいます。真理は、ただわたしのことばの定期的な洗いによってのみ、見つけられるのです。これは訓練を必要とします。わたしの子どもたちよ、あなたがたはわたしの弟子です。弟子には訓練が必要です。もしも、あなたがたがこの世の雑事に捕らわれ過ぎているならば、子どもたちよ、どうしてあなたがたには、わたしの意向のうちにいることを希望することができるのでしょうか。これはありえないことです。わたしは、蔑ろにされたり、否認されたりすることのできる神ではありません。

この世界は、その神を否認することの影響を目にし始めています。神に背を向けることには、その結果が伴います。深刻な結果が。わたしは、わたしに近づいておいてから、わたしよりも世の方がより望ましい選択肢であると信じて世を求める者たちを快く受け入れ

ません。これは決して懸命な行いではありません。それでも、これが世の行っていることなのです。自らに仕え、自らの道を求めることによって、いかなる希望も放棄してるのです。

わたしの間近な来臨の時が来ています。わたしの子どもたちよ、あなたがたはどこにいますか。あなたはわたしと共にいますか、それとも、あなたはわたしから離れて世に逆戻りして行っていますか。この世はあなたに全く希望を与えてはくれません。それは、駄目になっていっている、崩れかけている、失われた世界なのです。それは、もはや神に答えを求めないために、失われているのです。

悪霊どもは今、あらゆる手段によって世を支配しています。あなたが受け取るメッセージを通して、定着している世界体制を通して、惑わされている教会を通して。

わたしのことばだけが、信頼できるものです。それは不変です。わたしのことばに集中しなさい。そのページを丹念に調べなさい。わたしのことばを読むための時間を見つけなさい。それとともに時間を過ぎしなさい。あなたに全ての真理を明らかにしてくれるようにわたしの霊に祈りなさい。あなたが彼に真摯に頼めば、彼はそうしてくれます。彼は、あなたを真理に導きたいと切に願っています。このこと、あなたが真理に導かれて、わたしのことばによってきよめられることが、彼の最大の願いなのです。

コリント人への手紙 第一（第2章13節）この賜物について話すには、人の知恵に教えられたことばを用いず、御霊に教えられたことばを用います。その御霊のことばをもって御霊のことを解くのです。

子どもたちよ、この世界にあなたを欺かせてはいけません。非常に多くの者たちが迷わされているように、敵にあなたを迷わせてはなりません。用心していなさい。わたしの光のうちに生きてきなさい。わたしの聖なる手によってわたしの真理を受けなさい。わたしはあなたに真理を与えたいと、わたしのことばからの教えであなたを育てたいと、切に望んでいます。わたしがあなたをわたしの光の

うちに連れて来ましょう。あなたがこれまでに理解したことがなかったものを、わたしがあなたに示しましょう。わたしには、あなたに分けるものがたくさんあります。わたしは、あなたを暗闇から引き上げたいのです。

今は、真理が知られるべき時であり、骨抜きになった真理や、半端な真理や、偽りの時ではありません。あなたは、あなた自身の救いに関して危ない橋を渡りたくはないはずです。

ですから、わたしのもとに来なさい。真理を求めて叫びなさい。わたしはあなたに真理を、不変の真理を与えます。

子どもたちよ、今です。今がその時です。

わたしはヤフシュア、万物のつくり主です。

第16章

わたしの再臨の時は近づいている

娘よ、始めましょう。わたしの子どもたちよ、わたしの再臨のための時が訪れようとしています。この時は、夜が昼になるのと同様に確実に近づいています。わたしは来ます。そしてこの事を止めることはできません。

あなたはこの事の重要性を考慮しなければなりません。それは、全ての人に影響を及ぼします。生きて呼吸している物であって、何らかの形で影響を受けないものは、地上にひとつもありません。

わたしと共に至福に逃れる者たちと、徹底的な破壊と途方もない喪失に直面する者たちとがいることになります。

あなたがこの事とどう向かい合うかは、あなたの選択です。あなたがこの事象をどのように経験することになるかは、あなたの選択になるのです。わたしがわたしの花嫁を安全な場所に連れ出すとき、あなたはわたしと共に来ますか、それとも、あなたは後に残って、最悪の事態、わたしの注がれた怒りと総出してきたわたしの敵とに直面することを選びますか。さて、これはとても単純な選択のように思われますが、わたしと共に安全な場所に来ることを選んでいる者たちは、少ししかいません。わたしを探し求めていたり、わたしの来臨の時は近いと信じている者たちは、少ししかいません。わたしの子どもたちよ、これは何故だと思いませんか。それは、彼らが罪にやられてしまっているからです。彼らは、この罪に満ちた世界にあまりにも順応し、慣れてしまっており、その道を愛し、あまりにも容易にそれに加わりたがっています。彼らは、わたしのことばを読んで信頼しません。彼らは、わたしの答えを求めてわたしを探し出しません。彼らの頭の中では、世と人々とが占める比重のほうが大きいのです。

子どもたちよ、わたしは、子どものような従順をもって謙遜にわたしに立ち返ろうとしない者たちを救うことはできません。わたしへ

の完全な従順がなくては、わたしがわたしの教会を取り去るときが来たときに、わたしにはあなたを救うことができません。彼女は取られ、あなたは残されます。そして、残されたわたしの子どもたちは、わたしの敵と戦わなければならなくなります。それは大いなる暗闇の時となります。救援が見当たることはありません。

マルコの福音書（第10章15節）まことに、あなたがたに告げます。子どものように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに、入ることはできません。

あなたには、わたしの間近な来臨の前の終わりの日々に、まだわたしに立ち返る機会があります。あなたが自らをわたしに明け渡し、あなたの意志をわたしに従わせるならば、わたしは、あなたを新しい人につくりかえて、あなたをわたしの王国のために備えます。

わたしには、これらの段階を踏む意志のある人々が非常に少なく、一部の人たちだけが、わたしが要求するレベルの親密さで本当にわたしを慕い求めていることが分かっています。わたしにその人生を委ねている人々は、少ししかいません。ほとんどの人たちが、彼らの人生を、この世と、人間の歪んだ考えとに任せています。

子どもたちよ、あなたがたは目を覚まさない限りなりません。わたしだけがあなたがたを助けることができるものなのです。

他に行くところはどこにもありません。なるほど、あなたはこの世に向かうことはできます。しかし、それは今や、希望のない状態にあり、日々、下降の一途を辿っているのです。

あなたは目を覚まさない限りなりません。わたしのもとに来なさい。今、正常そうに見えるものに騙されてはなりません。

見かけは当てになりません。世界は、わたしから離れて継続することはできません。わたしが倫理基準なのです。この世界は、わたし

とわたしの誤りのない道をなくして、妥協的な倫理によって維持されることはできないのです。

わたしの子どもたちよ、ほどなく、すぐにも、このことがすべて起こります。わたしの間もなくの来臨が。わたしはあなたに、迷わされたり、取り残されたりして欲しくありません。わたしはあなたにわたしのもとに来てほしいのです。これはわたしからあなたへの招待です。わたしはあなたに、わたしのそばに来てほしいのです。わたしと共に狭い道を歩みなさい。わたしがあなたを案内しましょう。わたしがあなたを導きましょう... わたしの手を取りなさい。

花嫁になる絶好の機会を逃してはなりません。彼女は美しく、用意ができています。

わたしは、彼女を深く愛しています。彼女は、他の何よりもわたしを愛している、わたしの愛おしい教会です。彼女はわたしの証人です。わたしは彼女の「すべてのすべて」です。わたしは、来たるべき惨状から彼女を守るために来ます。彼女は、わたしの待ち受ける腕の中に連れ去られ、起ころうとしている全てのことを免れることになるのです。

第17章

反キリストについて

始めましょう。子どもたちよ、わたしは今日、新しいことを扱いたいと望んでいます。わたしは、反キリストと、その地上における支配と統治について話したいと望んでいます。

間もなく彼は、支配し統治するために、地に来ようとしています。何もかもが変化することになります。

地には、かつてこのような圧制者がいたことはありません。彼は情けをかけません。彼は破壊することに躍起となります。彼の邪魔をする者は誰でも破滅を経験するでしょう。

それは最も暗く、もの悲しい時となります。

ヨハネの手紙 第一 (第2章22節) 偽り者とは、イエスがキリストであることを否定する者でなくてだれでしょう。御父と御子を否認する者、それが反キリストです。

わたしの名を口にする者たちは、侮辱罪の判決を受けるでしょう。わたしの名は死を意味するようになります。わたしのもののうちの多くは、わたしの名を使うのを恐れて縮こまります。このことは世界中で起こります。それは世界的な恐怖、広範に渡る破壊となるのです。世界は、そのような破壊を一度も経験したことがありません。

ヨハネの黙示録 (第20章4節) また私は、多くの座を見た。彼らはその上にすわった。そしてさばきを行う権威が彼らに与えられた。また私は、イエスのあかしと神のことばとのゆえに首をはねられた人たちのたましいと、獣やその像を拝まず、その額や手に獣の刻印を押されなかった人たちを見た。彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。

反キリストは、世界がわたしの花嫁の携挙に続く破壊の後に残された影響に対する答えや解決策を探しているときに来ます。この事は

まもなく起ころうとしています。世界は、かつて知らなかったような困難を経験することになります。

ヨハネの手紙 第一 (第4章3節) イエスを告白しない霊はどれ一つとして神から出たものではありません。それは反キリストの霊です。あなたがたはそれが来ることを聞いていたのですが、今それが世に来ているのです。

反キリストは、わたしの道のため、わたしの証しのために戦う者を皆、排除しようとしています。反キリストは、民を管理するために、先ず最初にやるべきこととして、獣の刻印をもたらします。

彼の要求に屈して刻印を受けない者たちは、反体制者として排除されます。刻印を受ける者たちは、刻印を拒絶する者たちをあざけり、迫害します。それは最も暗い時刻となります。進んでその刻印を受ける者たちは、永遠に滅びます。それは反キリスト体制の所有なのです。

ヨハネの黙示録 (第14章11節) そして、彼らの苦しみの煙は、永遠にまでも立ち上る。獣とその像とを拝む者、まただれでも獣の名の刻印を受ける者は、昼も夜も休みを得ない。

子どもたちよ、あなたがたは、これらの警告や、速やかにこの地に起ころうとしていることを無視したいという思いについて、はっきりと考えなければなりません。

花嫁、つまり、わたしの真の教会である救われる者たちをわたしが迎えに来る時が近づいています。この時は、反キリスト体制が成立しようとするのに従って、速まり、接近してきています。

反キリストは無慈悲で血に飢えています。彼は何にも彼の邪魔をさせません。彼は、怒りと、権力への強い欲望で満ちています。人々は彼にとって重要ではありません。彼には全く哀れみがありません。彼は、自らが地を支配し統治するのを見ることのためだけに生きるのです。

彼は、彼の軍隊に権力を与えるため、破壊に躍起になります。わたしが地に戻ってきて、それをすっかり終わらせるまで、彼を止めるものは何一つありません。その時に、その時になってやっと、彼は止められるのです。それ以外には、彼を止めることはできません。どんな人間にも、どんな組織にも、彼を止めることはできません。彼は、悪においては揺らぐことはありません。

テサロニケ人への手紙 第二 (第2章8節) その時になると、不法の人が現れますが、主は御口の息をもって彼を殺し、来臨の輝きをもって滅ぼしてしまわれます。 邪悪な時代が起こってきています。秘密裏に、この体制が活動し始めるための計画が練られています。この邪悪なものの台頭のための道筋が、明確にされてきています。

教会が携挙された後に残る人々は、じきに、彼らがそれによって支配されている、破壊と管理から成る反キリスト体制のことを思い知ることになります。

なまぬるく、取り残されたキリスト者たちは、そのとき、彼らの目前で何が起こったかを完全に理解することになるのです。その悔恨の念は甚大なものとなるでしょう。多くの人々が、反キリストの圧迫によって脱落します。反キリストの道は、それに従わないことに比べると、あまりにも容易であるように思われます。それは、本当に厳しい決断の時となります。多くの人々が、心の内で彼らが何をしなければならぬかを知り、勇気と、わたしの国を見たいという願いとによって、彼らがくたさなければならぬ苦渋の決断を最後まで守り通します。彼らの信仰が彼らを支えます。それは、正しい決断として反キリスト体制を拒み、神であるわたしを選ぶ信仰です。多くの人には、この種の信仰と勇気がありません。それは暗闇の時となります。

ヨハネの黙示録 (第19章20節) すると、獣は捕らえられた。また、獣の前でしるしを行い、それによって獣の刻印を受けた人々と獣の像を拝む人々とを感わしたあのにせ預言者も、彼といっしょに捕ら

えられた。そして、このふたりは、硫黄の燃えている火の池に、生きたままで投げこまれた。

まことに子どもたちよ、あなたがたにとっては、速やかに正気になって、救われるために用意する、つまり準備ができるよう備えられる方が良いのです。

この時は迫ってきています。あなたがたは、用意ができていなくてはなりません。待ちながら、見張り、探し、目をそらさず、わたしに備えていなくてはなりません。わたしが唯一の戸です。わたしが出口です。わたしが逃げ道なのです！まもなくわたしはその戸を開けておきます。それからそれは閉まるのです。これは、来たるべきことに対するただ一つの逃げ道となります。このことが起ころうとしています。その時が近づいています。

わたしの教会は用意をする必要があります。

マタイの福音書（第25章10節）そこで、買いに行くと、その間に花婿が来た。用意のできていた娘たちは、彼と一っしょに婚礼の祝宴に行き、戸がしめられた。

反キリストは、ひそかに待機しています。彼は、権力の座につくために準備をしています。彼は、地球の制圧を求めています。彼は手段を選びません。恐怖政治が彼のあだ名です。彼は、恐怖をもって統治し、地上の誰にも彼を止めることはできません。彼の力は、わたしの敵から出てきます。実際にはこれがその恐怖の背後にあるものなのです。

この現実を軽視してはなりません。事実のとおりに見えるものはありません。事態は比較的正常そうに見えますが、見かけは当てになりません。そしてこれは、わたしの敵によって編み出されたのです。彼は、あなたを軌道から振り落としたがっています。彼は、わたしと、わたしのまもなくの救いへと向かう真っ直ぐで狭い道をあなたに歩ませたくないのです。

今は欺瞞が横行しています。あまりにも多くの者たちが騙されて、すべてうまくいっていると思わされています。子どもたちよ、すべてうまくいってはいないのです！万事が上々ではありません！世界は、ばらばらになって飛び散ろうとしています。

子どもたちよ。あなたがたの目を大きく開きなさい。起ころうとしていることを受け入れなさい。

目を覚まして、周りを見回しなさい。わたしのことばを詳しく調べそれから世界で何が起きているかを観察しなさい。

この世界は、その隅々で、その神を一方向的に拒絶しています。わたしは、もはやそれを許容することはできません。わたしは、地の上からわたしの守りの手を取り除き、その望みのもの、つまり、その神であり創造主なるそのつくり主のいない世界を味わわせます。

わたしは理性のある神です。しかし、世がわたしに身を引くことを求めるなら、わたしはその通りにします。そうすれば、あなたがたは、わたしの守りがなければ事態がどのようになるかを知ることができます！わたしは忍耐強い神です。ですが、わたしをそこまで拒絶するこれらの人々へのわたしの忍耐は、尽きてしまいました！子どもたちよ、わたしは嘆願しています... どうか、分別を取り戻してください！服従して、わたしのもとに来なさい。

わたしにあなたの命を渡しなさい。わたしはそれを受け入れます。わたしは、あなたをわたしの尊い血で覆います。わたしは、わたしのことばであなたをきよめます。時が近づいています。わたしがわたしの花嫁に、安全な場所にわたしの後を追ってくるようにと呼びかけるときに、あなたがわたしと共にこちらへ上ってくる事ができるよう、あなたはきよめられなくてはなりません。あなたはまだ来ることができます。ですが、用意をしなさい。速やかに準備しなさい。この時は誰のことをも待ちません。わたしの再臨を止めるものは何もありません。

わたしはヤフシュア、偉大なる王、謙遜な神です。

ヨハネの福音書（第15章3節）あなたがたは、わたしがあなたがたに話したことばによって、もうきよいのです。

第18章

わたしの間近な降臨のための時が近づいている

再開しましょう。今、わたしが新しい話題について話す時がきました。子どもたちよ、わたしの間近な降臨のときの時刻が近づいています。これは速やかに訪れます。多くの者たち、非常に多くの者たちには、用意ができていません。本当に多くの者たちが離れていています。あまりにも多くの者たちには、用意ができていたことがないのです。世界に数々の変化が起ころうとしています。わたしはあなたにこの真理を受け入れてほしいのです。

子どもたちよ、わたしの間もなくの再臨の時が近づいています。大変多くの者たちには用意ができていないことが、わたしには分かっています。多くの者たちは、自分たちには用意ができていますと信じていますが、できていないのです。多くの者たちが、まだこの世と遊び戯れています。わたしの子どもたちよ、これではいけないのです。あなたは、あなたと世とのつながりを断ち切らなければなりません。

彼女は沈みかけている船です。そして、それはあなたを道連れにして行きます。

わたしの子どもたちよ、わたしは、あなたがわたしから離れて、この世のものごとを追いかけるのに費やす時間を高く評価しません。あなたは世を通して答えを求めます。わたしの子どもたちよ、それではいけないのです。

あなたは虚しい希望、虚しい約束、虚しい真理を見ているのです。あなたがこの混沌の穴へ落ち続けるならば、あなたの失うものは大きいのです。それは災いへと続いています。

なぜあなたは、わたしの真理とは別に、世にあなたのための真理がいくらかでもあると、かたくなに信じ続けるのですか。わたしが真理なのです！

ヨハネの手紙 第一（第2章15節）世をも、世にあるものをも、愛してはなりません。もしだれでも世を愛しているなら、その人のうちに御父を愛する愛はありません。

子どもたちよ、よく聞きなさい。あなたがたに与えられた時間は、残り少なくなってきました。あなたには、立ち直るための時間が少ししかありません。今が備える時です。もしも、あなたがわたしと共に来るつもりでいるならば、あなたはわたしの来臨に焦点を合わせなければなりません。わたしの敵は、もうすぐ行動を起こそうと準備しています。

彼の計画は、わたしの来臨によって少ししか変更されません。

わたしの子どもたちよ、あなたがたは目を見張って起ころうとしている事態に備えるべきであることが、あなたがたには分かりませんか。じきに、地球を襲う変化によって影響を受けない人は、一人もいなくなります。あなたはわたしと共に安全な場所に抜け出てくるか、残ってわたしの敵と、来たるべき怒りとに臨むことになるかのどちらかなのです。

わたしの子どもたちよ、この日が近づいてきています。それは近づいていて、誰にもそれを止めることはできません。その時刻が近づくに従って、あなたがたには準備をする必要があります。それは迅速にやって来ています。

わたしを知りなさい。他に道はありません。あなたがわたしを知るための時間をとらないならば、あなたはわたしと共に安全な場所に出ることができません。

あなたは、あなたのすべてをわたしに明け渡さなければなりません。子どもたちよ、わたしはあなたがたのことを待っています。誰が完全なる明け渡しをもって、わたしのもとに来ますか。誰がわたしを知るために、わたしを本当に知るために来ますか。これがわたしが要求することです。

わたしは、あなたのために道をつくりました。わたしが道を用意したのです。わたしがわたしの花嫁を迎えにくるときに、あなたがわたしと一緒に来れるように、わたしは、あなたの自由への贖いのために、大きな代価を支払いました。彼女には用意ができており、わたしは彼女を迎えに来るのです。

わたしが支払った代価は莫大なものでした。わたしがしたことは、他の誰にも成し得ませんでした。わたしのみが、わたしがしたことを成し遂げ得たのです。わたしのみが、そのような大きな代価を支払い得たのです。人類のために砕かれるというレベルにまで来る神が。この代価は計算することができません。そのような行為には、どのような値段もつけることができません。どのような金額をもってしても、その支払われた代価の埋め合わせになることはありません。

イザヤ書 (第52章14節) 多くの者があなたを見て驚いたように、—その顔立ちは、そこなわれて人のようではなく、その姿も人の子らとは違っていた— 子どもたちよ、このような贈り物を拒んではなりません。来なさい。わたしは、それを惜しみなくあなたに与えます。どうか、この申し出についてよく考えてください。それは、あなたがそれを受け取って自由になることを、わたしがわたしの子どもたちを自由へと引き寄せるときに、あなたがわたしと共に自由に出てくることができるようになることを待っています。

それは完全にあなたのものです。あなたは来て明け渡さなければなりません。あなたの何よりも大切なものをわたしに渡しなさい。これがわたしがあなたに求めるものです。あなたがたが、あなたがた自身をわたしのものとしなければ、あなたがたは、まだわたしの敵のものなのです。あなたがたは自分自身のものではありません。あなたがたは、わたしに属しているか、或いは、わたしの敵に属しているかのどちらかなのです。わたしのものになることを選びなさい。わたしはあなたの答えを待っています。

わたしはあなたの主であり救い主なるヤフシュア、偉大なるメシヤ
です。

第19章

準備をしなさい

始めましょう（2012年2月19日）。子どもたちよ、わたしにはことばがたくさんあります。わたしの再臨のための時刻が近づいています。あなたがたは準備をする必要があります。わたしがわたしの美しい花嫁を迎えに来るとき、わたしはあなたをわたしと共に連れて行きたいと望んでいます、あなたに準備ができていなければ、わたしはあなたを連れて行くことはできません。

あなたは、自らを備えなければなりません。あなたに用意ができていることをわたしに示しなさい。わたしはあなたに、わたしのことを注意して待っていることを要求します。全ての視線がじっとわたしに据えられていなければなりません。もしもあなたが見張っていないなら、あなたには用意ができていないはずがありません。見張っている者たちだけが用意ができていくことになるのです。

へブル人への手紙（第9章28節）キリストも、多くの人の罪を負うために一度、ご自身をささげられましたが、二度目は、罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人々の救いのために来られるのです。

中には、用意ができていないためには見張っている必要はないという人たちがいます。これは敵からの嘘です。彼は悪賢く、欺きに満ちています。彼は、わたしの子どもたちを皆、墮落させ、狭い道から迷い出させたがっています。あなたには、いつでも用意ができていなくてはなりません。あなたにはわたしの来る時刻が分からないのですから、あなたは見張って、用意していなければなりません。わたしは夜中の盗人のように来ます。わたしのことばがこのことを告げていませんか。わたしのことばは、このことに関しては、はっきりとしています。多くの者たちが驚かされ、準備ができていなくて不意を打たれるでしょう。彼らが見張って用意をしそこなったからです。

見張って用意をしていなさいというわたしの警告を聞き入れようとしない、この群れのうちの一人になってはいけません。この群れは、自分たちが後に残されて、人間による動乱と地上の災害という、最悪の状況に直面することになったことに気づき、悲しみに包まれ、打ちのめされることになります。

わたしの多くの警告に対して及び腰であったり、鈍感であったりしてはいけません。用意しなさい。目を覚ましなさい。目覚めなさい！

テモテへの手紙 第二 (第4章8節) 今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現れを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです。

わたしの子どもたちよ、あなたがたは、あなたがたの奉仕の働きにさえも、この最も重要なことがらのために備えることの邪魔をさせています。多くの教会と、多くのわたしの指導者たちが残されることとなります。この罠に引っかかってはなりません。気をつけていなさい。準備していなさい。注意していなさい。

あなたの家を強盗に入らせてはいけません。あなたの家が押し入れられるのを、傍観して許してはいけません。用意のできていない見張り人は、盗人が思いがけなく来るときに不意を打たれます。自らを守りなさい。用意をしなさい。あなたは、わたしがわたしの教会をさらいに来る時刻を知らないのですから。

マタイの福音書 (第24章42節~44節) だから、目をさましていなさい。あなたがたは、自分の主がいつ来られるか、知らないからです。しかし、このことは知っておきなさい。家の主人は、どろぼうが夜の何時に来ると知っていたら、目を見張っていたでしょうし、また、おめおめと自分の家に押し入れられはしなかったでしょう。だから、あなたがたも用心していなさい。なぜなら、人の子は、思いがけない時に来るのですから。

わたしの花嫁よ、わたしがいったんわたしの教会を連れに来たら、わたしは再びそのようには戻って来ません。戸は閉められ、誰にもそれを開けることはできなくなります。

ルカの福音書（第13章24節～25節）「努力して狭い門から入りなさい。なぜなら、あなたがたに言いますが、入ろうとしても、入れなくなる人が多いのですから。家の主人が、立ち上がって、戸をしめてしまってからでは、外に立って、『ご主人様。あけてください』と言って、戸をいくらたたいても、もう主人は、『あなたがたがどこの者か、私は知らない』と答えるでしょう。わたしの来るのは確実に迅速です。わたしは、誰のためにも、何のためにも、これを遅らせません。それは来ようとしています。確実に来ようとしています。明日では遅すぎるかもしれません。そのくらい、わたしの来るのは近いのです。あなたは、決断をくだすのを、そしてわたしのまもなくの再臨に備えるのを、先延ばしにしてはいけません。時間をかけすぎると、あなたはわたしを逃してしまいます。

今は、ぶらぶらして世の道に迷い込んでいる時ではありません。

子どもたちよ、わたしについて決断を下すのにぐずぐずしてはいけません。わたしは、わたしのなまぬるい教会が目覚めるのを、いつまでも待ってはいません。

どうか、これらのことばを真剣に検討してください。わたしは、わたしを受け入れることを拒み、わたしを探し求めることを拒む教会のことを待って、いつまでも思いとどまるつもりはありません。それはありえません。

わたしの計画は前進し、わたしは、用意のできているわたしのものたち、熱心に、また期待してわたしを慕い求める者たちを連れて行きます。わたしがわたしと共に連れ出すのは、これらの人々です。他の人たちは皆、残されます。

わたしにはこれらのことばが残酷に聞こえるのが分かっていますが、わたしの警告は明瞭で一貫してきました。なぜ人々は、わたしのこ

とぼと、ああ、わたしのこんなにも多くの警告をわたしが遂行しないだろうと信じているのでしょう。神であるわたしは、絶えず言行一致してきませんでしたか。わたしは変わりません。

ヘブル人への手紙（第13章8節）イエス・キリストは、きのうもきょうも、いつまでも、同じです。

備えなさい。わたしには、わたしの愛するものを引き取る用意ができています。わたしには彼女を連れてくる用意ができています。あなたが彼女のうちの一人になりたいならば、自らを備えなさい。用意をする時は「今」です。

時は経っています。見張って準備をなさい。

これらはわたしのことばです。わたしはわたしのことばに忠実です。

あなたがたの主、ヤフシュア

第20章

もう少しで時間切れになる

始めましょう（2012年2月20日）。わたしはあなたにことばを授ける用意があります。子どもたちよ、わたしです。あなたがたの主です。わたしはあなたがたに新しい指示を与えるために来ました。

この世は急速にふるいにかけています。世が、まもなくわたしの怒りに直面する時が来ようとしています。子どもたちよ、この時は非常に急速に、迅速に来ようとしています。時計の上には時間がほとんど残されていません。世に困難が迫ってきています。まもなく、全てのものがそのことに気づくこととなります。もうまもなく。

ヨハネの黙示録（第14章10節）そのような者は、神の怒りの杯に混ぜ物なしに注がれた神の怒りのぶどう酒を飲む。また、聖なる御使いたちと子羊との前で、火と硫黄とで苦しめられる。子どもたちよ、あなたがたは、起き直って注意しなければなりません。こんなにも重要な警告を軽視してはなりません。油断なく準備を下さい。わたしの来臨は近いのです。ぐずぐずしている時間はほとんどありません。あなたがたは目を覚まさなければなりません。子どもたちよ、わたしはいつまでもあなたがたのことを待っていることはできません。わたしにはできません。

わたしはわたしの花嫁を連れ出して去らなければなりません。彼女には用意ができています。彼女は自らを備えました。わたしの子どもたちよ、わたしはあなたにも用意ができることを望んでいます。謙遜に従順してわたしのもとに来なさい。今がわたしのまもなくの接近の時なのです。

いつまでも待っていてはいけません。あなたには「いつまでも」時間があるわけではありません。あなたはもう少しで時間切れになるのです。

わたしにはこれがあなたにとってショックなこと、あるいは、信じがたいことと思えるのが分かっています。しかし、実際のところ、わたしがわたしの花嫁を取り去る前の時間が、終わりに近づいているのです。彼女には用意ができています。わたしには用意ができており、世は一致してわたしに背を向けてしまっています。

もう少しすると、待機中のわたしの花嫁がそれ以上待つことはなくなります。彼女が後に残って、わたしに敵対する地上の者たちすべての上にもまもなく訪れようとしていることに彼女が遭遇するのをわたしが許すことはありません。彼女は自らを備えており、彼女が安全へと避難する時が近づいています。

ヨハネの黙示録（第19章7節）私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。子羊の婚姻の時に来て、花嫁はその用意ができたのだから。

これは、人類の歴史の中でかつてない未曾有の規模の壮大な出来事となります。

子どもたちよ、わたしと一緒に出てくる用意をなさい。空中でわたしと一緒にになりなさい。わたしは、わたしと一緒にあなたを連れて行くことを望んでいます。わたしは、あなたを來たるべきものから守ります。まもなく、もうじきに、それはすべて近づいてきています。

通常で正しそうに見えることがらに騙されてはいけません。あまりにも多くの者たちが、世にすべての答えがあるかのように、世にすがりつきます。世には、もうすぐ恐怖と悲しみしかなくなります。

これらの警告に当惑してはなりません。それらを真理として受け入れなさい。

わたしの書に立ち返りなさい。一ページずつを熟読しなさい。あなたの前で真理が明らかになるのに任せなさい。わたしの真理が。

わたしを求めなさい。わたしの霊を求めなさい。わたしの霊に真理を明らかにさせなさい。彼をあなたの人生に迎え入れ、彼があなたにわたしのことばに関して新鮮で洞察に満ちた理解を与えてくれるのに任せなさい。人間には、あなたに真理を示すことはできません。わたしの霊にだけ、できるのです。

コリント人への手紙 第一（第2章11節～14節） いったい、人の心のことは、その人のうちにある霊のほかに、だれが知っているでしょう。同じように、神のみこころのことは、神の御霊のほかにだれも知りません。ところで、私たちは、この世の霊を受けたのではなく、神の御霊を受けました。それは、恵みによって神から私たちに賜ったものを、私たちが知るためです。

この賜物について話すには、人の知恵に教えられたことばを用いず、御霊に教えられたことばを用います。その御霊のことばをもって御霊のことを解くのです。

生まれながらの人間は、神の御霊に属することを受け入れません。それらは彼には愚かなことだからです。また、それを悟ることができません。なぜなら、御霊のことは御霊によってわきまえるものだからです。

こどもたちよ、この時が近づいてきています。わたしがあなたの心に働きかけましょう。わたしがあなたをわたしの贖いの血できよめましょう。わたしが十字架の上で完全に支払ったわたしの完璧な血の贖いをもって、わたしがあなたの罪を覆いましょう。あの浅ましい十字架で、わたしはあなたの罪のために血を流して死にました。わたしの子どもたちよ、わたしはあなたがたのためにこれをしたのです。あなたがた皆のために。わたしは全ての人のために血を流しました。この贈り物を受け取るすべての人のために。

ピリピ人への手紙（第2章8節） 自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。

そうです。それは、この世界の呪いのもとでの彼らの過ちから人類を救うための、わたしの愛と心持ちでした。今、この贈り物は、あなたがそれを受け取ってあなたの罪の深さのための完全な許しを受け取ることを選ぶなら、あなたのものなのです。

ただし、あなたがそれを望まなければなりません。あなたは、完全な従順をもって、わたしのもとに来なければなりません。わたしはあなたが世との結びつきと愛着から遠ざかるのを見たいと望んでいます。もしも、あなたがまだこの世を愛しているならば、わたしはあなたをわたしの王国に迎えることはできません。

ですから、あなたには選択肢があります。わたしの道ですか、それとも、あなたはわたしの敵と共に自分勝手な道を行くことを選びますか。妥協点はありません。どちらかひとつです。あなたの意思か或いは、あなたの人生のためのわたしの完璧な意向か。これがあなたが選ばなければならないことです。

あなたがわたしの完璧な意向のうちに入ってくるのなら、あなたは謙遜な従順と、あなたの罪のための心からの悔い改めをもって、わたしのもとに来なければなりません。わたしは、あなたをわたしの血で覆い、あなたの過去の罪を拭い去りましょう。すべての記録は破棄され、あなたの命は新しくされます。

ヘブル人への手紙（第13章12節）ですから、イエスも、ご自分の血によって民を聖なるものとするために、門の外で苦しみを受けられました。

あなたがへりくだって従順し、過去の罪を悔い改めてわたしのもとに来るならば、このことがあなたを待っています。今がこの決断の時です。待ってはいけません。わたしの再臨のためのこの時刻が来ようとしています。誰にもそれを止めることはできません。

あなたには準備をする必要があります。自らを備えなさい。わたしはあなたの答えを待っています。

これはあなたの忍耐強く、愛にあふれる神、ヤフシュアです。

第21章

わたしの心から離れるなら、 あなたはわたしに対立している

わたしの娘よ、始めましょう。子どもたちよ、わたしは、あなたに新しい主題について話したいと思います。

わたしの子どもたちよ、もうまもなく、わたしはわたしの教会を取り去るために来ます。用意ができている者たち、待っている者たち見張っている者たちは、ごく少数です。取り去られるのはごくわずかな者たちです。これは深刻なことです。わたしの子どもたちよ、とても深刻なことです。

わたしの子どもたちのうちで、本当に注意しているのはごく少数です。気にかける人さえ殆どいません。多くの者たちは、わたしの書を読んでおらず、わたしのことばを実行しておらず、わたしが彼らのために定めた掟に従っていません。多くの者たちは、わたしがどう思うかなど全く気にもかけず、彼らのしたいようにしています。

彼らは、完全にわたしの意向から外れており、わたしから離れて自分たち自身の勝手な選択をしています。あなたがわたしの意向から離れて走るなら、あなたはわたしに対立しているのです。子どもたちよ、これは悲しいことです。非常に多くの者たちが、わたしのことばを信じないで、代わりに、この世に従うことを選んでいきます。

子どもたちよ、この世はわたしに敵対するものです。あなたがたはこの世とわたしの両方を選び取ることはできません。

ヤコブの手紙（第4章4節）貞操のない人たち。世を愛することは神に敵することであることがわからないのですか。世の友となりたと思ったら、その人は自分を神の敵としているのです。

この、世の一部になるとはどういう意味でしょうか。それは、あなたがすべての答えを求めて世に頼ることを意味しています。世にす

すべての答えがあると考えて、あなたの将来の保障を求めて世の後を追うことです。答えを求めて人間を当てにすること、将来について本当には何も分からない人間を当てにすること、これは偽りの保障です。神であるわたしだけが、将来に何があるかを知っています。世は、答えを人間や悪魔に求めます。世の体制は、わたしの敵の体制です。彼は、わたしの子どもたちが決して答えをわたしに求めることがないように、彼らが決してわたしを深く親しく知ろうと努めることがないように、あらゆる種類のものによってわたしの子どもたちの気をそらせておきたがるのです。わたしの子どもたちよ、これは危険なことです。

詩篇（第20章7節）ある者はいくさ車を誇り、ある者は馬を誇る。しかし、私たちは、立ち上がり、まっすぐに立った。

彼はあなたに、わたしから遠く離れた、彼があなたを封じ込めてあなたを破壊できる所におらせてがっています。

彼は、あなたを誘い出すためにあらゆる種類の方法を用います。彼は、あなたの奉仕の働き、あなたの家族、お金や富の追求、娯楽そしてあなたが思いつくかぎりのあらゆる邪魔を用います。これはあなたの注意をわたしからそらせ、他のあらゆるものに集中させておくための彼の戦略なのです。

これらは、あなたを滅ぼすための彼の計画であり、彼は殆どの人々で成功しています。残された者だけが、本当にわたしにぴったりと付き従い、わたしを追い求め、わたしの後を追ってきます。これがわたしの真の教会です。この人たちがわたしの真の弟子、わたしに従うために自らの命を差し出す者たちです。

あなたは、なぜ、かたくなに世を追い求めるのですか。わたしが唯一の真の完璧な光であるのに。わたしは永遠に続くいのちです。わたしはあなたに命を与え、わたしはあなたを支えます。あなたの命を守るのはわたしです。命を与え、命を取るのはわたしです。他の誰でもありません。

ヨブ記（第12章10節）すべての生き物のいのちと、すべての人間の息とは、その御手のうちにある。

なぜ、あなたはかたくなにわたしを無視して、他の愛人を、虚しい愛人を追い求めるのですか。あなたは墓穴を掘っているのです。そこから出てくることのできない穴を。

わたしのもとに来なさい。悔い改めて、あなたの全人生をわたしに明け渡しなさい。ただわたしだけが、すべての答えを握っています。わたしだけが、あなたのために状況を正すことができます。わたしだけが、あなたの未来への鍵を握っているのです。わたしを親密に知るようになりなさい。熱心にわたしを追い求めなさい。そうすれば、わたしはあなたに王国への鍵を与えましょう。この世界には、あなたのために何もありません。ただ困難と落胆があるだけ、そしてまもなく、死と破滅がこの地に来ようとしています。

生命のない、死にかけている世界に期待をかけるのはやめなさい。それが死んでいるのは、それがこの世界のどの政府によっても、もはやわたしを主また師として認めないからです。

世界の指導者たちは皆、議論の余地のない主として、また創造主としてのわたしではない、他の信念を追い求めます。これは忌まわしいことであり、わたしはこのことを軽くは受け止めません。

世は、わたしの前に恐れおののきません。そのため、わたしはまもなく、わたしが誰であるかについて彼らを再教育しなければなりません。わたしは真の信者から成るわたしの少数の残された者たちを安全へと連れ出します。すると世は、わたしが侮れない神であり、軽視できない存在であることを、明確に理解します。その時すぐにわたしはわたしの守りの手を取り除き、わたしの敵が、彼とその悪魔の軍勢が、総勢で地の上で働いていくこととなります。それは、地に住むものたちにとって暗闇の時となるのです。

詩篇（第111章10節）主を恐れることは、知恵の初め。これを行う人はみな、良い明察を得る。主の誉れは永遠に堅く立つ。

これらの真理をあなたに分からせるために、わたしには何ができるでしょうか。それはみな、わたしの書に書かれています。しかし、真理を知りたいと願うものは、ごくわずかしきありません。彼らは、知識と知恵を捜し求めて地のあちらこちらを走り回りますが、決して真理に至ることがありません。

ダニエル書（第12章4節）ダニエルよ。あなたは終わりの時まで、このことばを秘めておき、この書を封じておけ。多くの者は知識を増そうと探し回ろう。

それは、人類にとっては、世を追いかけても自分たち自身の創造主を知りたいとも願わない人たちにとっては、悲しい時間です。今は人類にとって悲しい時です。そして、神であるわたしを軽視することがもたらす結果は明らかです。犯罪、病、死、経済破綻、戦争、戦争のうわさといった悪がはびこるのです。これが、人間が彼らの神から離れて歩き、世を追い求めるときに、自らの上にもたらす問題なのです。

子どもたちよ、わたしのもとに戻って来なさい。まだ遅くはありません。わたしはあなたを引き取ります。わたしはあなたのことを待っています。わたしの腕の中に走ってきなさい。来て、わたしに従いなさい。わたしたちは、まだ永遠に一緒になることができます。わたしには、あなたをわたしのものとすることができます。あなたはわたしの王国に入り、そこでわたしと永遠に続く命を楽しむことができます。

そうです。子どもたちよ、あなたには、あなたのつくり主であるわたしを追い求めるか、或いは、わたしから離れて世を追い求めることができます。これはあなたが選ぶことです。わたしは、世から離れて、そのただひとつの愛するものとしてわたしを選ぶ者たちのために、まもなくやって来ます。わたしか、この世かを選びなさい。なぜなら、わたしはまもなく、わたしのもの、この世に反して彼らの神であるわたしを選ぶ者たちを救済に来なければならないからです。あなたはどうしますか。わたしは忍耐強く待っていますが、長

くは待ちません。まもなく、わたしには、花嫁を安全へと取り除く他に選択の余地がなくなります。

これはあなたの主、世界の大創造主、ヤフシュアです。

第22章

悪が世を破壊しに来ようとしている

始めましょう。子どもたちよ、これはあなたの父が語っています。わたしには今日、さらに与えることばがあります。

大きな暴風雨前線が世界を襲おうとしています。それは、「悪の源」と呼ばれています。それは、世界と、世界に居住するものたちとを破壊するために来ようとしています。

それは、わたしがわたしの花嫁を安全な場所へ取り去った後でやって来ます。彼女がまず抜け出します。彼女が来たるべき惨状を目撃することはありません。地のいたる所に来ようとしている疫病が、人々の気を狂わせます。言語に絶する惨禍が彼らを襲います。それはまったくの恐怖の時間となります。

人間は、惨めになり、恐怖に陥ります。誰一人として信頼できなくなります。何というおぞましい時が待っていることでしょう。

反キリストが華々しく登場します。彼が完全に姿を現し、彼の勢力は、世界的統治の性質を持つものとなります。誰にも彼を止めることはできません。彼の勢力や支配力、および、その血への渴望に比べると、過去にいた圧政的指導者たちは見劣りします。彼が地にもたらす恐怖には、並ぶものはありません。誰も隠れることはできないのです。

彼の圧政的支配からは、救済も逃げ道也没有ありません。

彼の統治と支配の期間中には、たった一つしか逃げ道がありませんそれは死であり、死ぬことです。これは人の歴史にとって暗闇の時となります。

ヨハネの黙示録（第18章4節～5節）それから、私は、天からのもう一つの声がこう言うのを聞いた。「わが民よ。この女から離れなさい。その罪にあずからないため、また、その災害を受けないため

です。なぜなら、彼女の罪は積み重なって天にまで届き、神は彼女の不正を覚えておられるからです。

子どもたちよ、この真理に目覚めなさい。わたしの書を読みなさい。来たるべきことの描写を読みなさい。不意をつかれてはいけません。自らに救済をもたらしなさい。わたしの待ち受けている腕の中に入れてきなさい。わたしには、あなたを救う用意がいつでもできています。わたしには、あなたを受け入れ、あなたを祝福し、永遠に続く愛と美のあるわたしの素晴らしい王国にあなたを連れてくる用意があります。わたしは、あなたをわたしの婚宴に連れてきます。そこでわたしたちはひとつになり、未来永劫にわたしたちの愛を分かち合うのです。

あなたには未来を恐れる必要はありません。あなたは明日何が起こるかを心配しなくてよいのです。あなたは、ただわたしに委ねさえすればよいのです。わたしに完全に献身しなさい。あなたのすべてをわたしに捧げなさい。あなたの人生、あなたの魂、あなたの心、あなたの将来の計画を。わたしを完全に主とし、師としなさい。わたしはあなたを安全へと導き出します。

来ようとしている者たちはごくわずかしきません。わたしがわたしの子どもたちを安全な場所に連れ出して、彼らをわたしの天国にまで運ぶときに、わたしの大救出作戦に加わることを望む者たちはごくわずかしきません。

あなたは新しい栄光の体を受けます。それは光、わたしの天の光であふれる体です。それは輝いて、永遠で、変わる事のない、栄光あるものです。わたしの子どもたちよ、わたしの花嫁は見る目に美しく愛らしいのです。

そうです。わたしの教会のこの変容が、まさに起ころうとしています。彼女はもう再び今まで通りには見えなくなります。彼女は目を見張るほどになります。この変容は瞬く間に起こります。一瞬にしてわたしの教会は変えられ、彼女の花婿のために用意ができ、究極

のきよらかさと神聖さをもって、わたしの臨在のために備えられます。それは目を見張る情景です。

コリント人への手紙 第一（第15章51節～54節）聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな、眠ることになるのではなく変えられるのです。終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。朽ちるものは、必ず朽ちないものを着なければならず、死ぬものは、必ず不死を着なければならぬからです。しかし、朽ちるものが朽ちないものを着、死ぬものが不死を着るとき、「死は勝利にのまれた」としてされる、みことばが実現します。

彼女は、その着物すべてにおいて美しくされます。わたしはわたしの花嫁を知っています。わたしは、彼女がわたしのことを注意して待ち、わたしを待ち受けることを知っています。彼女の信仰は弱まることなく、一貫しています。わたしが死んだのは、彼女のためです。わたしの贈り物を、救いのための人類へのわたしの無償の贈り物を受けるのは、彼女です。実際にこの贈り物を望み、これを追い求める者たちは、ごくわずかしきありません。子どもたちよ、このことはわたしを悲しませます。わたしは全ての人を救うために、血を流して、実に酷い死に方をしました。この救いを望んでいる者たちはごくわずかしきありません。この救いを受けて、完全にわたしに献身する者たちはごくわずかしきありません。

来なさい、わたしの子どもたちよ。残されて失われる者たちの一人になってはいけません。目を覚ましなさい。

両腕を大きく広げて、わたしを求めなさい。わたしの、待ち構えている腕の中に走ってきなさい。

今の時刻が速やかに流れています。あなたは、悪と大患難の時代の始まりを目にしようとしています。すぐに目を覚ましなさい。あなたのともしびの油を満たしなさい。もしそれが満たされていなければ、あなたは来ることができないのです。

マタイの福音書（第25章4節）賢い娘たちは、自分のともしびと
いっしょに、入れ物に油を入れて持っていた。

来て、わたしの聖霊を十二分に受けなさい。彼は、あなたをわたし
との完全な関係に至らせてくれます。そうすれば、わたしはあなた
をわたしの血で洗い、あなたの衣のしみをきよめ、あなたをわたし
の王国に備えます。これは、あなたがしみやしわの全くない、わたし
の美しい花嫁になることができるためです。

エペソ人への手紙（第5章25節～27節）夫たちよ。キリストが教
会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがた
も、自分の妻を愛しなさい。キリストがそうされたのは、みことば
により、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするため
であり、ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、
聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるた
めです。

わたしは、あなたをこの場所に、この、自由と永遠に続く命の場所
に連れて来たいと望んでいます。ただ、完全に服従して、わたしのも
とに来なさい。そうすれば、わたしはあなたを備え始めることが
できます。時は経過していつています。

あなたは選びなさい。あなたは居残りますか。それとも、自由と安
全へと抜け出しますか。さあ子どもたちよ、決めなさい。わたしは
あなたに用意ができていて欲しい、本当に用意ができていて欲しい
と望んでいます。

わたしの愛があなたを待っています。あなたの王、ヤフシュア。

第23章

時計がまさに真夜中を打とうとしている

再開しましょう。子どもたちよ、これはあなたがたの主が語っています。わたしには伝えることばが多くあります。

わたしの子どもたちよ、遅い時刻になりました。非常に遅くなっています。時間が残り少なくなっています。時計はまさに真夜中を打とうとしています。時計には、あと2分残っています。

これは、あなたには準備をする時間が少ししか残っていないことを意味します。わたしは、本当にあなたの心を備えるということ、自らを備えるということを行っているのです。わたしの来臨が迫ってきている時刻なのです。続いて起こる圧政と怒りから、わたしの花嫁を引き抜くためのわたしの来臨が、彼女が来たるべき最悪の事態に巻き込まれることはありません。わたしは、彼女を前途にある暗闇の時刻から救出します。彼女が、来たるべきものの影響を受けることはありません。

わたしの花嫁は美しく、彼女の王であり王家の花婿であるわたしのために用意ができています。

わたしの目は、彼女だけに向けられています。彼女の美しさは、わたしを驚かせます。彼女は、その輝きでわたしを魅了します。彼女は、用意のできた者たち、その花婿を迎える用意ができた者たちなのです。

雅歌（第4章9節）私の妹、花嫁よ。あなたは私の心を奪った。あなたのただ一度のまなざしと、あなたの首飾りのただ一つの宝石で、私の心を奪ってしまった。

彼らは用意をし、自分たち自身を備えました。彼らはわたしの血で洗われています。

彼らは、わたしのことばをもって、きよめられています。彼らは、期待を込めてわたしを待っています。彼らは毎日わたしを捜し求めています。彼らは、わたしに注目して釘付けになっています。わたしたちは互いに親しい関係を共有します。わたしたちはお互いを知っています。わたしの民は、わたしの前に彼らの命を差し出し、世に対する彼らの欲望に背を向けました。彼らは、ただわたしだけに売り渡されています。彼らはわたしの顔とわたしの声を慕い求めます。彼らはわたしの声を知っています。わたしが語ると、彼らは従います。彼らはわたしを追いかけるのです。

ヨハネの福音書（第15章19節）もしあなたがたがこの世のものであったなら、世は自分のものを愛したでしょう。しかし、あなたがたは世のものではなく、かえってわたしが世からあなたがたを選び出したのです。それで世はあなたがたを憎むのです。

彼らはわたしの目には高価です。わたしが彼らを導き、彼らは従います。彼らの人生は、世にわたしの光を映します。彼らは、この世迷い、衰退していく世界に映し出すわたしの姿なのです。

まもなく、この美しい光が世から取り除かれ、唯一残されるものは暗闇だけとなります。暗い影が近づいてきて占領するのです。暗闇が地を飲み尽くします。地の隅々まで。それは確かに暗い一日となるのです。

あなたがその時間にここにいる必要はありません。あなたは完全に服従して、わたしの後に従うことができます。わたしがわたしの教会を、わたしの愛しい教会を迎えにくる時、わたしはあなたをわたし自身のもとに連れてきて、あなたを守り、あなたを安全な場所に連れ出します。彼女には用意ができており、わたしは、彼女をこの先にある暗闇の時間から守るのです。

子どもたちよ、もう少しでわたしが臨む時が来ます。もう時間がほとんど残されていません。あなたは準備をしなければなりません。それでもまだ少しだけ時間が残っています。取るに足りないこの世

のものごとを追いかけて、今この時を無駄にはしてはいけません。準備をする時間をとりなさい。

あなたの心を尽くしてわたしを求めなさい。あなたのすべての罪を悔い改めなさい。わたしはあなたが罪深い心を真に悔い改めるのを聞きたいのです。人の心は、その人を欺きます。ただわたしだけに人の心の内の働きを見ることができるのです。わたしには、すべての罪が視界から隠されてしまい込まれている心の部屋の内側を見ることができるのです。

エレミヤ書（第17章9節）人の心は何よりも陰険で、それは直らない。だれが、それを知ることができよう。わたしにあなたの心をきよめさせなさい。洗いきよめさせなさい。わたしにあなたの魂をきよめさせなさい。あなたがわたしの前に立つために、わたしにあなたを整えさせなさい。わたしの子どもたちよ、わたしだけがこれを行うことができるのです。ただわたしだけにできるのです。

唯一わたしだけに、わたしの血で買った、あなたの罪のための贖いを以って、あなたを完成に導く力があるのです。わたしはこれをあなたに与えたいと、あなたを白くしてあなたを洗いきよめたいと切望しています。

使徒の働き（第22章16節）さあ、なぜためらっているのですか。立ちなさい。その御名を呼んでバプテスマを受け、自分の罪を洗い流しなさい。

子どもたちよ、わたしの子どもたちよ。わたしはあなたが謙遜に悔い改め、心から悔い改めてわたしのもとに来るのを待っています。わたしの光に向かって歩きなさい。わたしの救いを、わたしの血で買われた救いを受け取りなさい。わたしにあなたをきよめさせ、あなたを備えさせなさい。ただわたしだけが、あなたにこれを行うことができるのです。あなたの命をわたしの足元に差し出さなさい。それをすっかりわたしに委ねなさい。恐れてはなりません。世は崩壊していています。世には、あなたのために何の答えもありません。

ん。何の真理も。それは信頼できないのです。わたしだけが岩なのです。わたしだけが、あなたの命を任せられるものなのです。

あなたの命をわたしに完全に渡しなさい。これが何を意味するかが分からなくても、わたしにそれをすべて委ねなさい。

それをわたしに引き渡しなさい。そうすれば、わたしがあなたからそれを取り、あなたの面倒をみます。わたしは、あなたをわたしの掛け替えのないものとし、あなたをわたしの愛とわたしの霊とわたしの平安で満たしましょう。あなたは、悪が来るのを恐れることはありません。なぜなら、わたしの平安はあなたのすべての理解を超えているからです。わたしはあなたが理解することのできない平安をもたらします。それは超自然的な平安です。それは神、聖なる神の前に義とされることです。これは、あなたにとって永遠に価値があるものです。わたしには、ここにあなたを連れて来ることができるのです。この動かぬ平安に。

今が、わたしに対するあなたの信仰を宣言する時、わたしを選ぶ時です。もしも、あなたがわたしを選ばないとすれば、あなたはわたしの敵を選んでいるのです。選択肢は二つしかありません。二つだけです。あなたは、わたしに味方しているか、わたしに反対しているかのどちらかです。三つ目の立場はありません。騙されてはいけません。もしも、あなたがどっちつかずでいるなら、あなたはわたしのものではありません。わたしは完全な献身を求めます。

へりくだって完全な悔い改めをもってわたしの前に来なさい。そうすればわたしは、東が西から遠く離れているように、あなたの罪を取り除きます。わたしはもう二度とそれらを思い出しません。わたしは、あなたをわたしにあって欠けたもののないものにします。わたしたちは親密な関係を共有し、あなたはあなたの神を知るので、真にわたしを知るので。わたしは、わたしたちの間にこの「知ること」を熱望しています。

詩篇（第103章12節）東が西から遠く離れているように、私たちのそむきの罪を私たちから遠く離される。

ですから、来なさい。来てわたしを知りなさい。わたしは本当に知る価値のあるものです。わたしは、あなたを平安と理解の場所に連れてきます。わたしの霊があなたを導き、あなたの目を真理に、命を救う真理へと開かせます。彼は、あなたの生きている時刻をあなたに示します。あなたはかつてなかったように、真理にさらされるでしょう。そしてあなたは救われ、わたしの王国での地位を確信できるのです。

これがわたしがあなたのもとに持ってきたいと切望しているものです。

来て、あなたの神を知りなさい。手を取り合って歩きましょう。わたしがあなたを連れ出します。時は経過していっています。その時刻は目前に来ています。わたしを選びなさい。

わたしは、あなたの主であり救い主、メシア、謙遜な王ヤフシュアです。

第24章

互いに争うのはやめなさい

始めましょう。わたしの子どもたちよ、わたしにはあなたがたのために新しいことばがあります。

すべてのことは見かけ通りではありません。あなたがたがずっと知っていたように、事態は大詰めを迎えようとしています。わたしの子どもたちよ、暗くなってきています。すべてが暗くなってきています。あなたが知っている生活は、劇的に変わろうとしています。まもなく、引き返すことができなくなり、報復の機会もなくなります。

これはわたしの警告です。わたしが嚴重な警告を与えているのに、それらを心に留めている者たちは非常に少なく、注意をしている者たち、聞いている者たちさえ、ごくわずかしきません。

わたしの子どもたちは、なぜ聞いていないのでしょうか。彼らは、わたしの世界、わたしの考え、わたしの警告にではなく、彼ら自身の世界に捕らわれています。わたしの子どもたちよ、これは深刻なことです。わたしは、わたしのために警告を発しているのではなくあなたのためにそうしているのです。わたしは、何が起ころうとしているかを知っています。わたしはあなたにも知ってほしいのです。

マタイの福音書（第6章24節）だれも、ふたりの主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛したり、一方を重んじて他方を軽んじたりするからです。あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはできません。

子どもたちよ、わたしは、あなたに暗闇の中にとどまっていた欲しくはありません。わたしは、あなたに真理に目覚めて欲しいのです。わたしはあなたに、これから起ころうとすることの現実に気づいて欲しいのです。目を覚ましてください！ 悪を嗅ぎなさい。それは、あなたがまさに感じるができるところにあるのです。全てがよ

こしまになってしまいました。誰も神聖さを大切にしていません。誰もが道を外してしまっています。

イザヤ書（第53章6節）私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分勝手な道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。

わたしの愛しい花嫁だけが信仰を守ります。彼女だけが、わたしに関心を持っています。彼女だけが、愛を込めてわたしを捜し、わたしを絶えず追求めます。これがわたしの花嫁、わたしの教会、わたしの真の教会です。

子どもたちよ、互いに言い争うのをやめなさい。あなたがたは互いに破壊しあっています。わたしのことばのことで言い争うのはやめなさい。今は、あなたの仲間の兄弟姉妹に向かって怒るときではありません。敵が入り込み、あなたを騙してしまっています。彼は、あなたを彼のレベルに引き摺り下ろしたがついています。どうか互いの間で取るに足らない口論をするのはやめて、互いを愛し合いなさい。

ヨハネの福音書（第13章34節）あなたがたに新しい戒めを与えましょう。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

あなたがたの互いに対する罪を悔い改めなさい。互いに、呪いではなく祝福をもたらしなさい。今は、争っている時ではありません。争いを捨ててわたしのもとに来なさい。

わたしは、あなたがたに互いにうまくやる方法を教えます。わたしの子どもたちは、彼らが互いに争うために脱落してしまいました。

これが道ではありません。これはわたしの道ではありません。子どもたちよ、顔をわたしに向け、悔い改めなさい。それから、互いのところに行き、償いをしなさい。互いに許し合いなさい。時は経過

しています。あなたがたの間にあるこれらの問題に、あなたをわたしの永遠の救いから引き離させてはいけません。

わたしはわたしの子どもたちを助けたいと望んでいますが、わたしには、互いの間で争うわたしの子どもたちを救うことはできません。これはありえないのです。あなたが互いに許そうとしないなら、あなたは、あなたがわたしとの親密な関係を持つことを妨げているのです。

マタイの福音書（第6章14節）もし人の罪を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたを赦してくださいます。ですから、赦しなさい。互いの仕打ちや罪を一切記録に残すことなく、完全に赦しなさい。子どもたちよ、これがわたしの道、聖なる神の道です。互いに対する不満を捨て、悔い改めをもってわたしのもとに来なさい。

マタイの福音書（第6章15節）しかし、人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの罪をお赦しになりません。

わたしは、あなたをこの罪から解放したいと望んでいます。あなたの永遠の救いを失うほどに価値のある罪は、この地上には何一つありません。ぜひ、これを覚えていなさい。子どもたちよ、わたしの愛は大きいけれど、わたしには、罪を見過ごすことはできません。ですから、今日、悔い改めて互いに赦し合いなさい。走って行ってこれをしなさい。何もやり残してはいけません。あなたの天の父であるわたしがあなたを赦すことができるように、すべてを赦しなさい。これは非常に単純なことです。それでも、許しと過去の傷を手放すことの重要性を把握する人たちは、ほんの少ししかいません。

わたしにあなたの過去の痛みの手当てをさせなさい。あなたの悲しみをわたしの肩に乗せ、わたしが癒しをもたらすのに任せなさい。わたしだけが、これを行うことができます。わたしのもとに来て、わたしにこれらの重荷を負わせなさい。わたしはそれをします。わたしは喜んでそうします。

わたしにあなたの人生を立て直させ、あなたの痛みを癒させなさい。あなたの痛みをわたしに持ってきなさい。あなたを傷つけた人たちを赦し、あなたの痛みからの解放をわたしに求めなさい。わたしは喜んであなたを心の完成と完全性にまで至らせましょう。これらがわたしの約束です。

わたしのことばを読みなさい。わたしは回復の神です。わたしがあなたを完全性と喜びへと回復させましょう。回復させ、完全にするのは、他の何ものでもなく、わたしです。わたしがあなたに真の愛を見せましょう。わたしだけが真の愛を提供するのです。

ヨエル書（第2章25節） いなご、ばった、食い荒らすいなご、かみつくいなご、わたしがあなたがたの間に送った大軍勢が、食い尽くした年々を、わたしはあなたがたに償おう。

そうです。わたしの再臨のための、この時刻が近づいています。わたしがあなたをきよめ、わたしにある新しい命へとあなたを回復させましょう。わたしの来臨のために、わたしがあなたを備えましょう。わたしには用意があり、意欲があります。わたしがあなたの希望、唯一の希望なのです。

わたしのもとに来なさい。今がその時です。長く待ちすぎではいけません。わたしだけが誉れあるものです。誉れあるのは、子羊です。わたしの腕の中に走って来なさい。速やかに。

これはあなたの主、ヤフシュアです。

第25章

あなたに悔い改めていない罪があるなら わたしはあなたを連れて行かない

始めましょう。わたしには、あなたにさらにことばを授ける用意があります。子どもたちよ、わたしの間近な来臨のための時が近づいています。それは予定通りに訪れます。

多くの者たちが、わたしはずっと来ないと思っています。多くの者たちが、わたしは何年も来ないだろうと考えています。わたしの子どもたちよ、わたしはもうすぐ来ます。わたしの接近は近いのです。戸口にまでも来ています。多くの者たちが不意をつかれることとなります。わたしが来る時、多くの者は眠っています。霊的に眠っているのです。

テサロニケ人への手紙 第一 (第5章6節) ですから、ほかの人々のように眠っていないで、目をさまして、慎み深くしていきましょう。

まもなく、この時が訪れようとしています。見張って待っている者たちだけが、用意ができてることになります。

注意をしていない者たちは皆、残されて、来たるべきものに直面することになります。その時刻は間近に來ています。

子どもたちよ、あなたには準備をする必要があります。不意をつかれてはいけません。わたしは誰も後に残したくはありませんが、悲しいことに、多くの者たちが残されるでしょう。なんと悲しい時が訪れようとしていることか。わたしはあなたに目覚めて欲しいのです。この現実を受け入れなさい。わたしは近づいており、わたしは戸口にまで来えています。じきに、何が起こったかについての現実が定着するので、もはや誰も驚かされなくなります。世界は、変化が訪れたことを知るようになります。大きな変化が。そこは、もうすぐ、今までとは違った場所になるのです。

わたしの子どもたちよ、わたしの言うことをよく聞きなさい。もしもあなたに悔い改めていない罪があるなら、わたしはあなたを連れて行きません。

わたしには、あなたをわたしと一緒に連れていくことができません。わたしの子どもたちよ、それはありえないのです。ですから、わたしの前に来てあなたの罪を悔い改めなさい。ぜひこのことを優先させなさい。

ルカの福音書（第13章5節） そうではない。わたしはあなたがたに言います。あなたがたも悔い改めないなら、みな同じように滅びます。

さあ、わたしとの関係を回復しなさい。わたしは、あなたをわたしの王国に連れてくることを強く願っています。わたしは、来たるべきことからあなたを救出したいのです。もしも、あなたがわたしのものでないならば、わたしにはあなたを受け入れることができません。もしも、あなたがわたしの前に来て、わたしにあなたの命を渡していないなら、あなたはわたしのものではありません。子どもたちよ、これは大変重要なことです。あなたがたは、あなたがたの命をわたしに託す必要があります。何も隠すことなく、それをわたしの足元に差し出しなさい。

今が、謙遜に悔い改めてわたしの前に来る時です。あなたの心配や不安を、わたしに持ってきなさい。わたしはあなたの命が欲しいのです。わたしは、その欠点や問題も全て含めたあなたの命を、愛と喜びと完成の命に換えます。

まもなく、じきに、わたしは来ます。あなたがたは準備をした方がよいのです。この時が迫ってきています。

わたしが、あなたをわたしの完成にまで至らせ、あなたを回復して完全にしましょう。わたしの愛は、あなたの罪の全てを覆うことができるのです。わたしのもとに来なさい。わたしは腕を開いて待つ

ています。あなたを抱き、あなたを愛することを切望している腕を開いて。

ルカの福音書（第5章31節）そこで、イエスは答えて言われた。

「医者が必要とするのは丈夫な者ではなく、病人です。

ぐずぐずしてはいけません。今は重要な時です。わたしがわたしの花嫁を取り除くのに、遅くなることはありません。

わたしには、彼女を家に、わたしが彼女のために準備した住まいに連れて行く用意ができています。ここが彼女が保護されるために行くところです。

ですから、わたしの子どもたちよ、自らを備えなさい。わたしの来臨は、もう、すぐそこまで来ているから。わたしは、あなたのことを愛し、大切に思う父として、あなたに語りかけています。わたしはあなたを救いたいと、もうすぐ狂ってしまう世界からあなたを助け出したいと望んでいます。わたしが安全への戸をあなたに示しましょう。それは間もなく開きます。しかしその後、それは閉じますですから準備しなさい。わたしには、あなたを受ける用意ができていますから。

これは天のあなたの主、神、ヤフシュアです。

第26章

わたしに注目していなさい

ルカの福音書（第13章24節～25節）「努力して狭い門から入りなさい。なぜなら、あなたがたに言いますが、入ろうとしても、入れなくなる人が多いのですから。家の主人が、立ち上がって、戸をしめてしまってからでは、外に立って、『ご主人さま。あけてください』と言って、戸をいくらたたいても、もう主人は、『あなたがたがどこの者か、私は知らない』と答えるでしょう。再開しましょう。子どもたちよ、これはあなたがたの主が語っているのです。

わたしはあなたに、わたしに注目して、わたしから目をそらさないでいて欲しいのです。今は、あちらこちらに走り回り、世に心を注いでいる時ではありません。今は、識別し、集中する時です。今は注意をして、わたしとわたしのまもなくの再臨とに目を見張っている時です。それは一日ごとに近づいています。

わたしの警告を軽視してはいけません。これらの警告は四方八方から来ています。わたしは多数の方角からメッセージを送っています。それらは、災害を通して、戦争や戦争のうわさを通して、わたしの預言者たちや使者たちを通して、空のしるしや不思議を通して、幼子たちの口を通して来ています。もしも、あなたが後に残されるなら、あなたには口実がありません。もしも、あなたが最悪の事態に直面することになれば、あなたには自分自身以外に責める者がいないのです。

わたしの書は、あなたが生きている時代について、またこの地に起ころうとしていることについて、明らかにしてきました。子どもたちよ、あなたがたはこれらの真理に目覚めなければなりません。わたしがあなたに判断の基にするものも警告も全く与えていないと思いで込んで、手ぶらで立ってはいけません。わたしはあなたにわたしの書を与えました。しかし、あなたがわたしのことばと警告を

拒否して無視するなら、わたしにはあなたを助けることはできません。

わたしは、わたしの与えたメッセージの中で、何度となく、はっきりとさせてきました。もしも、あなたがこれらのメッセージを受け取ることを拒否するならば、あなたはわたしの前に弁解なく立つこととなります。わたしは、あなたに注意して聞くようにと嘆願し、甘言でつり、要請することはできますが、この決断を下すにあたって、わたしがあなたに強要することは絶対にありません。

その選択は厳密にあなたのものなのです。

ペテロの手紙 第二 (第3章3節～4節) まず第一に、次のことを知っておきなさい。終わりの日に、あざける者どもがやって来てあざけり、自分たちの欲望に従って生活し、次のように言うでしょう。「キリストの来臨の約束はどこにあるのか。父祖たちが眠った時からこのかた、何事も創造の初めからのままではないか。」

正しい選択をする者たち、あるいは、そもそも選択をする者たちさえ、ごくわずかしきありません。選ばないことは、やはりわたしの敵を選ぶことなのです。悲しいことに、多くの者が選ぶとせず、まだ彼の力と支配のもとにとどまっています。このことは、わたしを深く悲しませます。わたしは、わたしの子どもたちが自由を、わたしの敵と彼らの支配からの真の自由を経験することができるように、カルバリーの丘で大きな代価を支払ったのですから。わたしの子どもたちが、この命あるいは次の命において、希望と永遠に続く愛を持たないで不必要に苦しむ必要はないのです。

マタイの福音書 (第24章37節～39節) 人の子が来るのは、ちょうど、ノアの日のようだからです。洪水前の日々は、ノアが箱舟に入るその日まで、人々は、飲んだり、食べたり、めとったり、とついたりしていました。そして、洪水が来てすべての物をさらってしまうまで、彼らはわからなかったのです。人の子が来るのも、そのとおりです。

ですから、子どもたちよ、目を覚ましなさい！わたしの提供する、ああ、こんなにも貴重なこの贈り物を受け取り、わたしにあなたの自由を買い取らせなさい。わたしにはそれをすることができます。わたしにはその意志があります。それを与えるのはわたしで、わたしはそれを惜しみなくあなたに与えます。わたしは喜んであなたを完全、平安、慎みへと至らせます。あなたがわたしに立ち返り、完全に服し、わたしの足もとにあなたの命を差し出すなら、これらすべてはあなたのものなのです。わたしをあなたの主とし、あなたの師としなさい。わたしが、あなたをわたしの霊で満たし、わたしがあなたの罪の記録を消し去ることができるように、わたしの血潮であなたを覆いましょう。

ルカの福音書（第17章16節） イエスの足もとにひれ伏して感謝した。彼はサマリヤ人であった。

わたしが、あなたに歩むべき道を示し、あなたを敵の道から解放しましょう。

わたしのもとに来て、わたしの火できよめられて精錬され、わたしのことばの水で洗われた心を受けなさい。これは、手に取りさえすればあなたのものなのです。

ヨハネの福音書（第15章3節） あなたがたは、わたしがあなたがたに話したことばによって、もうきよいのです。

あなたのすべての計画に背を向け、あなたの人生をわたしに捧げなさい。あなたの計画全てさえも。あなたの人生をわたしに捧げなさい。わたしがあなたの人生と計画を、あなたの人生のためのわたしの完全な計画と意向とに置き換えましょう。わたしがあなたをつくったときに、わたしがあなたのために意図した、あなたの人生のための計画です。わたしの意向のうちを歩みなさい。あなた自身の意志で歩くことによって、これ以上罪を犯してはなりません。わたしの意向の内に入ってきて、わたしの前に完全なものとなりなさい。これが、あなたの人生のためのわたしの願いです。

わたしはあなたの創造主です。わたしは、あなたにとって何が最善かを知っています。来て、この素晴らしい贈り物、あなたの創造主との平安を受け取りなさい。

子どもたちよ、時は速まっています。この決断を進める際に、多くの時間を無駄にしてはなりません。時間は最も重要です。わたしはあなたに最悪の事態に遭遇して欲しくはありません。わたしを慕い求めなさい。そうすれば、わたしはあなたにこの真理を示し、あなたの目を開きます。わたしは、うろこを剥がしてあなたを自由にしわたしとともに安全へと帰郷するために、あなたを備えます。

使徒の働き（第9章17節～18節）そこでアナニヤは出かけて行って、その家に入り、サウロの上に手を置いてこう言った。「兄弟サウロ。あなたの来る途中、あなたに現れた主イエスが、私を遣わされました。あなたが再び見えるようになり、聖霊に満たされるためです。」するとただちに、サウロの目からうろこのような物が落ちて、目が見えるようになった。彼は立ち上がって、バプテスマを受け、

わたしはあなたに目覚めて欲しいのです。あなたがわたしの待ち受けている腕の中に入ってくること、これがわたしの願いです。

ためらってはいけません。躊躇することは危険であることもあるしあなたの永遠の救いがかかっているかもしれないのです。

これらのことばは、あなたの気遣う父、愛情あふれるヤフシュアから出ています。

第27章

もしもわたしと共に出て来たいならば、

あなたは用意されなければならない

始めましょう。子どもたちよ、わたしはあなたの主であり、わたしにはあなたのためにことばがあります。

時が終わりに近づいています。まもなく、わたしはわたしの花嫁を安全な保護の場所へと連れ出すために、彼女を迎えに来ようとしています。彼女は勝利と栄光のうちに地から抜け出します。彼女はわたしの勝利者です。わたしは彼女を私自身のもとに連れて来、空中でわたしと会うために、彼女を高く上げます。

この事象は「携挙」と呼ばれていますが、あなたがそれを何と呼ぶにせよ、この事象はまもなく起ころうとしています。わたしは全くコントロールを失って狂いを生じかけている世界、神から離れて生きている世界の鎖から、わたしの花嫁を引き離します。

コリント人への手紙 第一 (第15章51節~52節) 聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな、眠ることになるのではなく変えられるのです。終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものよみがえり、私たちは変えられるのです。

わたしは統制の神です。そして今や世は、わたしの偉大な守りの手で覆われていない生き方を経験することになります。このことは、もうじき起こります。

多くの者たちが、後に残された者としてこの事象を目撃することになるでしょう。地から取り出される者として目撃する人たちの方が数少ないでしょう。わたしはあなたに救い出される者たちの一人になってほしいと望んでいます。あなたがわたしと共に出て来たいならば、あなたは用意されなければなりません。わたしの血で自ら

を白く洗い、わたしのまもなくの再臨を熱心に見張っている者たちだけが、わたしがわたしの花嫁をこちらに呼び出すときに、わたしと共に来るのです。少数の者たちだけが来ることになります。わたしの子どもたちよ、これは深刻です。他の者たちは皆、後に残ることになります。

ヨハネの手紙 第一（第1章7節）しかし、もし神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。

残される者たちには、何という悲しみが待っていることでしょう。彼らのうちの一人になってはいけません。あなたがそうなる必要はないのです。わたしは、あなたのために道を作っています。わたしは通り道を開きました。わたしが道を作ったのは、わたしの血を以ってしてです。あなたの道は、わたしを通して開通しています。他に道はありません。

他の誰もあなたを救いません。他に答えは何もありません。ただこのことだけです。わたしに立ち返りなさい。わたしに服しなさい。ためらってはいけません。速やかにこれをしなさい。わたしの来臨は近いのですから。わたしを知るための時間を作りなさい。わたしには用意があり、あなたを待っています。わたしの愛があなたのことを待っています。

謙遜に悔い改めて、わたしのもとに来なさい。わたしは、わたしの血の覆いとわたしのことば、わたしのことばの洗いによって、あなたを備えます。

エペソ人への手紙（第5章25節～27節）夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。

わたしのもとに来なさい。少しも時間を無駄にしてはいけません。
今が神に対して真剣になる時なのです。

あまり待ちすぎてはいけません。

わたしはあなたの主 神 ヤフシュアです。

第28章

あなたの永遠がかかっている

再開しましょう。子どもたちよ、近くあるわたしの再臨のための時が切迫しています。それは近づいています。

用意するためにすることがたくさんあります。わたしには、あなたにさせることがたくさんあります。わたしは、あなたが完全に従順し、全面的に服して、あなたの命をわたしに委ねることを要求します。子どもたちよ、わたしはそれをことごとく望んでいます。中途半端な献身は少しも献身ではありません。このことを真剣に考えてください。あなたの永遠がかかっているのです。この完全な明け渡しがなくしては、たとえあなたが何と言い、どう考えたとしても、あなたは本当にわたしのものではありません。ただ完全に服することによってのみ、あなたは本当にわたしのものとなります。

子どもたちよ、わたしはあなたにわたしに集中してほしい、皆の目がわたしに向いていて欲しいと望んでいます。わたしは出口を知っています。わたしは避難路への道順を知っています。わたしだけが知っているのです。来たるべきことからのあなたの救済、救助の鍵を握っているのは、わたしです。

もしも、あなたが右や左に顔を向けるなら、あなたは気をとられてしまいます。そうならないでください。時間が少なくなっています。わたしの子どもたちよ、あなたがたは目を覚まさないでください。正気に戻りなさい。油断しないでください！

マタイの福音書（第7章14節）いのちに至る門は小さく、その道は狭く、それを見いだす者はまれです。

わたしがわたしの花嫁を取り戻す時が、わたしと一緒に彼女を家に連れてくる時が、彼女がその花婿であるわたしと永遠に住まうことになるその新しい家に彼女を案内する時が、来ようとしています。

わたしは、彼女をわたしの腕の中にかきいれ、彼女を抱きしめ、彼女にわたしの愛を注ぎ、彼女を寵愛し、彼女にわたしの愛を見せたいと切望しています。まもなくこのことは起こります。わたしには用意があり、わたしの花嫁は自らを備えました。彼女は忍耐強く待つのです。

わたしの花嫁は、この世界の光です。彼女は、暗く醜い世にあつて明るく輝きます。彼女は最後に残っている光です。彼女の光は強く私の光を映します。この光は真理です。永遠に続くわたしの真理です。他のものはすべて敵からの嘘です。彼は、彼の嘘と、一部だけが真実な言葉を用いて、世を惑わしてきました。世は騙されており人々は真理を見ることができません。

エレミヤ書（第17章5節～6節）主はこう仰せられる。「人間に信頼し、肉を自分の腕とし、心が主から離れる者はのろわれよ。そのような者は荒地のむろの木のように、しあわせが訪れても会うことはなく、荒野の溶岩地帯、住む者のない塩地に住む。

わたしの子どもたちが目を覚まし、真理と向き合うときが来ています。これまでの世は終わろうとしています。新しい時代が明けようとしています。反キリストと、続いて起こる激しい変化をともなう時代です。誰も安全ではなくなります。わたしがわたしに本当に従う者たちを安全へと引き出すときに、わたしがわたしと共に連れ帰る者たちだけが安全です。これらの者たちだけが、起ころうとしていることから、わたしの敵が権力を握り、支配し統治することを許されてから世が直面することになることから免れます。なんと暗い日が待ち受けていることでしょう。

ヨハネの黙示録（第17章16節～17節）あなたが見た十本の角と、あの獣とは、その淫婦を憎み、彼女を荒廃させ、裸にし、その肉を食い、彼女を火で焼き尽くすようになります。それは、神が、みことばの成就するときまで、神のみこころを行う思いを彼らの心に起こさせ、彼らが心をつにして、その支配者を獣に与えるようにされたからです。

これは、人類にとってひどく暗い時となります。深い暗闇と困難が訪れようとしています。

訪れようとしているこの時刻は、急速に來ています。まもなく、何事も現状のままではなくなります。

わたしは、あなたが子どもたちにわたしと一緒に地から昇る用意をしていて欲しいのです。わたしは、あなたにわたしと共に來て欲しいのです。あなたがあなたの目の覆いを取り除き、謙遜に悔い改め、確実に服してわたしのもとに來るならば、あなたは地に到來しとしていることの全てを避けることができるのです。

わたしは、あなたをわたしの腕にかき入れ、あなたをこの先にある全ての苦惱から救うことを切望しています。あなたを來たる困難の時から救うことが、わたしの最大の願いなのです。

わたしは、あなたをこの真理に至らせるために、多くのことばとするしを發しています。注意して聞いている者たちは殆どいません。あまりにも多くの者たちが、まだ、この遊女の世とその惡のすべてと結婚しています。そうです、子どもたちよ、あなたが世とその道に固執する限り、あなたはわたしに対して姦淫を犯しているのであり、わたしはあなたをわたしの王国に入れることはできません。ですから、わたしの子どもたちよ、離れなさい。世とそれが表すすべてのものに背を向けなさい。それは下劣で不道徳、神に敵対しており、わたしは、これ以上この世を我慢することができません。

エゼキエル書 (第16章35節~36節) それゆえ、遊女よ、主のことばを聞け。神である主はこう仰せられる。あなたは、愛人たちや、忌みきらうべき偶像と姦淫をして、自分の恥ずかしい所を見せ、自分の裸をあらわにし、それらに自分の子をささげて血を流したため、時は経過していつています。通常で正しそうに見えるものに騙されてはいけません。

わたしは、あなたをわたしの王国に永遠に連れてきます。わたしに完全に服しなさい。わたしをあなたの主とし、また師としなさい。

この決断をする時は今です。遅らせてはいけません！これはあなたの主また師であるヤフシュアです。

ルカの福音書（第21章31節～32節）そのように、これらのことが起こるのを見たら、神の国は近いと知りなさい。まことに、あなたがたに告げます。すべてのことが起こってしまうまでは、この時代は過ぎ去りません。

第29章

今は歩かないでわたしのもとに走って来なければならない

そう、娘よ、始めましょう。わたしの子どもたちよ、これはあなたがたの主が語っています。

わたしは、わたしがすぐに来ようとしていることをあなたに知ってもらいたいのです。その時はまさに戸口にまで来ています。

まもなく、わたしはわたしの花嫁を迎えに来るために進み出します。彼女は愛おしく、彼女の美しさは輝いています。

わたしは、大いなる望みをもって彼女を見つめ、彼女を彼女の美しい天に、わたしが彼女のために用意した家にわたしと共に連れ帰りたいと切望しています。わたしの子どもたちよ、この時刻が近づいています。あなたは準備をしなくてはなりません。あなたは急いで準備する必要があります。

暗い一日が迫っています。まもなく、わたしはわたしの花嫁を運び去ります。わたしは彼女を安全へと連れ出します。このことは寸前に迫っています。私の再臨は、ほぼ戸口にまで来ています。ですから、子どもたちよ、わたしの待ち受ける腕の中に入ってください。早急に。

あなたは今、わたしのもとに走らなければなりません。歩いてきてはいけません。子どもたちよ、自己満足してはいけません。わたしの警告は本当ですから、これを蔑視してはいけません。わたしの子どもたちよ、わたしは、あなたがたをこの場所に連れて来ます。わたしはあなたに、目を覚まし、正気づき、真理を直視して欲しいのです。もう少しでこの時刻が戸口にまで来ます。

子どもたちよ、わたしの言うことを聞きなさい。わたしは、あなたに目覚めて欲しいのです。地に困難が訪れようとしています。それ

は機関車のようにやって来ます。それは猛スピードで突っ走ります。何もものにもそれを止めることはできません。

男も、女も、子どもも、来たるものを止めることはできません。

わたしの警告を軽視する者たちには、厳しい報いがあります。わたしは、数多くの警告を、数多くの方法で発してきました。それは本当に多くの警告を。あなたが、全く知らなかったと言っても、あなたには口実がないのです。

わたしがわたしの書の中で明らかにしてきたように、誰もが自分自身の罪に対して責任があるのです。わたしの子どもたちが読もうとすれば、それはすべてわたしの書に詳しく説明してあります。わたしの書を読むには時間がかかります。わたしの書のために時間を見つけるためには、あなたが世と、世を追求するためにしている何かを諦めなければなりません。けれども、あなたはその世俗的探求を捨てて、わたしのことばのために時間を作ろうとはしません。

ローマ人への手紙 (第 14 章 12 節) こういうわけですから、私たちは、おのおの自分のことを神の御前に申し開きすることになります。

あなたはむしろ世と戯れたいのです。しかし、わたしの子どもたちよ、輝くもののすべてが金であるとは限らないのです。

世はまったく輝いて新しそうに見えますが、それは混じりけのない毒であって、死を与えるだけです。

世を捨てて、あなたの神に顔を向けなさい。わたしは追い求めるに値しないものですか。

ヨハネの福音書 (第 12 章 25 節) 自分のいのちを愛する者はそれを失い、この世でそのいのちを憎む者はそれを保って永遠のいのちに至るのです。

そうです。わたしはあなたのためにおぞましい木の十字架の上で悲痛な死に方をしました。それは耐え難いものでした。そうです。わ

わたしは、わたしの敵である彼らの父の意志に従った邪悪で不道徳で忌まわしい人間たちから、何時間も苦しめられた後で、わたしのいのちをわたしの父に委ねました。これが、わたしがあなたとあなたの命のために支払った代価でした。わたしは、あなたの時間とあなたの愛とあなたの注目に値しないものですか。

詩篇（第22章12節～18節）数多い雄牛が、私を取り囲み、バシヤンの強いものが、私を囲みました。彼らは私に向かって、その口を開きました。引き裂き、ほえたける獅子のように。私は、水のように注ぎ出され、私の骨々はみな、はずれました。私の心は、ろうのようになり、私の内で溶けました。私の力は、土器のかけらのように、かわききり、私の舌は、上あごにくっついていました。あなたは私を死のちりの上に置かれます。犬どもが私を取り囲み、悪者どもの群れが、私を取り巻き、私の手足を引き裂きました。私は、私の骨を、みな数えることができます。彼らは私をながめ、私を見ています。彼らは私の着物を互いに分け合い、私の一つの着物を、くじ引きにします。

わたしのもとに来なさい。わたしはあなたに、わたしのもとに来るように頼みます。わたしがあなたをわたしの腕の中にかき入れ、わたしのものであるあなたを抱きしめ、抱擁しましょう。わたしは、あなたを愛するあなたの父です。わたしの愛よりも大きな愛はありません。わたしのあなたへの愛情よりも高い愛情はありません。あなたの愛をわたしに拒んではなりません。謙遜に悔い改めて、わたしのもとに来なさい。わたしがあなたをきよめ、あなたをわたしの前に義としましょう。わたしがあなたの心を喜びと嬉しきで満たしましょう。わたしにはそうすることができます。わたしにはその意志があります。

今がその時です。待ったり、ためらったりしてはいけません。これがわたしの再臨の日です。わたしは、あなたを連れ出すために来ようとしています。わたしがあなたをわたしの霊で満たしましょう。わたしがあなたを回復させましょう。あなたをわたしにあって完全にしましょう。子どもたちよ、時は経過していています。まもな

く残り時間は全くなくなります。ですから、あなたが永久に、永遠にわたしにあって回復し、完全であるようにとわたしがあなたの贖いのために流した血と、わたしの慈愛深い救いというこのすばらしい贈り物を軽視してはなりません。

マタイの福音書（第25章46節） こうして、この人たちは永遠の刑罰に入り、正しい人たちは永遠のいのちに入ります。

わたしは、あなたを親しく知りたいと願っています。わたしたちにはこの親密さを得ることができるのです。それは受け取りさえすれば、あなたのものなのです。わたしに求めなさい。そうすれば、わたしはそれをあなたに与えます。わたしは、あなたと親密さを分かち合い、親しい関係を持つことを願っています。深くまた個人的に常にあなたの近くにいることが、わたしの望みです。

あなたがこのようにしてわたしのもとに来るならば、わたしもまたあなたのもとに来ましょう。わたしがあなたにこの親密さを要求することは、わたしのことばがはっきりと述べています。わたしはあなたに、わたしたちがお互いの親交を分かち合える静かな場所で、わたしを慕い求めて欲しいのです。

わたしの子どもたちよ、その場所でわたしは、わたしがあなたがたに人生をどう全うして欲しいかについての指示を与えることができます。あなたが親密にわたしのもとに来れば、そこからわたしたちはお互いを知り始めることができ、わたしは、わたしがあなたに人生をどのように送って欲しいのか、わたしの計画をあなたの前に明らかにすることができるのです。

けれどもまず、あなたがわたしの意向のうちにおらねばならず、わたしの意向のうちにいるためには、あなたはあなたの命をわたしに委ねなければなりません。あなたの一番大切なものをわたしに捧げなさい。あなたの命をわたしに引き渡し、何一つ差し控えることなく、あなたの命を完全にわたしのものとしなさい。わたしはそれを完全な降伏のうちに望みます。これは、他の一切のものと世とを捨てることを意味します。わたしはあなたに、世への関与に背を向け

わたしが導くところどこへでも、喜んでわたしに従ってきて欲しいのです。

これは、ほとんどの人々がしたがることではありません。非常に多くの者たちが、彼らが手放すことを拒否する何がしかにしがみついたりします。わたしの子どもたちよ、あなたがたはわたしたちの間に何を置いていますか。あなたの仕事、あなたの富ですか。あなたの奉仕ですか。あなたの子どもですか。あなたはわたしたちの間に何を置いているのですか。わたし以上にあなたをかき立てるものは何ですか。

マタイの福音書（第10章37節～39節）わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。また、わたしよりも息子や娘を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしにふさわしい者ではありません。自分のいのちを自分のものとした者はそれを失い、わたしのために自分のいのちを失った者は、それを自分のものとしませう。

子どもたちよ、あなたがたがわたしを最優先しないならば、あなたは、それが何であれ、わたしよりももっとあなたをかき立てるものも、わたしをも失うことになります。わたしの子どもたちよ、これらはゆゆしいことばですが、言わなければならないことです。わたしはあなたに、それを聞いて、あなたがわたしにあってどこにいるのかを考えて欲しいのです。わたしは首位にいますか、それともあなたの人生において下位の段にいますか。わたしの子どもたちよ、あなたがたは、わたしにおけるあなたがたの位置を評価する必要があります。あなたの心の中で、わたしはどんな位置を占めていますか。子どもたちよ、わたしの近くに立ちなさい。わたしはあなたを寵愛したいと願っています。わたしのまもなくの再臨のための時刻が来ようとしています。わたしはあなたに、後に残されて最悪の事態に直面して欲しくはありません。来て、わたしを見出しなさい。わたしは、いつも近くにいる、あなたがわたしを追い求めてくるの

を待っています。 わたしの愛は素晴らしいのです！わたしの愛を
永遠に楽しむことを逃してはなりません。

これはあなたの王家の花婿、ヤフシュアです。

第30章

わたしの花嫁はあらゆる面で美しい

そう、娘よ、再開しましょう。わたしの子どもたちよ、これはわたしです。あなたがたの主です。わたしは、あなたがたの父であるわたしの父の名において挨拶します。

子どもたちよ、わたしが花嫁を取り戻すための降臨のための時刻が早まっています。彼女はあらゆる面で美しく、わたしは、彼女をわたしのものと呼ぶのを嬉しく思います。彼女はわたしの愛する者です。

わたしは、もうすぐ彼女をわたしの待ち受ける腕の中に抱きいれます。彼女は永遠にわたしと共にいることになります。

わたしたち、つまり彼女とわたしとは、流れ星のようになります。わたしたちの愛は決して終わりを知ることがありません。終わりのない、永遠の愛です。わたしが彼女にもたらす平安は永遠に続きます。彼女はわたしの愛しい花嫁です。彼女は従順で、わたしの道を愛します。彼女はわたしの愛しい人であり、わたしに従います。彼女はわたしの狭い道を歩みます。彼女はわたしを期待して待ちます。彼女の性質は美しいのです。

彼女は、世にとって最後に残った光です。彼女は世にわたしのあり方を示します。世は、彼女のうちにわたしを見ます。彼女は世にわたしのかたちを映します。彼女のあり方は謙遜で、子どものような信仰を反映しています。これらが天にいる者たちの資質です。

わたしが彼女を地から引き抜く時刻が迫っています。わたしは、彼女をわたし自身のもとに連れて来ます。わたしは彼女を安全に仕舞い込むのです。まもなく彼女は、わたしが彼女を来たることから遠ざけておく安全な場所へ、わたしと共に来ることになります。この時刻が近づいています。疑ってはなりません。

マタイの福音書（第18章3節）言われた。「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたも悔い改めて子どもたちのようにならない限り、決して天の御国には、入れません。

わたしの花嫁に用意ができてるように、わたしはあなたに準備をして用意をされていて欲しいのです。彼女は、わたしの血で自らを洗い、自らを備えました。彼女は自らをきよめ、しみも、しわもありません。彼女には、わたしの天に来て、わたしと心を通い合わせてわたしの臨在を楽しむ用意ができています。

エペソ人への手紙（第5章25節～27節）夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。

わたしには、彼女が天界に来るための、こちらに昇ってくるための用意ができています。これは神秘、大いなる神秘です。彼女は変えられて完璧になるのですから。彼女は栄光の新しい体にあって、わたしのかたちに似たものとされるのです。

彼女の体は変えられるのです。欠陥がなく、不滅で、永遠の光、わたしの光となります。彼女は天で輝きます。彼女は輝かしく、光り輝きます。わたしたちが同じ性質を共有するからです。この体は決して死ぬことはありませんし、死を知ることもありません。それは若さの無限の泉です。この体には全く限界がありません。わたしの子どもたちは、その新しい体を楽しみます。彼らは決して痛みを味わうことはありません。これらの体は、必要とされる状況に応じて変化します。彼らは楽々と天全体を移動します。

これらの体は飛ぶか、あるいは歩きます。それらは人間の体がすることを全て行い、その上、はるかに多くのことも行います。それらは光の体です。これらの体は、人間の体のように妨げられることは決してありません。これらの体にできないことは何もありません。人間の体のような限界は全くありません。わたしの子どもたちは、ちょうど彼らが今するように、食べて食物を楽しみます。これらの新しい栄光の体にまつわるすべてのことが、それらを受け取る者たちをびっくりさせ、驚嘆させることでしょう。すべてが一息に、一瞬にして変化するのです。

わたしの子どもたちは一瞬にして変化します。それは彼らにとって急速に起こります。彼らはびっくり仰天するでしょう。子どもたちよ、これは永久の変化です。わたしがわたしの子どもたち、わたしの誠実な子どもたちのために備えたものは、目が見たことも耳が聞いたこともないものです。

コリント人への手紙 第一 (第15章51節～54節) 聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな、眠ることになるのではなく変えられるのです。終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。朽ちるものは、必ず朽ちないものを着なければならず、死ぬものは、必ず不死を着なければならぬからです。しかし、朽ちるものが朽ちないものを着、死ぬものが不死を着るとき、「死は勝利にのまれた」としてされている、みことばが実現します。

向き直ってわたしに顔を向けなさい。わたしがわたしの花嫁をわたし自身に受けるために来るとき、あなたはこの事象とわたしの栄光のすべてを見逃さない方がよいのです。この事象は起ころうとしています。子どもたちよ、備えなさい。準備をきなさい。用心していなさい。わたしを追い求めなさい。わたしを待っている者たちはごくわずかしきません。彼らは世の網にかかっています。

それはすべて、とても正常で正しそうに見えますが、彼女は人を欺くのです。世は嘘つきです。彼女は悪に満ちており、独自の真理を擁します。彼女は、自分が使う嘘に固執し、それを真理だとして押し通します。彼女の口には真理が全くありません。世は、あなたにすべてがうまくいっていると信じさせようとしますが、万事がうまくいってはいないのです。まもなく世は、このことを非常によく理解することになります。

自らを備えなさい。もう、わたしは長くは待ちません。わたしの来臨はまさに戸口に來ています。

わたしは戸の外に立ってたたきます。わたしをあなたの心に迎え入れなさい。時は移っています。ガラスの中の砂は、少なくなっています。

あなたは自分の安全地帯から抜け出して、ひざまずきなさい。あなたの罪を悔い改めなさい。あなたの命をわたしに引き渡しなさい。そうすれば、わたしはあなたをきよめ、あなたを備えましょう。わたしはこれをしたと願っています。あなたがた自身を世から切り離しなさい。離れて來なさい。立ち去りなさい。彼女は死です。彼女がわたしから離れて進み続けることはありません。彼女の没落の原因は、わたしに背を向けて自らの邪悪な道を求めることにあるのです。

テサロニケ人への手紙 第一 (第5章23節) 平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なるものとしてくださいますように。主イエス・キリストの來臨のとき、責められるところのないように、あなたがたの霊、たましい、からだを完全に守られますように。

そう、子どもたちよ、あなたがたは選ばなければなりません。あなたは彼女と行きますか、それともわたしと出てきますか。これは、あなたが選択することです。わたしがあなたのために選ぶことはできません。わたしには、あなたがわたしと一緒に來ることを要請することしかできません。

わたしは、あなたに永遠にわたしのそばにいて欲しいと望んでいます。わたしは、あなたがわたしの天でわたしと一緒にいることを願っています。しかし、これはあなたの選択です。わたしに従順するか、後に残るか。わたしはあなたの決断を待っています。わたしの愛は忍耐強いものです。しかし、まもなくわたしは、わたしの花嫁を救い出さなければなりません。これらのことばは確かです。わたしは、嘘をつかない神です。手遅れになる前に、わたしのもとに来なさい。

偉大な「わたしはある」ヤフシュア

第31章

わたしを崇め、わたしに悔い改める者たちは非常に少ない

では、再開しましょう（2012年2月28日）。わたしが大切にするわたしの子どもたちよ、わたしの再臨のための時刻が迫っています。あなたがたは準備をする必要があります。あなたがたには用意ができていない必要があります。用意しなさい。わたしは、あなたがたに自らをわたしの血で覆って欲しいのです。

世は終わろうとしています。世は、その終焉に達しようとしています。世は、以前の自分に終わりを告げようとしています。世は道徳的腐敗に陥っていつています。それは全くの悪に成り上がろうとしています。世はその神に対して強固に背を向けています。わたしがわたしの子どもたちに望むレベルでわたしを慕い求める者たちはごくわずかしきません。わたしの足もとにひざまずき、わたしを崇め、わたしに悔い改める者たちは、非常に少ないのです。ためらうことなく、わたしが彼らに行かせたい場所のどこにでも、喜んでわたしに従おうとする者たちは、ごくわずかしきません。

マルコの福音書（第8章34節）それから、イエスは群集を弟子たちといっしょに呼び寄せて、彼らに言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。」

あまりにも多くの者たちが、世と、世俗的な探求とに夢中になっています。あなたがたには、この世界がわたしに敵対していることが分からないのですか。わたしは、もうこれ以上、あまりこの世に我慢しているつもりはありません。

わたしはそれが継続することを許しません。まもなく、わたしはわたしの花嫁を取り去り、わたしの子たちを安全な場所に引き離します。彼女は美しく、わたしには、わたしが彼女のために天に備えた

家に彼女が来るための用意ができています。わたしの子どもたちよこのことは、確かにまもなく起ころうとしています。あなたがたは承知していなくてはなりません。あなたがたはこの真理を悟る必要があります。

非常に多くの者たちがまどろんで、寝入っています。彼らは、わたしから離れていっています。彼らは敵の手中に陥っていており、まもなく、不意を打たれた鳥のように、猟師の網に掛かるでしょう。

詩篇（第124章7節）私たちは仕掛けられたわなから鳥のように助け出された。わなは破られ、私たちは助け出された。

わたしの子どもたちよ、これらの真理を悟りなさい。目を覚まして見なさい。わたしは来るのです！完全に不意をつかれて、完全に脱落してしまう前に、目を覚ましなさい。わたしの再臨のための時刻が迫っていますが、非常に多くの者たちがまだ眠っています。ぐっすり眠りこんでいます。今は、突然のことに驚く時ではありません。あなたは目を覚まさなければなりません！あなたが完全に従順してわたしのもとに来ないならば、まもなくあなたは、まさしく敵が望む所にいることになるでしょう。今は、あなたがたの神に本気になる時です。

わたしは忍耐強い神ですが、わたしの忍耐はもうすぐ尽きてしまいます。わたしはもはや、この死んでいく世界を容認しません。それは、その神を徹底的に拒絶するために死にかけているのです。世界の隅々までが、わたしを拒絶しました。それは一方的な拒絶です。世は今、悪を受け入れています。

世は悪を抱き、悪と寝ます。それは悪を行うために立ち上がり、悪を行うために横たわります。わたしの花嫁だけが、本当にわたしに従います。彼女のみが誠実です。彼女だけが手を汚さないでいます。

彼女だけがわたしを追い求めて、世から離れました。彼女だけが、世のものごとに参加することによってその着物を汚していません。

彼女は暗い世にあるわたしの光です。彼女は、暗闇にあって明るく輝きます。彼女の光は、暗い世に、日ごとに暗くなっていく世にかすかな光を投げかけます。

まもなく、わたしが彼女を安全な場所へ取り去るため、この光は消されてしまいます。そうすると、世はますます暗くわびしくなります。わたしの子どもたちよ、これは暗闇の時刻です。

あなたがたは、まだ機会があるうちに、わたしの光の中に踏み入らなければなりません。時間は殆ど残されていません。もう少しで時間切れです。分針がまさに真夜中を打とうとしています。

これらのことばを不用意に取ってはいけません。それらはあなたのため、あなたを最悪の事態から守るため、来たるものからあなたを守るためのものなのです。

ヨハネの福音書（第8章12節）イエスはまた彼らに語って言われた。「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」

わたしの子どもたちよ、わたしは、ただ愛情深い父が愛するようにあなたがたを愛します。わたしはあなたがたに、わたしの腕の中に入れてきて欲しいのです。そこではあなたがたは安全なのです。あなたがたが安全を見出すのはわたしを通してのみであり、ただわたしにあって、わたしを通してのみ、あなたがたは救われるのです。他に道はありません。もしも、あなたがたが答えを世に求めるならあなたがたは人間の、わたしもわたしの真理のことも何も知らない人間の導きに従って方向転換することにより、惑わされるのです。

わたしの子どもたちよ、この時刻が近づいています。世から離れなさい。世があなたにもたらす汚れから手を引きなさい。それはあなたをわたしから引き離しています。わたしに近づいてきなさい。あなたの目をわたしからそらさないでいなさい。わたしは、世が完全に崩壊する前に来る最後の救いなのです。安全への、この唯一の確実な救いを逃してはなりません。

ヤコブの手紙（第4章8節）神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。罪ある人たち。手を洗いきよめなさい。二心の人たち。心を清くしなさい。

わたしの花嫁の一人になる準備をしなさい。完全に従順して、わたしのもとに来なさい。あなたの命をわたしの足もとに差し出しなさい。わたしにあなたの忠誠を誓い、あなたの全てを捧げなさい。わたしはあなたを安全へと導き出します。

これが、あなたへのわたしの約束です。それは安全な抜け道でありまもなく地に訪れようとしていることからの解放です。

わたしの贈り物を拒否してはなりません。あなたの決断を一生後悔するようになってはいけません。わたしは、わたしのことばを守ります。わたしには、あなたを安全へと救い出すことができます。わたしは誠実に救い出す、力強い神です。心を騒がせてはなりません。わたしの救いの腕の中に駆け込みなさい。

あなたがたの誠実な神、ヤフシュア

第32章

わたしはわたしの花嫁を安全へと取り去ろうとしている

わたしの娘よ、始めましょう（2012年2月28日）。子どもたちよ、わたしはあなたがたの神です。わたしはあなたのことを深く慈しむ神です。わたしはあなたに一番良いものだけを与えたいと望んでいます。

さあ、わたしの子どもたちよ、わたしはあなたがたにわたしのことばを聞かせたいのです。よく聞きなさい。この世は今にも覆ろうとしています。まもなく、この世は大混乱に陥ることになります。世界とその周辺で多くのことが起こりますが、良いことはそのうちの実にわずかしかないでしょう。わたしは、この世界からわたしの守りの手を取り除こうとしています。それは、この世がわたしに反抗してしまっているからです。それはわたしの心、わたしの道、わたしの真理とは反対方向に歩んでいます。

この世は、わたしにとって忌まわしいものです。わたしは、悪魔の犬どもにこの世を乗っ取らせようとしています。

詩篇（第22章16節）犬どもが私を取り囲み、悪者どもの群れが、私を取り巻き、私の手足を引き裂きました。

このことは、ほぼ到来しています。わたしの子どもたちよ、暗い日々が訪れようとしています。わたしは、この世界の悪をこれ以上はあまり容認するつもりはありません。わたしは、わたしの花嫁を安全な場所へ取り去ろうとしています。彼女はもうすぐ抜け出します。わたしは、もうこれ以上、そんなにはこの世界に我慢していません。わたしは、今にもこの世界を吐き出そうとしています。この世界を乗っ取った悪は、わたしの前で悪臭を放っています。わたしには、もうそれを見ていることはできません。わたしは、わたしの大切な者たちにも、これ以上あまり我慢させるつもりはありません。

わたしの教会は安全な場所に取り去られようとしています。この時刻が速やかに訪れようとしています。

子どもたちよ、なぜあなたがたはそんなに疑うのですか。あなたの信仰はどこにあるのですか。あなたがたは、どうしてそんなに深いのですか。あなたが信じようと信じまいと、それがまさに起ころうとしていることに変わりはありません。わたしの子どもたちよそれは、ちょうどわたしの書がそうなることと明確に述べているとおりに起こるのです。わたしは、わたしのことばのすべてにおいて誠実でありました。わたしは、わたしの書の中で、終わりの時を描写しています。わたしのことばを読みなさい。わたしの書に慣れ親しみなさい。これらのことばを注意して読みなさい。あなたがたには、今が、実際に終わりの時であることと、わたしの来臨の近いことが分かるでしょう。

子どもたちよ、互いに耳を傾け合うのをやめて、わたしを求めに来なさい。誠実な心でわたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたがたに真理を示しましょう。わたしは、あなたがたに真理を明らかにすることを切望しているのです。

わたしは、わたしの子どもたちを惑わしません。しかし、もし彼らがわたしを慕い求めないことを選ぶならば、わたしは彼らに真理を明らかにすることができません。彼らは、見通しのきかない路地と破滅への道を進み続けることとなります。

わたしと共に来て、道を見つけなさい。わたしはあなたがたを、わたしの、ああ、それは狭い小路へと導きます。わたしの子どもたちよ、それを見つける者はわずかししかおらず、それを探す者はわずかしきいません。決して、この道を見つけることのない大勢のうちの一人になってはいけません。路傍で迷っている者たちが非常に多く破壊で敷き詰められた広い道路にいる者たちが非常に大勢いるのです。

マタイの福音書（第7章13節）狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこから入って行

く者が多いのです。わたしの子どもたちよ、分別を取り戻しなさい。目を覚ましなさい。熱心にわたしを慕い求めなさい。今が命を得る時、わたしにあって命を得る時です。自由と、永遠に続く命への経路は他にはありません。

今がその時刻です。今です！わたしの待ち受ける腕の中に駆け込みなさい。ためらってはなりません。ためらいは、あなたの死、また確実な終わりとなります。わたしはあなたを助けたいのです。あなたのすべてをわたしに委ねなさい。あなたのすべてをわたしに捧げなさい。わたしはそれをすべて望みます。部分的な従順は十分ではありません。

わたしのもとに来てあなたの命を差し出さなさい。わたしは、それを受け取って、あなたがわたしの目的のためにわたしに仕え、永遠に天国を楽しむために、あなたに天の栄光を授けます。

エレミヤ書（第30章19節）彼らの中から、感謝と、喜び笑う声がわき出る。わたしは人をふやして減らさず、彼らを尊くして、軽んじられないようにする。

時間がなくなってきました。わたしの敵が舞台に向かって進んできています。まもなく、あなたが生きている時刻を否定することができなくなるでしょうが、その時には、あなたの救出には手遅れでああなたは救われる機会を逃してしまっているかもしれません。わたしの子どもたちよ、わたしはあなたを目覚めさせ、あなたを真理に至らせようとしているのです。あなたの注意を引くために、わたしは何をしなければならいのでしょうか。もしも、あなたがわたしのもとに来るのに手間取っていたら、あなたは後に残されるでしょう。わたしはあなたを残して行かざるをえません。そうならせたいけません。

悔い改めと従順と親密さ。これがわたしが願うものです。これが、わたしがあなたに要求するものです。これらがわたしの王国に招き入れられるための必須条件です。わたしの書がこれを語っていませんか。手遅れになる前に、今来なさい。来なさい。そうすれば、わ

たしはあなたをわたしの血できよめましょう。そして、あなたはわたしの前に立ち、わたしの王国に、わたしの永遠に続く美の王国に受け入れられる準備ができるのです。

ヨハネの黙示録（第1章5節）また、忠実な証人、死者の中から最初によみがえられた方、地上の王たちの支配者であるイエス・キリストから、恵みと平安が、あなたがたにあるように。イエス・キリストは私たちを愛して、その血によって私たちを罪から解放し、時は経過していています。あと一刻でもこの世のために無駄にしてはなりません。

これはあなたの主である王が語っています。気高く力強い、永遠の権威者 主ヤフシュアです。

第33章

わたしは第一位以外は望まない

始めましょう（2012年3月1日）。子どもたちよ、これはあなたがたの主です。わたしには、あなたに伝えるべき新しいことばがあります。わたしの子どもたちよ、この地の上に新しい時代が明けようとしています。それは、悪によってしるしがつけられたものです。よこしまな人間たち、よこしまな時代によって。あなたがたは、わたしと共に出発する準備をしなければなりません。わたしは、あなたがたに用意をして欲しいのです。わたしはこの邪悪な世界からわたしの花嫁を引き抜き、彼女を安全な場所へ取り分けなければなりません。

わたしには、彼女をこれ以上長くこの世に置いておくことはできません。まもなく、この世界は大変醜く不吉なものとなるからです。彼女は、安全な場所に取り分けられなければなりません。それから世は、残された者たちに対してその悪を解き放つのです。

まもなく、このことは起こるのです。今でさえ、すべての暴風雨前線が集結してきて、わたしに反することを選んだ人類の全てをもうじき圧倒することになる恐怖の波を、完璧な破壊の嵐を作り出そうとしています。

わたしがあなたの人生で最優先されなければなりません。あなたがこの恐怖を避けることができるように、わたしが第一位を占めなければなりません。わたしは、わたしの子どもたちが苦しむのを見たがる神ではありません。しかし、あなたが、あなたの心の中でわたしよりも高い位置を占めている偶像の上にわたしを置くことを拒否するならば、あなたは程なく、あなたの創造主であるあなたの神を拒絶することが何を意味するかを知ることになるのです。

わたしは軽々しく扱われてよい神ではありません。わたしは第一位以外は望みません。わたしは、あなたの優先順位の二番目や三番目になる気はありません。わたしは、あなたがわたしを賛美し、わた

しの栄光をたたえ、わたしを知るように、わたしのためにあなたを造りました。わたしは、あなたがわたしとの近密な関係を持つために、あなたと親密に関わりたいと願っています。

もしも、あなたがこのようにわたしを知ることを選ばないならば、あなたには思い通りにすることができるし、わたしたちは別々の道を歩み、あなたはわたしの敵と一緒にその永遠の定めのある地に行くこともできるのです。わたしはねたむ神です。わたしは、わたしの敵とあなたを共有するためにあなたを造ったものではありません。

申命記（第32章16節）彼らは異なる神々で、主のねたみを引き起こし、忌みきらうべきことで、主の怒りを燃えさせた。

あなたは、全くわたしだけのものになることを望むか、あるいは、すでに非常に多くの者たちが行ってしまった破滅への広い道を進むこともできます。すべての世俗的な探求にまさってわたしを知ることを望む者たちは、ごく少数しかいません。

あなたの人生において、わたしはどの位置に立っていますか。わたしには、あなたの心の中で第一位を占める価値がありませんか。わたしの子どもたちよ、わたしはあなたがたのために、身の毛のよだつ、痛ましい死を遂げました。わたしはあなたを造り、あなたに命を与えました。わたしは、毎日あなたを支えています。わたしの子どもたちよ、まもなくあなたがたは決断しなくてはなりません。

あなたがたは、わたしの平安、平穩、愛が欲しいと思いますか。あなたがたは、もうじき崩壊する世界からの安全な抜け道に関して、わたしの保障が欲しいと思いませんか。それならば、今が、どうするかを選ぶ決断の時です。あなたは、あなたの神をどのように受け入れますか。愛と献身をもってですか、それともなまぬるい無関心をもってですか。

ピリピ人への手紙（第2章8節）自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。

わたしはあなたに決断してもらわなければなりません。あなたにはわたしのために自分に死に、わたしにあなたの全てを明け渡す意志がありますか。わたしは、あなたがわたしの提案に応じて謙遜な悔い改めをもってわたしに罪の赦しを求め、わたしの血で覆われることを求めるためにわたしのもとに来るのを待っています。あなたが救われることができるのは、ただわたしの血によってのみ、わたしが十字架の上で捧げた犠牲によってのみなのです。

あなたがこのわたしの血の贖いの贈り物を受け取るなら、誠実な心であなたの罪を悔い改めなさい。わたしの前にあなたの命を差し出さなさい。ためらうことなくわたしに従いなさい。わたしには、あなたの人生を建て直し、あなたをきよめ、あなたをわたしの王国のために備えることができます。あなたがわたしと一緒に来れるように備えることができます。

この提案を真剣に考慮しなさい。子どもたちよ、あなたがたはいつまでも待ってられるわけではありません。何が起こるのかを静観してこの決断を避けることで、あなたは、次の世でわたしがあなたのために用意しているもののすべてを失うことになるかもしれません。愚かになってはいけません。目を覚ましなさい。準備しなさい。備えなさい。わたしは、あなたにこの先にある恐怖から救われて欲しいのです。

わたしはあなたのために祈っています。わたしは、あなたのためにわたしの父に祈っています。子どもたちよ、この時は縮まっています。わたしはあなたに決めて欲しいのです。わたしはわたしの花嫁を迎えに来るのです！この神の偉大な動きを見逃してはなりません。わたしがあなたのために備えているものすべてを、受け損なってはなりません。

わたしは約束を守ります。わたしは勝利し、わたしの教会は勝利するのです！ですから、あなたがたはわたしのことばを心に留めなければなりません。

わたしは、偉大な「わたしはある」です。 わたしは、必ず救い出す主ヤフシュアです。

第34章

患難が訪れようとしている一大患難

始めましょう（2012年3月2日）。わたしの子どもたちよ、わたしです。あなたがたの主です。わたしには、あなたがたに授けるべき新しいことばがあります。子どもたちよ、今は重大な時です。この世に多大な悲痛が訪れようとしています。多くの危難や悲しみが起こるでしょう。これらの困難はすでに始まっているのです。罪は人々の間に蔓延しています。

とはいえ、失望してはいけません。わたしは世に打ち勝っています。わたしは、わたしの花嫁を安全な場所に取り去るために来ます。彼女は見るに美しく愛おしいものです。彼女は、わたしの再臨を、わたしのまもなくの再臨を期待して待っています。彼女はわたしから目を離しません。わたしは彼女を心から愛しています。わたしはわたしの目で彼女を抱きしめます。わたしは彼女の一つ一つの動きを見守ります。彼女は決してわたしの視界から外れることはありません。

彼女が後にする世界がまもなく内部から崩壊していく間、彼女は安全にかくまわれて、わたしと共にわたしの天に在ることになります。

ヨハネの福音書（第16章33節）わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。

子どもたちよ、今このことが展開しつつあります。患難が訪れようとしています。大患難が。これまでに世界が見たこともないようなものです。あなたがたは皆、わたしの警告、わたしのしるし、わたしの書に関して、あまりにも無頓着であるようです。

あなたがたには、地に困難がやって来ようとしていることが分かりませんか。それは訪れようとしていて、誰にもそれを止めることは

できないのです。これは、その神を捨てている世界、その神を拒絶している世界に原因があります。この世界は、わたしとわたしの道に対して何の敬意も払いません。ですから、わたしは、わたしの守りの手を引っ込め、わたしの花嫁と共に撤退しなければならないのです。まもなく、世は本当の恐怖が何を意味するかを理解するようになります。

ヨハネの手紙 第一（第4章1節～8節）愛する者たち。霊だからといって、みな信じてはいけません。それらの霊が神からのものかどうかを、ためしなさい。なぜなら、にせ預言者がたくさん世に出てきたからです。人となって来たイエス・キリストを告白する霊はみな、神からのものです。それによって神からの霊を知りなさい。イエスを告白しない霊はどれ一つとして神から出たものではありません。それは反キリストの霊です。あなたがたはそれが来ることを聞いていたのですが、今それが世に来ているのです。子どもたちよ。あなたがたは神から出た者です。そして彼らに勝ったのです。あなたがたのうちにおられる方が、この世のうちにいる、あの者よりも力があるからです。彼らはこの世の者です。ですから、この世のことばを語り、この世もまた彼らの言うことに耳を傾けます。私たちは神から出た者です。神を知っている者は、私たちの言うことに耳を傾け、神から出ていない者は、私たちの言うことに耳を貸しません。私たちはこれで真理の霊と偽りの霊とを見分けます。愛する者たち。私たちは、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出ているのです。愛のある者はみな神から生まれ、神を知っています。愛のない者に、神はわかりません。なぜなら神は愛だからです。

子どもたちよ、わたしはあなたに嘘をつきません。わたしは神です。この世界は、あなたがたが後に残ってこのことの結末を見たくなくなるような場所ではなくなります。あなたがたがわたしと共にいたいと望むならば、あなたがたが来たるものを生き延びることはありません。わたしの花嫁が取り去られた後でわたしを告白する者たちは皆その信仰のために死ぬこととなります。それは、わたしの子どもたちにとって、困難な時となります。

そうではないと考える愚か者になってはなりません。

テモテへの手紙 第二 (第3章12節) 確かに、キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。

わたしは侮られません。この世界は同じような調子で続けておきながら、何の報いもないと信じることはできないのです。わたしは、わたしをそのように憎み、侮る世界を守り、面倒をみるのに疲れしました。この時代はまさに終わろうとしています。まもなく、わたしは世にその思う通りにさせ、じきに襲ってくる悪を制止する神のいない世界にならせます。世は、わたしをその神として尊重しません。そのため、わたしは世にその一番の望みのものを与え、その天来の羅針盤である聖なる神から離れて走らせます。そうすれば、世は、わたしの規則と法のうちにとどまることと、わたしの永遠に続く道に従うことの大切さを知るでしょう。

抑制のない世界。それがわたしの残された子どもたちが目にするようになるものです。それは、人類にとって身の毛のよだつ時となります。後に残ってはいけません。今、わたしのもとに来なさい。待ってはいけません。

わたしの血とわたしのことばで自らをきよめなさい。わたしのことばを深く掘り下げなさい。

悔い改めて、わたしにあなたの命を委ねなさい。わたしがあなたを来たることから救いましょう。わたしにはその意志があります。時間は短いのです。急ぎなさい。今が、わたしの腕の中に駆け込んでくる時です。わたしの愛があなたを待っています。

わたしがあなたを最悪の事態から救いましょう。わたしの血の覆いの下、安全な場所に来なさい。わたしは、ぜひとも救いたいのです。

これらのことばは真理であり、混じり気はありません。

これはあなたがたの主、救いの勇士 ヤフシュアです。

第35章

死にかけている世界を追いかけることには

絶対に何の利益もない

再開しましょう。子どもたちよ、あなたがたの主があなたがたに語りかけています。わたしの子どもたちよ、わたしは速やかに来ますだから落胆してはなりません。この世には、わたしとの関係を回復するための時間がなくなろうとしています。まもなく、悔い改めと完全な従順を以ってわたしとの関係を回復することを拒否する者たちは、その結果に苦しむこととなります。

わたしの敵は血に乾いており、無慈悲です。世は、かつて一度も経験したことがないような恐怖を味わうこととなります。この時刻が急速に近づいています。

わたしは、もうこれ以上、この邪悪で無感覚な世をあまり我慢するつもりはありません。わたしはもう十分に見聞きしてきました。それは、その神を拒絶し、わたしの道とわたしの真理とに背を向ける世界なのです。

ヤコブの手紙（第4章4節）貞操のない人たち。世を愛することは神に敵することであることがわからないのですか。世の友となりたいたいと思ったら、その人は自分を神の敵としているのです。

子どもたちよ、もしも、あなたがたが漫然と世を追いかけ続けるならば、あなたがたは盲人に導かれているのです。倫理基準に欠ける死にかけた世を追いかけることには、絶対に何の利益もありません。あなたがたは、そろそろこのことに気がついていないはずですが、真剣に真理に取り組みなさい。

そのつくり主を拒絶する、この生命のない死にかけている世界には、全く希望がありません。あなたがたは気をつけなければなりません

目を開きなさい。あなたがたは、わたしの狭い道から迷い出さされているのです。

子どもたちよ、この道を見つけるものは少ないのです。目を覚ましなさい！あなたの目から膿を除き、目からうろこをはがしなさい。霊の目を求めてわたしのもとに来なさい。わたしがあなたの目を真理に開かせましょう。

まるで無害な遊びであるかのようにして、敵と戯れるのはやめなさい。彼は命取りになるものであり、あなたが最も気を緩めているときにあなたに打ちかかろうとしています。あなたは、わたしから離れては、彼に対してとても齒が立たないのです。

守られるために、あなたはわたしに近づかなければなりません。わたしの近くにいることによってのみ、あなたは安全なのです。あなたが生き残るのは、わたしの書に根付き、わたしとの親しい関係を築いていくことによってのみなのです。このことが分かりますか。あなたが独力でやるなら、あなたが生き残ることはありません。思い違いをしてはいけません。馬鹿を言ってはいけません。何よりも高ぶっている人の心は欺かれています。わたしの敵は、あなたには狡猾すぎます。それだから、あなたはわたしとの親しい関係を持つことによってのみ、生き残ることができるのです。あなたがわたしの近くに、本当に近くにいれば、敵はわたしの近くには来たがらないものです。闇は光に立ち向かうことはできないのです。

ですから、あなたの計画とあなたの命を捨て、それらをわたしに明け渡しなさい。わたしがそれらを引き取り、あなたの灰を美しいものに作り変えましょう。わたしがあなたの人生のためのわたしの完璧な意向をあなたに示しましょう。わたしにはそれができます。わたしにはその意志があります。あなたの人生のためのわたしの意向のうちあなたにとどまることが、わたしの願いです。あなたをわたしの血できよめ、あなたをわたしに近づけること、これがわたしの願いであり、母親がその子を愛するように、わたしはあなたの面倒を見ることを望んでいます。

イザヤ書（第 66 章 13 節）母に慰められる者のように、わたしはあなたがたを慰め、エルサレムであなたがたは慰められる。

マタイの福音書（第 23 章 37 節）ああ、エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者。わたしは、めんどりがひなを翼の下に集めるように、あなたの子らを幾たび集めようとしたことか。それなのに、あなたがたはそれを好まなかった。

子どもたちよ、わたしのまもなくの再臨の時刻が近づいています。あなたがたは見張っていません。あなたがたは取り残されます。わたしは、見張る気があり、わたしを親しく慕い求めることを願うわたしの子どもたちだけを迎えに来ます。これらの者たちが来るのです。残念ながら、他の皆は残されることになります。それらのうちの多くの者たちは突然の破壊で滅ぼされてさえしまうのです。

今は重大な時刻であって、これらは深刻な警告なのです。わたしの書を読みなさい。そのページを開きなさい。わたしの霊が、あなたを紛れもない真理に導いてくれるように祈りなさい。

時は経過していっています。あなたの神であるわたしを憎む世を追うことに、あと一分たりとも費やしてはいけません。あなたは致命的な方向に進んでいるのです。冷静に考えなさい。わたしを慕い求めなさい。わたしの霊を慕い求めなさい。わたしの父を慕い求めなさい。わたしたちを慕い求めなさい。わたしたちはひとつであり、わたしたちはあなたを救いたいと望んでいます。

わたしのまもなくの到着のための時刻が来ました。わたしの救済を受け損なってはなりません。

これは、あなたを心から愛しているあなたの主ヤフシュアです。

第36章

自分では用意ができていると思っている多くの者たちは

自らを騙している

わたしの娘よ、始めましょう（2012年3月4日）。わたしはあなたに新しいことばを与えるから、注意して聞きなさい。わたしの子よこれはあなたの主です。ぜひ、これらのことばを書き留めなさい。わたしの再臨のための時刻が迫ってきています。非常に多くの者たちがまだ見張っておらず、あまりに多くの者たちが目に覆いをつけ聞き分けることを拒否しています。わたしの再臨の時刻が速やかに訪れようとしています。子どもたちよ、あなたがたには用意がなければなりません。あなたがたは用意をしなければなりません。

注意をして見張っていなさい。これは用意をすることに必要不可欠です。見張っている者たちだけが連れて行かれます。わたしの再臨について知りたいと思う者たちだけが、用意されることができるのです。

わたしの霊にとどまりたいと思わず、またとどまらない者たちは、残って最悪の事態に遭遇することになります。

多くの者たちが、自分たちが残されたことに驚くでしょう。多くの者たちが、連れて行かれなかったことに衝撃を受けるでしょう。自分は用意ができていると考えている非常に多くの者たちは、自らを騙しているのです。彼らには少しも用意ができていません。彼らは世にある物事に束縛されています。彼らの心は他のものにあるのです。彼らはわたしの来臨を心待ちにしたいとは思っていません。彼らは、自分たちのことや、世にある物事で頭がいっぱいになっています。彼らはわたしとともに時間を過ごさないのです。彼らはわたしのことを心待ちにしていないのです。

彼らは、わたしのことを心待ちにする者たちをあざ笑い、迫害します。それでいて、彼らは自分たちはわたしを知っていると思ってい

るので、後に残された時には、ものが言えないほどびっくりすることになるのです。彼らは少しもわたしを知らないのです。

彼らは、自分たちはわたしを知っていると思っているだけです。彼らの心はわたしからかけ離れています。彼らは決して隠れた所でわたしのもとに来ることがありません。彼らは世にあるものごとに助けを求めて行きます。彼らの目は、わたしを見張って待つことに関心がありません。彼らは、世にある物事に手を出したり、それらを扱ったりすることが大好きです。

彼らは、はるか未来まで計画を立てます。彼らは決して実現することのない計画を立てるのです。彼らは、これらの計画に関してわたしに尋ねることが決してありません。もし彼らがそうするなら、わたしは彼らに、わたしに焦点を合わせるように、わたしに近づくように、彼らの計画を捨て、それらをわたしに明け渡すようにと告げることでしょう。わたしが欲しいものは完全な従順であり、わたしの足もとにあなたの計画を差し出すこと、あなたの命さえも、あなたの将来の計画も、あなたのすべてをわたしに捧げることです。

わたしだけが、未来に何が待ち受けているかを知っています。誰が立てる計画も、すべては一瞬にして崩れえます。わたしがあなたの人生のためのわたしの計画を実行するのに任せてはどうですか。わたしの子どもたちよ、わたしはあなたにとって何が最善であるかを知っています。わたしは初めも終わりも知っています。わたしはアルファでありオメガです。

ヨハネの黙示録（第22章13節）わたしはアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。初めであり、終わりである。

わたしは太陽と月と星々の創造主です。わたしには、あなたのことも、あなたの将来の計画も、面倒をみることができると思いませんか。あなたがただ、あなたの命をわたしに差し出しさえすれば、わたしはあなたをわたしの王国へと招き入れることができますのです。わたしには、あなたを平安と安全へといざなうことができます。わたしと共にあなたを安全な場所に運び出すことができますのです。あ

あなたは、あなたの人生のためのわたしの計画が完璧であること、そして、わたしに救い出す力があることを知って、平安のうちに生きることができるのです。

もしもあなたが、あなたの人生のためのわたしの完璧な意向のうちにいるならば、あなたはこの安心を手にすることができるのです。あなたがわたしの意向のうちにあるなら、あなたはもう一日として心配する必要がないのです。あなたが握っているあなた自身のやり方や計画を手放しなさい。それらはあなたを破滅へと導くだけです。

あなたのすべてをわたしに明け渡し、わたしの意向、わたしの完璧な意向のうちに踏み入れなさい。初めも終わりも知っている神にあなたの面倒をみさせなさい。わたしは永遠にあなたの神です。わたしはあなたをわたしの永遠の王国に連れて来ます。それは求めればあなたのものなのです。

ヨハネの黙示録（第21章6節）また言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。わたしは、渇く者には、いのちの水の泉から、価なしに飲ませる。

服従し、悔い改め、わたしをあなたのものとしなさい。わたしを知りなさい。わたしは、あなたにわたしの心を伝えます。わたしはあなたと歩むことを望んでいます。あなたは決してひとりになることはありません。ですから、服する時は今です。今がその時刻です。今がその時です。賢い選択をしなさい。

数多くの道があります。ただ一つだけが正しいもので、ただ一つだけが真っ直ぐな道です。

わたしを知りなさい。そうすれば、わたしがあなたを真っ直ぐな道に案内します。あなたを案内し、あなたを導くこと、これがわたしの願いです。

ヘブル人への手紙（第12章13節）また、あなたがたの足のためには、まっすぐな道を作りなさい。なえた足が関節をはずさないため、いやむしろ、いやされるためです。

まもなく時計は真夜中を打ちます。わたしの腕の中に、安全な腕の中に駆け込みなさい。わたしにあなたを助けさせなさい。速やかに選びなさい。誰かを残していくことはわたしを悲しませますが、その選択は彼らのものなのです。

ためらわないでわたしの愛を受けなさい。

途方もない愛の神ヤフシュア。

ヨハネの手紙 第一（第4章16節）私たちは、私たちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛のうちにいる者は神のうちにおり、神もその人のうちにおられます。

第37章

あなたには貴重な時間が少ししか残っていない

始めましょう。わたしはあなたにさらなることばを授けましょう。子どもたちよ、これはわたしです。あなたがたの主です。わたしにはあなたに授けることばがあります。

時刻は遅くなっています。1日のうちには光が少ししか残されていません。あなたがたは準備をする必要があります。わたしの来臨は近いので、用意をしている必要があります。それは迫ってきています。

用意ができて見張っている者たちは少ししかいません。用意したいと思う者たちはわずかしかなりません。多くの者たちがわたしの警告を無視することを選びます。ほとんどの者たちが、来たるべきことについて無関心でいます。この時刻は迫ってきているのです。

わたしは、あなたに油断しないで気をつけていて欲しいのです。そうでなければ、あなたは不意を打たれることになります。あなたが見張っていないければ、あなたには来ようとしているものを見ることができません。見張っている者たちだけが、油断なく警戒していることになります。それらの者たちだけが、自らを備えていることになります。彼らが見張っているからです。あなたが見張っていないなら、どうしてあなたに準備ができるでしょうか。準備をして用意ができてる者たちだけが行くことになるのです。他の者たちは皆、ともしびに油が半分しか満たされておらず、不足することになります。

マタイの福音書（第25章7節～10節）娘たちは、みな起きて、自分のともしびを整えた。ところが愚かな娘たちは、賢い娘たちに言った。『油を少し私たちに分けてください。私たちのともしびは消えそうです。』しかし、賢い娘たちは答えて言った。『いいえ、あなたがたに分けてあげるにはどうも足りません。それよりも店に行き、自分のをお買いなさい。』そこで、買いに行くと、その間

に花婿が来た。用意のできていた娘たちは、彼といっしょに婚礼の祝宴に行き、戸がしめられた。

わたしの子どもたちよ、今はまどろんでいる時ではありません。今は眠っている時刻ではありません。

わたしは、わたしを待つために十分に目を覚ましているつもりさえもないもの者たちを迎えに来るのではありません。わたしが来るときに眠っている者たちは、この地に訪れようとしていることの悪夢のような現実目覚めることとなります。わたしの眠れる教会にとっては、実に何と悲しい時でなることでしょう。

ヘブル人への手紙（第9章28節）キリストも、多くの人の罪を負うために一度、ご自身をささげられました。二度目は、罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人々の救いのために来られるのです。

わたしの子どもたちは、ぐっすりと寝入っています。彼らがすぐに目を覚まさなければ、彼らは気がつくと敵の手中に入ってしまったでしょう。敵は無慈悲で、誰に対する思いやりも気遣いもありません。彼の心にあるのはただ一つ、権力と支配です。彼は鉄拳をもって統治します。わたしには、来たるべきことの重大さを十分にあなたに理解させることができません。今は重大な時刻です。そして、この地に重大なものごとが起ころうとしています。

わたしは、これらのことをあなたに告げるのを楽しんでいるわけではありません。わたしはただ、あなたに、今にもこの地に降りかかろうとしている惨状によって苦しんで欲しくはないために、来たるべきことについてあなたに警告を与えたいのです。

わたしの子どもたちよ、正気に戻りなさい。眠りから目を覚まさない。あなたの目の覆いを取り除きなさい。速やかにわたしのもとに来なさい。あなたには貴重な時間が少ししか残っていません。あなたは急いでわたしのもとに走らなければなりません。わたしは最悪の事態からあなたを救いたいと願っているのです。

近づいてくる嵐に巻き込まれてはなりません。わたしが花嫁を取り去るときに、わたしと共に抜け出してくる者たちはごくわずかで、わたしを心待ちにし、わたしのことばによる洗いとわたしの血によるきよめをもって自らを備えることを選ぶ者たちは、ごくわずかしきません。他に答えはひとつもありません。他の道はないのです。

エペソ人への手紙（第5章25節～27節） 夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。

今、この時に明け渡しなさい。わたしにはあなたを受け入れる用意があります。わたしはあなたに、わたしのもとに来て、安全でいて欲しいのです。わたしはあなたを覆い、来たるべき恐怖からあなたを守りましょう。自らを助けなさい。わたしのもとに来なさい。わたしが唯一の逃げ道です。他に道はありません。完全な従順をもって、あなたの心とあなたの命をわたしに明け渡しなさい。あなたは用意されます。わたしの聖い霊の働きによって用意されるのです。聖霊にあなたを満たさせなさい。そうすればあなたは真理を、わたしの真理を見るでしょう。

わたしには、あなたをわたしの王国に連れてくる用意があります。あなたは来ますか。これはあなたの主ヤフシュアです。わたしは忍耐強く、また辛抱強く、あなたが決心するのを待っています。わたしを選んで救われなさい！

第38章

わたしの本当の信者たちは見張っている

彼らは油断していない

娘よ、始めましょう。わたしの娘よ、わたしにはあなたに新しいことばを授ける用意があります。子どもたちよ、これはあなたがたの主が語っています。わたしの再臨の時刻が近づいているのに、わたしの子どもたちは眠っています。彼らはぐっすりと眠っています。彼らは自分たちの周りで進行していることに全く気がつかないで、転寝しています。彼らは見張ってさえいません。明らかに彼らは目が見えておらず、わたしに注目していません。

わたしは夜の盗人のようにやって来ます。多くの者たちが不意をつかれます。わたしのことばがそう語っていませんか。そうであるならば、なぜそうも多くの者たちがこの警告を無視しているのでしょうか。なぜ彼らは見張って注意を払うことを拒絶するのでしょうか。わたしは彼らに最善のものを望んでいるのに、彼らはわたしにその最後に残ったものを差し出すのです。

わたしの子どもたちがわたしにぴったりとついてきているなら、彼らには、見張り、探し、わたしを心待ちにしていなければならないことが分かっているはずです。彼らには、自分たちの周りの世界のことや、また世界がその隅々でわたしをはっきりと拒絶していることが、分かっているはずです。

わたしの真の信徒たちは見張っています。彼らは油断していません。彼らは耳を地につけて、わたしの足音を聞こうと耳を澄ませています。彼らは、わたしの一つ一つの動きを見つめており、彼らはわたしの声を聞くのです。

わたしは来るのです。そして、このことは、期待してわたしを待ち望んでいる者たちにとっては、謎ではありません。これらの子どもたちは忍耐強く、それでいて切望しています。これがわたしの真の

教会、わたしの花嫁です。彼女は驚くほど美しく、わたしの再臨に対する彼女の熱意は、わたしを魅了しています。わたしは、彼女がわたしのことを待つその熱心さに惚れ込んでいます。わたしのために自分に死ぬわたしの誠実な信徒たち、わたしが死んだのはこの人たちのためなのです。

ルカによる福音書（第12章37節）帰って来た主人に、目をさましているところを見られるしもべたちは幸いです。まことに、あなたがたに告げます。主人のほうで帯を締め、そのしもべたちを食卓に着かせ、そばにいて給仕をしてくれます。

彼らは、わたしの足もとに彼らの命を差し出し、その主のために、世と世にあるものごとに背を向けます。このことをわたしは最も感謝しており、わたしのこの美しい教会のための報酬は尽きることがありません。

あなたには、わたしの花嫁であるこの教会に加わることができます。あなたには、わたしたちが共に発つとき、わたしが準備したわたしの天の住まいに行く用意ができるのです。けれども、貴重な時間が少ししか残っていません。ですから、気を緩めずにわたしを追い求めなさい。

わたしは完全な従順を期待しています。わたしは完全な献身を求めています。わたしのために、あなたの命を余すところなく完全に捧げなさい。わたしはあなたの全人生を望みます。わたしは、それをわたしにある新しい命と交換します。わたしは、あなたに新しい命を授けたいのです。わたしは、あなたをわたしの血で洗いきよめたいと、あなたをわたしの王国に定住させたいと、永遠にわたしに仕えてわたしと共にわたしと並んで永遠に支配、統治することになるわたしの子どもたちの間であなたに場所を与えたいと望んでいるのです。

これがわたしの花嫁です。彼女は、その王のために用意ができて、待ち、見張っており、美しいのです。わたしは、これらの子どもたちを救い出すために、まさにこの地を圧倒しようとしている悪から

彼らを自由と安全へと連れ去るために来るのです。彼らはわたしの勝利者です。あなたもそのうちの一人になることができます。わたしの子どもたちよ、わたしは、あなたがたがわたしの婚姻の祝いに加わるのを、わたしの王国の一員となるのを待っています。わたしは、わたしの婚宴の食卓に、あなたのための場所を取ってあります。あなたのための食器一式がありますが、まず、あなたが来てそれをあなたのもので主張しなければなりません。

わたしはいつまでも戸を開いておくことはしません。まもなく、わたしは用意のできているわたしの子どもたちを、この安全な通路を通して連れ出します。その後、それは閉じ、来なさいというわたしの招待を退ける者たちは後に残され、最悪の事態に直面することになるのです。

安全と救いのためのわたしの贈り物を拒否する者たちにとっては、何と悲しい一日でしょう。彼らはその日、何が起こり、彼らが何を逃してしまったかを知って、衝撃を受けるでしょう。そして、彼らが失ってしまったもの、彼らが直面しなければならないことについての現実に直面します。その後悔は多大なものでしょう。わたしのなまぬるい教会がわたしの数多くの警告を拒み、無視するという、悲しい選択をしたことの結果を甘んじて受け入れるにつれ、非常な嘆きや悲しみがあるでしょう。

たしかに、彼らの失ったものは莫大で、彼らの悲しみは大きなものでしょう。子どもたちよ、これはあなたでなくてよいのです。あなたは、残されて、この地を包み込む暗闇を目にしなくてもよいのです。完全に従順し、完全に悔い改め、あなたの罪を真摯に反省し、真心からわたしに従いたいという切なる願いをもって、わたしのもとに来なさい。

わたしはあなたの心を変え、わたしの血であなたの罪のしみを白く洗いましょう。あなたは備えられ、わたしのおおいなる婚宴に加わる用意がされて、わたしの前に立つことになります。

あなたがわたしのもとに戻ってくることが、わたしの心からの願いです。わたしはあなたの父、あなたの創造主です。わたしはあなたがわたしのもとに来ることを願っています。わたしがあなたをわたしの息子や娘にすることができるように。これは、あなたがわたしとの関係を回復する機会です。永遠に一緒に暮らしませんか。わたしはあなたの決断を待っています。

わたしはあなたの主、わたしはあなたの王、わたしはあなたの神エホバです。

第39章

私の証し

この文書と私の断食に関して

主は、祈りと、水分だけを摂る40日間の断食のため、人里離れた場所に行くようにと私に要求されました。二週間経つと、私は毎日聖餐を受け、その後、少ししてから毎日4オンス（約120cc）の果汁を4杯飲みました。この断食は、私が人生の中で行った最も難しいことでした。

主が私にこの断食をさせたのは、私が自分に死ぬためでしたが、実際に私は自分に死にました。主はまた、わたしに多くのことばを授けられ、私は、それを他の人たちが読めるように、忠実に書き留めるよう努めました。この文書は2012年1月27日から2012年3月6日までのわたしの断食期間中に、主によって私に口述されたものです。（主から私に口述されたそれぞれの書簡のほとんどには、個別に日付がつけられていませんが、これは、断食が私にとって大変困難なものであったために、私がおその日何日であるのか、または断食の期間がいかにゆっくと過ぎていっているかを意識したくなかったからであることをご留意ください。）この断食の期間中、主は私に、空腹の痛みを助けるために、私が欲しいときにはいつでも「天のパン」を求めるとおっしゃいました。それで、私は空腹の痛みや、断食に関連するいかなる痛みを感じた時には、それを求めました。わたしが主からの「天のパン」を求めるときに、痛みがすっと消えるのでした。

それは驚くべきもので奇跡的なことでした。主こそが「天のパン」なのです。（下記聖句参照）

私が断食の半ばごろに読んだ本は、私をはっとさせ私の注目を引きました。それは天国と地獄を見せられたある女性の話でした。彼女は、地獄では、そこにいる者たちは常に空腹で喉が渇いているのだ

と報告していました。これは、私にとってこの断食期間中における決定的な瞬間となりました。というのは、私はただ 40 日間食べ物を断っていただけでした（私はこの断食期間中、水を飲んでいたので、もちろん喉は渇いていませんでした）が、私には空腹で喉が渇いた状態で（40 日間でも信じがたいほどの苦闘であったのに）永遠を過ごすことなど想像もつかなかったからです。それで私は、他の人たちに、この重大な真理について考え、彼らの永遠の成り行きについて真剣に考えてもらいたいのです。

私は、この 40 日間の断食を私に切り抜けさせてくださったことを、主に感謝しています。

私に与えられたこれらのことばに関して言えば、主は、私がおの意図を知りもしなかった言葉を多く用いられ、私はそれらを調べなくてはなりませんでしたが、それらはいつも完璧な言葉でした。私もまた作家ではありますが、私がおのこのような 100 ページ余りの長さの文書を書く時には、もしも私自身がそれを書いたのであれば、私は何度も書き直したり、編集したり、削ったり、加えたりしたことでしょう。それでいて、この文書はただの一度も変えられたり変更されたりすることがありませんでした。私は文字通り、主の口述をわたしに告げられたとおりに書き取っていたのです。私は主のことばを日記に書き、一度も書き換えたり変更したりすることなく、完璧な英語で、それをそっくりそのままタイプしました。すべての栄光が主にありますように！主よ、スーザン・デイヴィスという、このいたらない器に忍耐していただきありがとうございます。

イエスこそが天のパンなのです。

ヨハネの福音書（第 6 章 29 節～58 節）イエスは答えて言われた。「あなたがたが、神が遣わした者を信じること、それが神のわざです。」そこで彼らはイエスに言った。「それでは、私たちが見てあなたを信じるために、しるしとして何をしてくださいますか。どのようなことをなさいますか。私たちの父祖たちは荒野でマナを食べました。『彼は彼らに天からパンを与えて食べさせた』と書いてあ

るとおりです。」イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。モーセはあなたがたに天からのパンを与えたわけではありません。しかし、わたしの父は、あなたがたに天からまことのパンをお与えになります。というのは、神のパンは、天から下って来て、世にいのちを与えるものだからです。」そこで彼らはイエスに言った。「主よ。いつもそのパンを私たちにお与えください。」

イエスは言われた。「わたしがいのちのパンです。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渴くことはありません。しかし、あなたがたはわたしを見ながら信じようとしないと、わたしはあなたがたに言いました。父がわたしにお与えになる者はみな、わたしのところに来ます。そしてわたしのところに来る者を、わたしは決して捨てません。わたしが天から下って来たのは、自分のところを行うためではなく、わたしを遣わした方のみところを行うためです。わたしを遣わした方のみところは、わたしに与えてくださったすべての者を、わたしがひとりも失うことなく、ひとりひとりを終わりの日によみがえらせることです。事実、わたしの父のみところは、子を見て信じる者がみな永遠のいのちを持つことです。わたしはその人たちをひとりひとり終わりの日によみがえらせます。」ユダヤ人たちは、イエスが「わたしは天から下って来たパンである」と言われたので、イエスについてつぶやいた。彼らは言った。「あれはヨセフの子で、われわれはその父も母も知っている、そのイエスではないか。どうしていま彼は『わたしは天から下って来た』と言うのか。」イエスは彼らに答えて言われた。「互いにつぶやくのはやめなさい。わたしを遣わした父が引き寄せられないかぎり、だれもわたしのところに来ることはできません。わたしは終わりの日にその人をよみがえらせます。」

預言者の書に、『そして、彼らはみな神によって教えられる』と書かれています。父から聞いて学んだ者はみな、わたしのところに来ます。だれも父を見た者はありません。ただ神から出た者、すな

わち、この者だけが、父を見たのです。まことに、まことに、あなたがたに告げます。信じる者は永遠のいのちを持ちます。

わたしはいのちのパンです。あなたがたの父祖たちは荒野でマナを食べたが、死にました。しかし、これは天から下って来た生けるパンです。だれでもこのパンを食べるなら、永遠に生きています。またわたしが与えようとするパンは、世のいのちのための、わたしの肉です。」すると、ユダヤ人たちは、「この人は、どのようにしてその肉を私たちに与えて食べさせることができるのか」と言って互いに議論し合った。イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。人の子の肉を食べ、またその血を飲まなければ、あなたがたのうちに、いのちはありません。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠のいのちを持っています。わたしは終わりの日にその人をよみがえらせます。わたしの肉はまことの食物、わたしの血はまことの飲み物だからです。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、わたしのうちにとどまり、わたしも彼のうちにとどまります。生ける父がわたしを遣わし、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる者も、わたしによって生きるのです。これは天から下って来たパンです。あなたがたの父祖たちが食べて死んだようなものではありません。このパンを食べる者は永遠に生きています。」

無料電子書籍

As well as this book you are now reading, Susan has also co-authored other books about the end-times – also in prophetic form (as received from the Lord) in the “I Am Coming” letters in e-book and printed form. The LORD JESUS’ “I Am Coming” letters are available in six volumes:

I AM COMING! Volume 1, Parts 1 to 32, E-book:

<http://www.mediafire.com/file/lfyg4uzenfnf6uu/IAMComing1.pdf>

I AM COMING! Volume 2, Parts 33 to 52, E-book:

<http://www.mediafire.com/file/aywqke1g0cr4rwa/IAMComing2.pdf>

I AM COMING! Volume 3, Parts 53 to 73, E-book:

<http://www.mediafire.com/file/mdma55jzcwbwqpqy/IAMComing3.pdf>

I AM COMING! Volume 4, Parts 74 to 96, E-book:

<http://www.mediafire.com/file/92y16258w03j0t4/IAMComing4.pdf>

I AM COMING! Volume 5, Parts 97 to 122, E-book:

<http://www.mediafire.com/file/77n7ynr66o6qlrq/IAMComing5.pdf>

I AM COMING! Volume 6, Parts 123 to 139, E-book:

<http://www.mediafire.com/file/8vhwt6l4frgh25a/IAMComing6.pdf>

Free e-books are also at: <http://www.SmashWords.com>

Search for: I Am Coming by Susan Davis

The Letters' weblink <http://end-times-prophecy.com> is now posted at <http://www.spiritlessons.com>

These urgent prophetic messages, prior messages, and more recent messages are recorded at the website:

<http://end-times-prophecy.com>

Also available at <http://www.Amazon.com> are the books:

I Am Coming, Volume 1,

I Am Coming, Volume 2,

I Am Coming, Volume 3,

I Am Coming, Volume 4,

I Am Coming, Volume 5.

I Am Coming, Volume 6.

As Kindle \$0.99 e-books at: <http://www.kindle.com>

As free e-books at: <http://www.SmashWords.com>

And as free e-books at: <http://www.LuLu.com>

Search for: I Am Coming by Susan Davis

Susan's email is: kidsmktg@sbcglobal.net